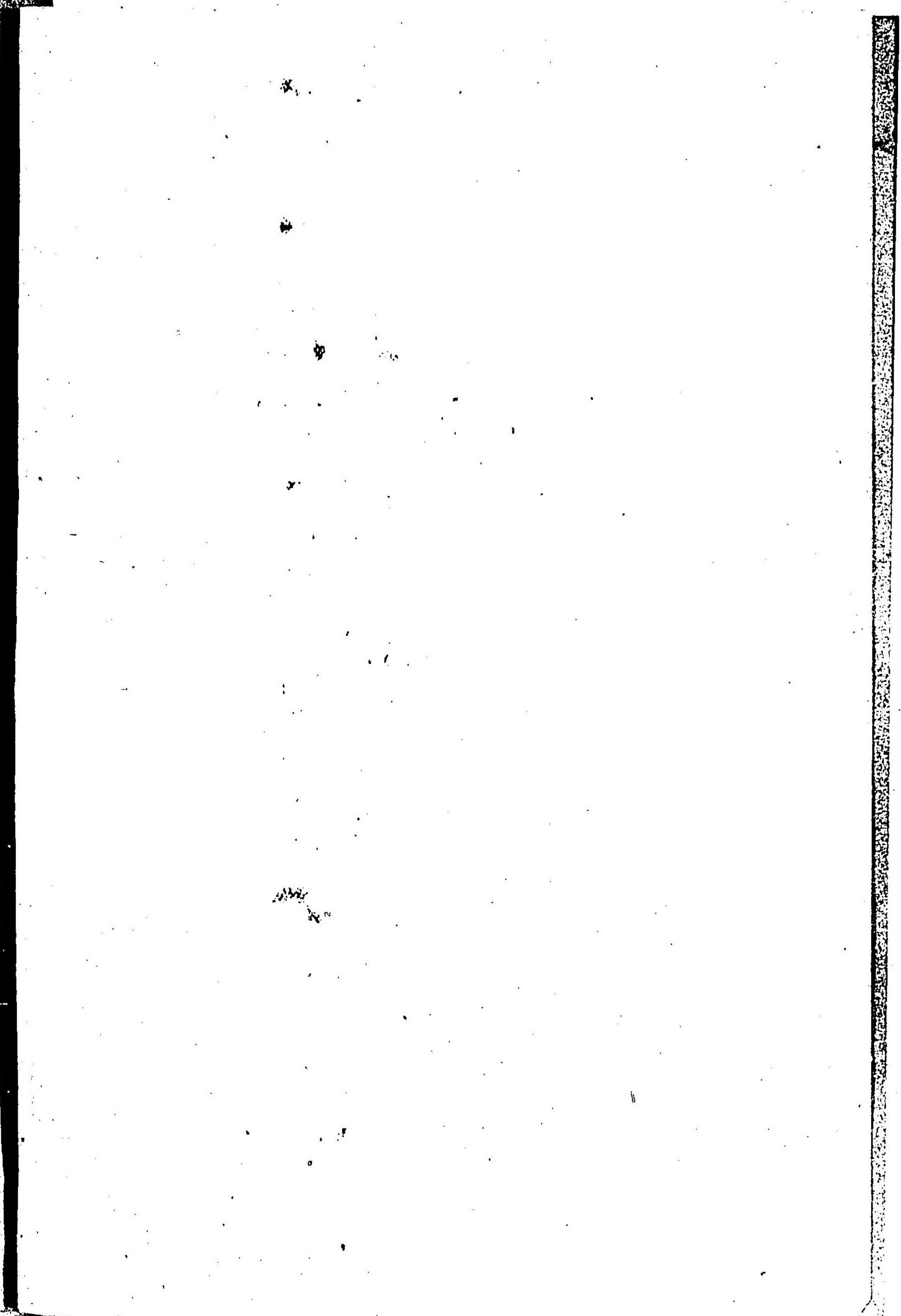
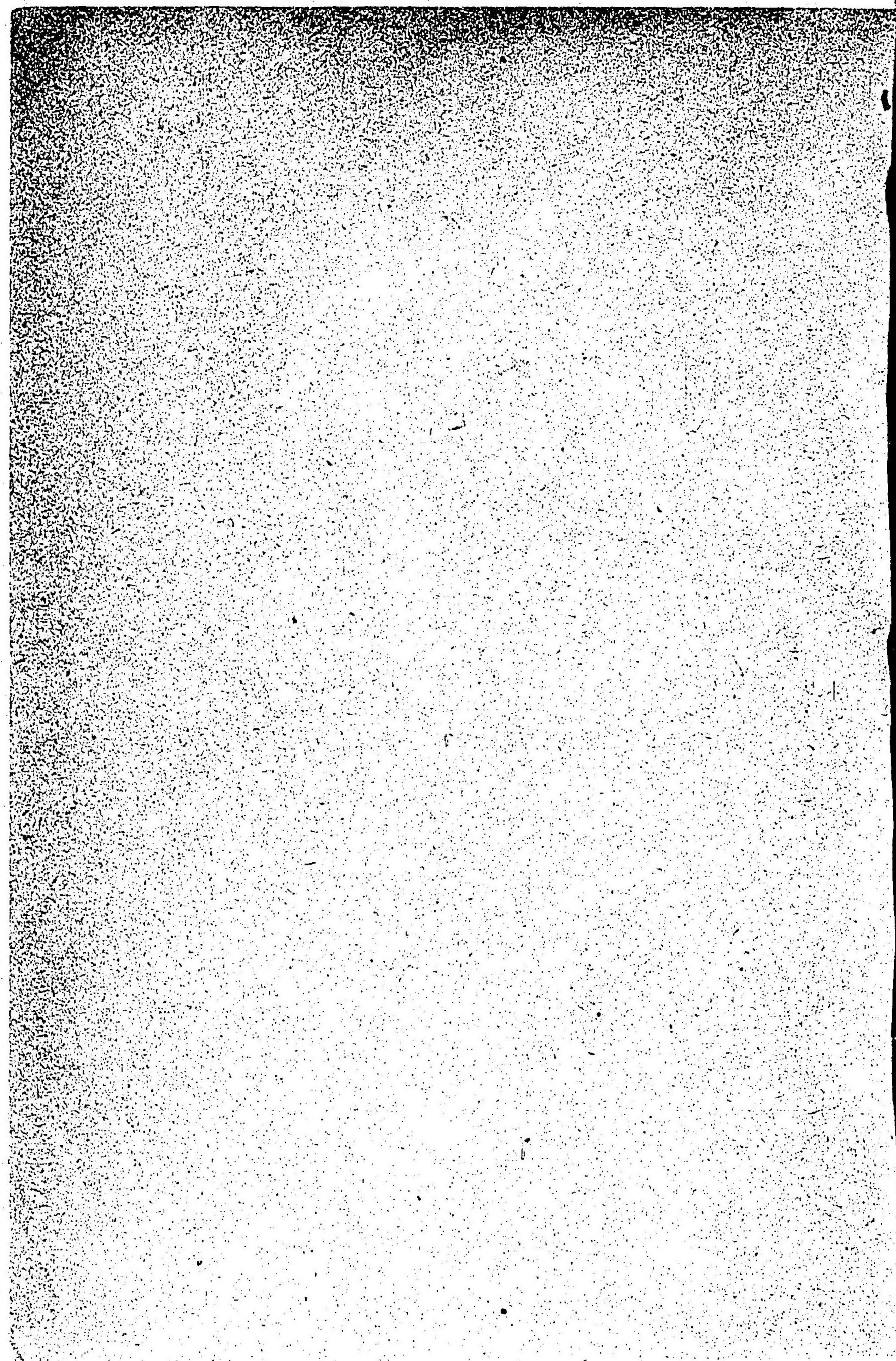
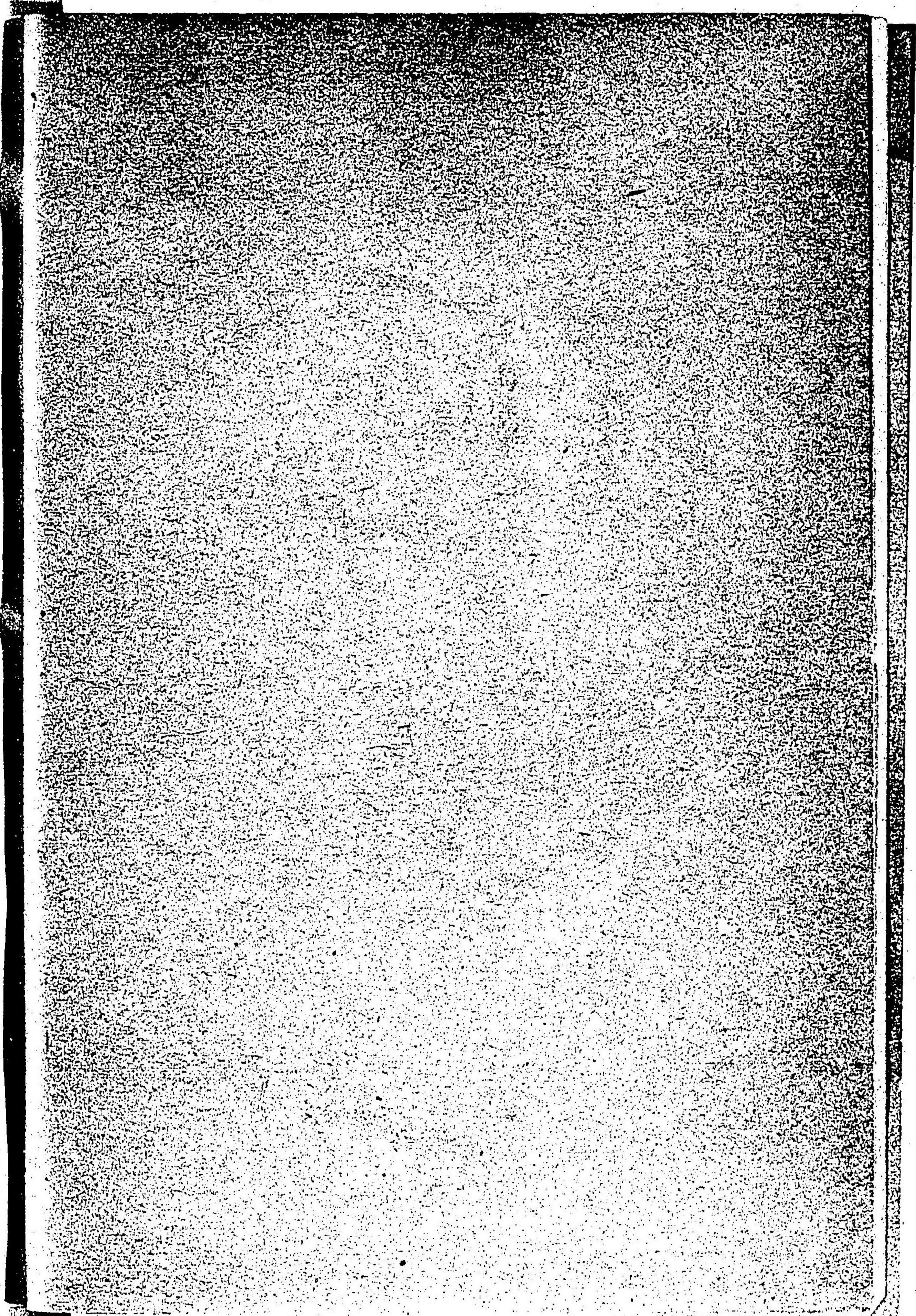


19
562

美州海狗標

子編
甲





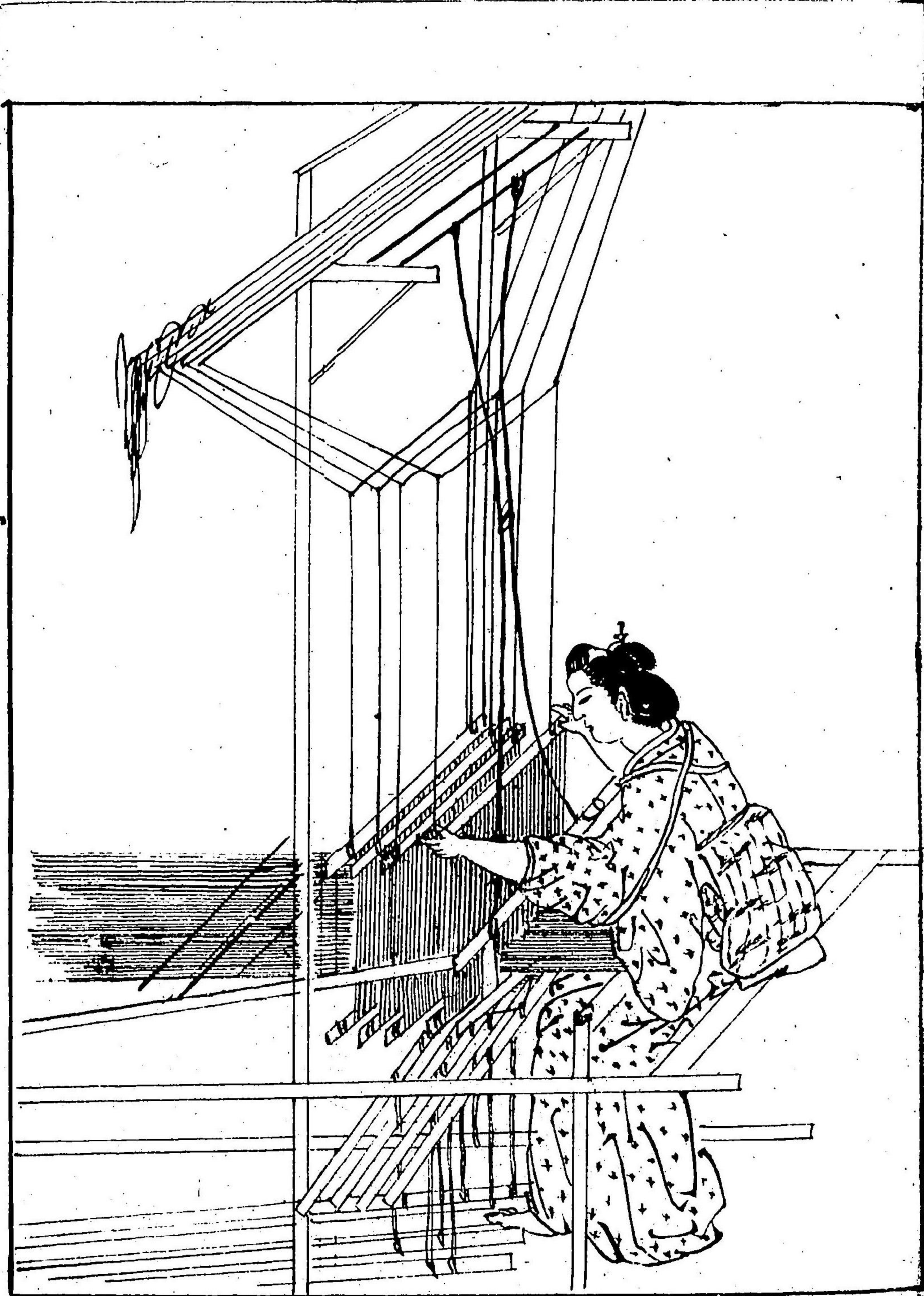
真
不

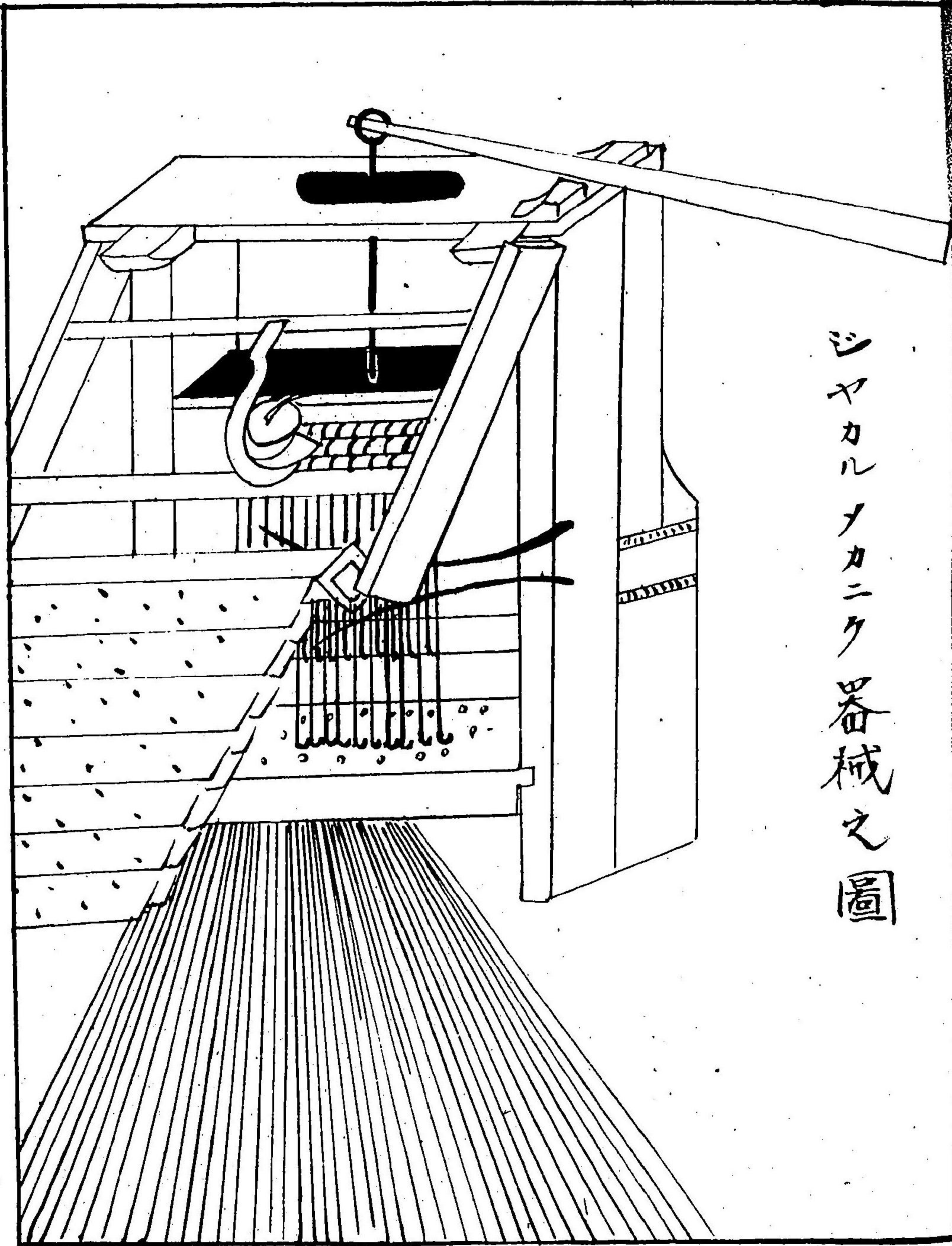
國

光

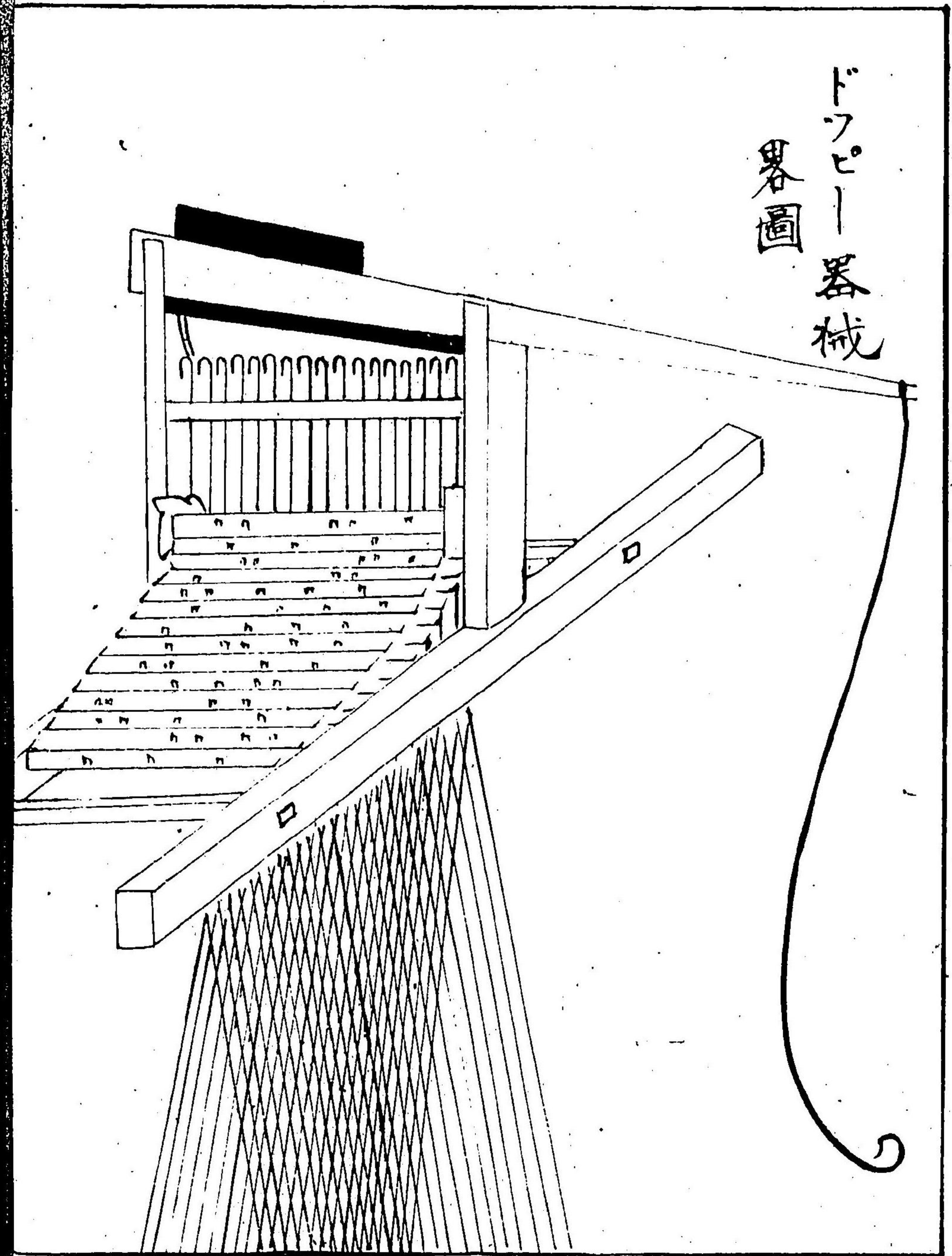
陸
文
橋



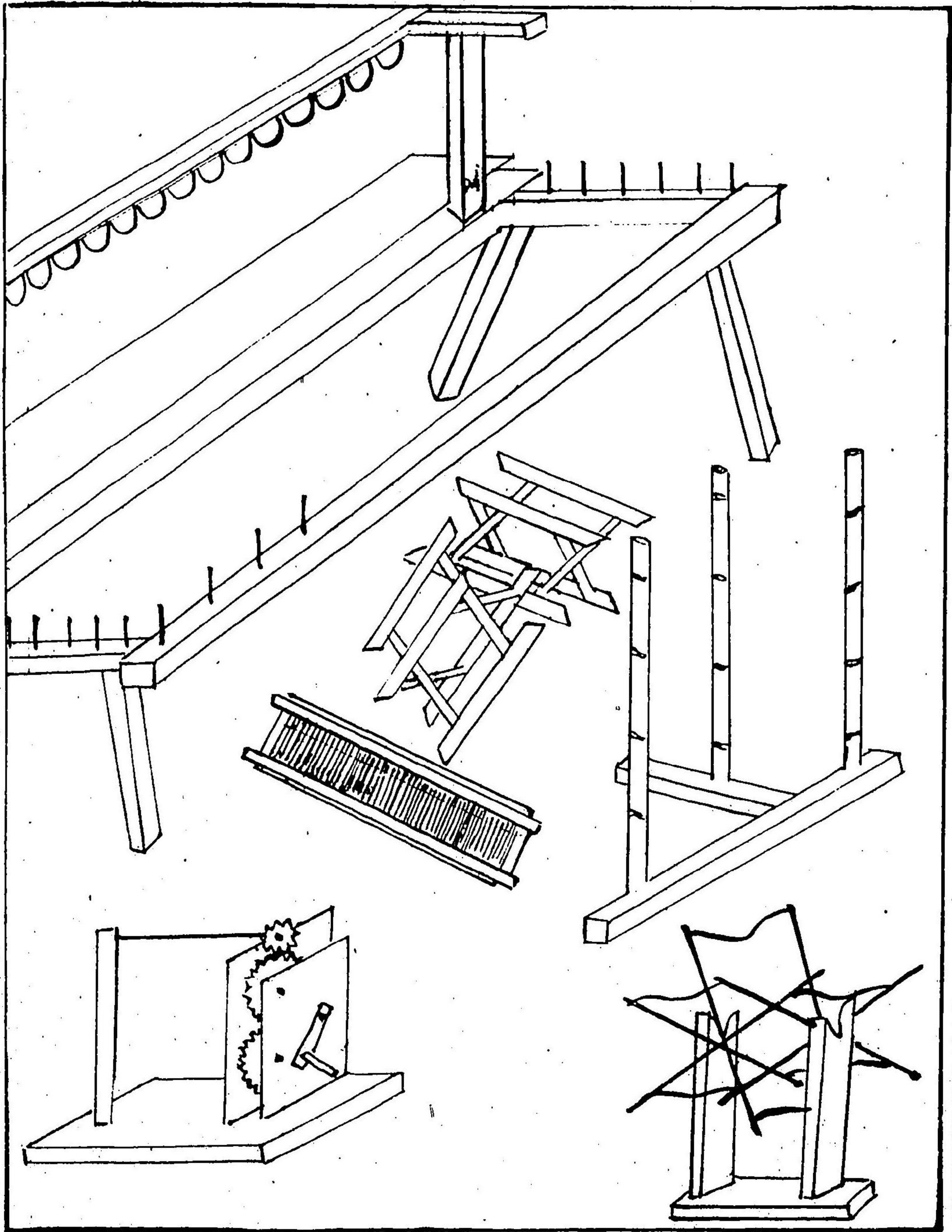




ジャカルノカニク器械之圖



ドフピー器械
畧圖



法 編

まれ織工は襷又まより自己の考案より亦は先進者より
 此法特の難法致果より利新技術或は新地合織を考案を
 工みせに流布せしむる者皆織工の勉子勉よりあり是等の人
 か織技進歩に公著せしむるは千金を貯蓄して是れを
 利用致する者も一般令や等時の今日より珍しく何れ之れ
 力技術も徳教し流るに巨款の表示附置を命り或は一家
 お儲の秘法より教傳せしむるも愚も又喜し固て今回より教
 十年習は業より進歩したるを以て重賞たる経路より巴
 昨年七月以後僅かの時間を以て普く世人に織物致すの勞
 成執り亦自己習習生を募り大に技術を衆人におしめ
 公益を回らんとす然るに次者知人属織物術の志冊出版せ
 る中やを定まるるを以て考案を流り柄織物幸種を集め
 善術織物術案内と稱してお編み冊出版し了た
 是れ早竟等村僻邑の輩にして師なきを甚むる者

若し利便をなすや其の如き秘法を万般に傳授せし
るにあり或は好めしして其の之れを注下し其の基
利を果して僅々をなするをせしむるなり
明治九年六月

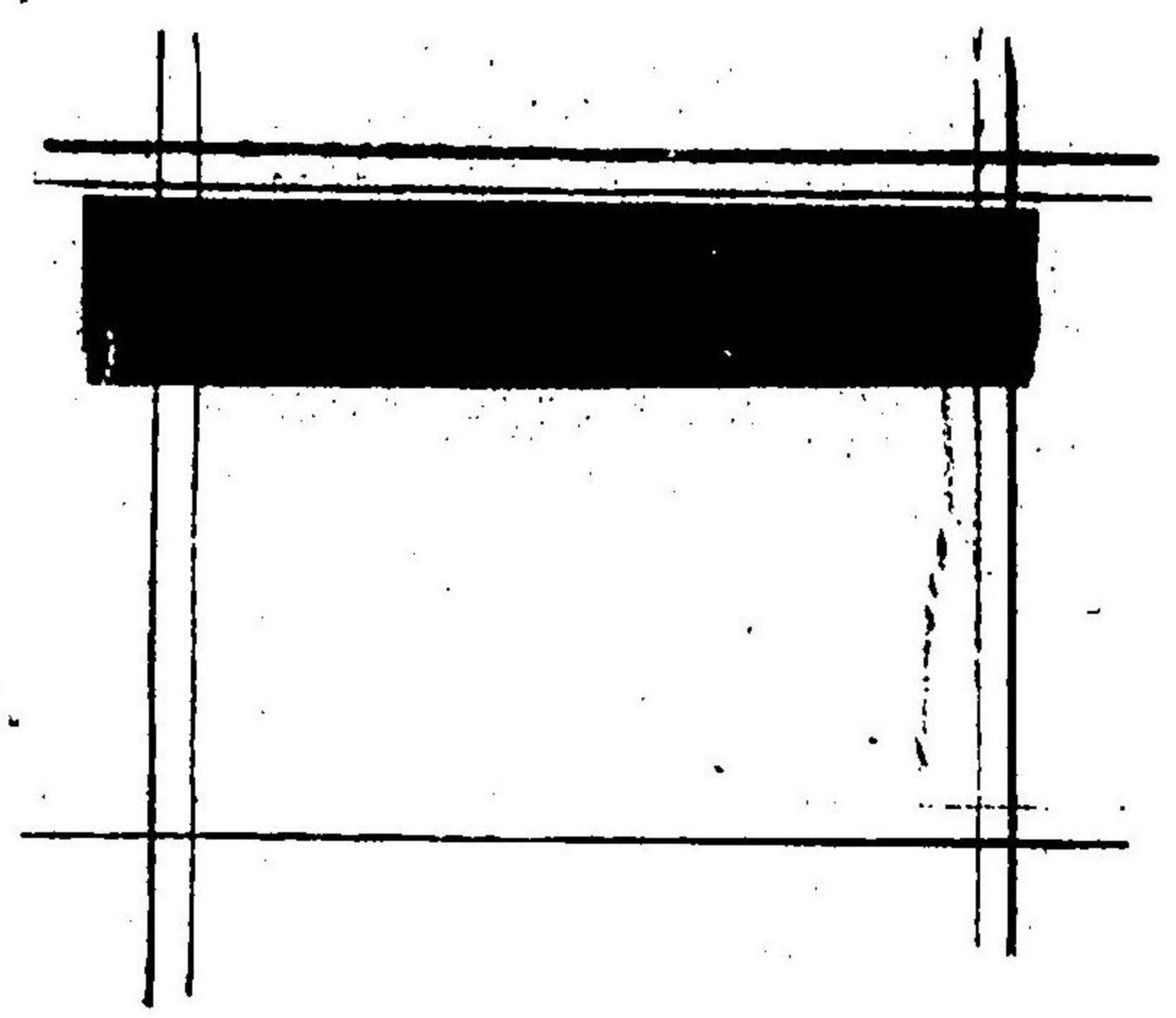
編者 朝山 親次郎 謹白

凡例

- 一 本編は乃ち西陣式を用ひ記號 筆跡 号ハ並上 吳絲あるを
是に西陣辨を以て解釋せし
- 一 堅糸横糸を西陣にて經絲緯絲と唱ひ亦長西陣にて
棧と稱するものを各地にては飾り經緯綾取經遊と
唱ふるも本編は棧と記し又ハツタンヤ稱あるも各地の吳
名ニヤクリとも畧棧引きとも云ふ
- 一 本編の記号は多く解釋しつゞて詳記せし
- 一 本編に貼付せし織物標本を一々番号を付し甲冊の番
号と乙冊の番号と照合して甲乙各冊を比較し織物
柄を辨るものなり
- 一 甲冊に標本貼付箇所略順号を詳記し乙冊に棧
通次横糸の記號吹棧の釣吹略網の付標号並解釋を以て
悉く詳記す
- 一 本編は前編として老乞多を以てし高棧畧標を以て

蹴出し多るは蹴後蹴の教をす進而後編を著り多るに
 つき其際ドッピ一器或はシヤカルメカニク器号を用ひて蹴
 出し多るは蹴器珍細子取通杯の蹴器を洋記をへし

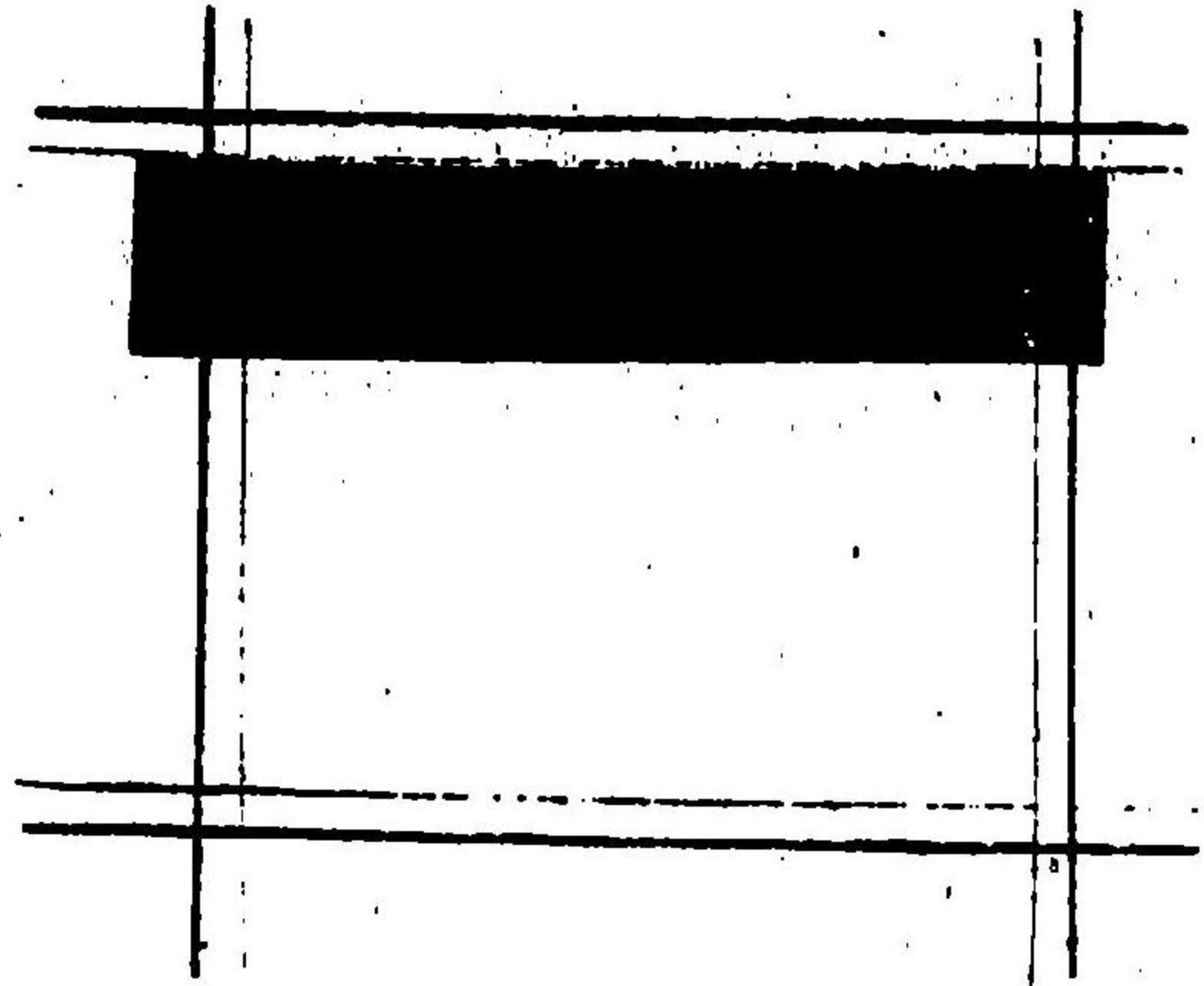
○ 躑 躑 躑



踏木の踏順

- 一 足を踏
 - 二 足を踏
 - 三 足を踏
 - 四 足を踏
- 此次の踏順は前の初歩に
 戻りて順次踏をへし

○ 第 貳 舞



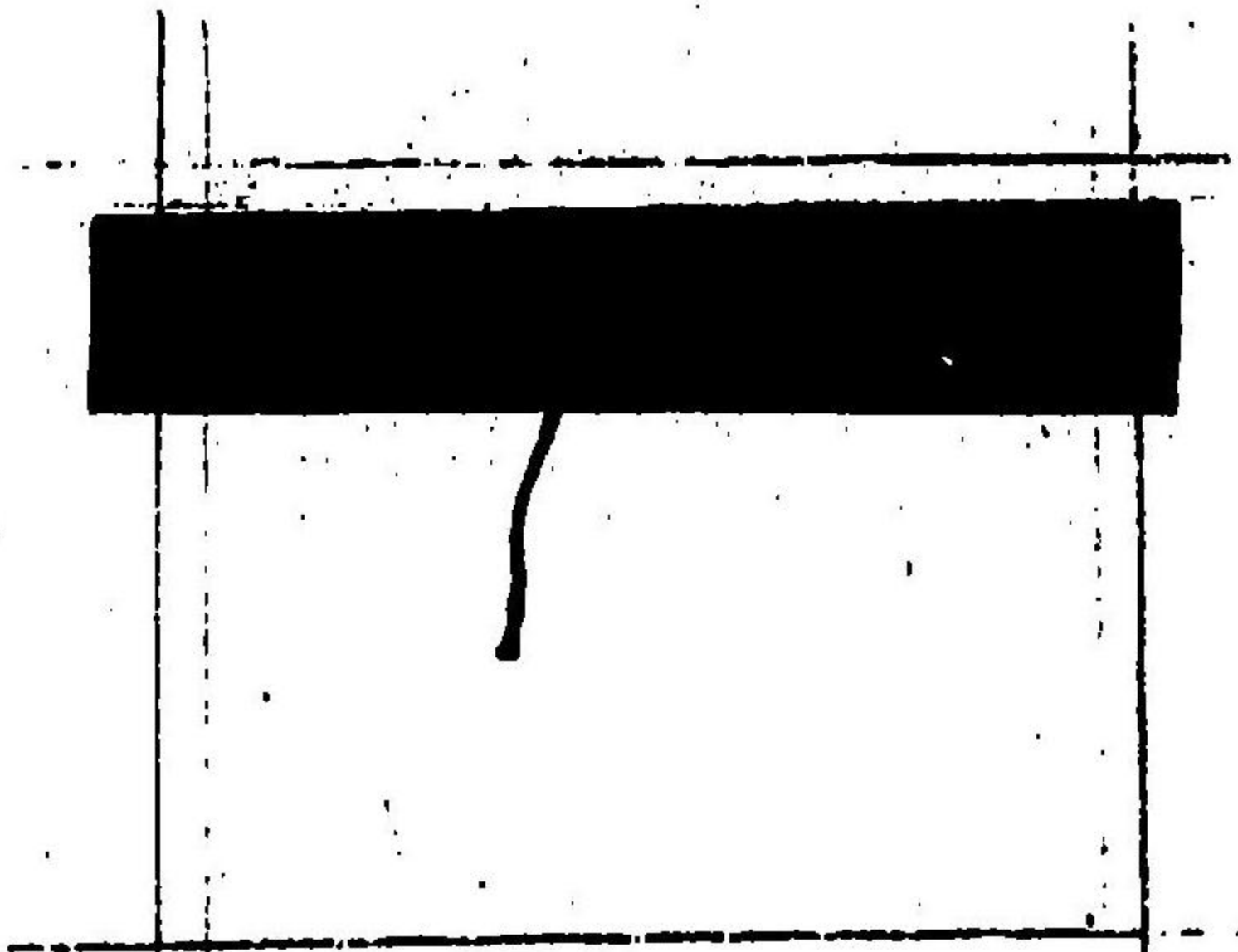
踏木の踏順

二足を踏 四足を踏
 一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏
 一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏
 一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏
 一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏
 一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏

此次の踏順も前の如し

戻り順次踏をへし

○ 第 三 舞



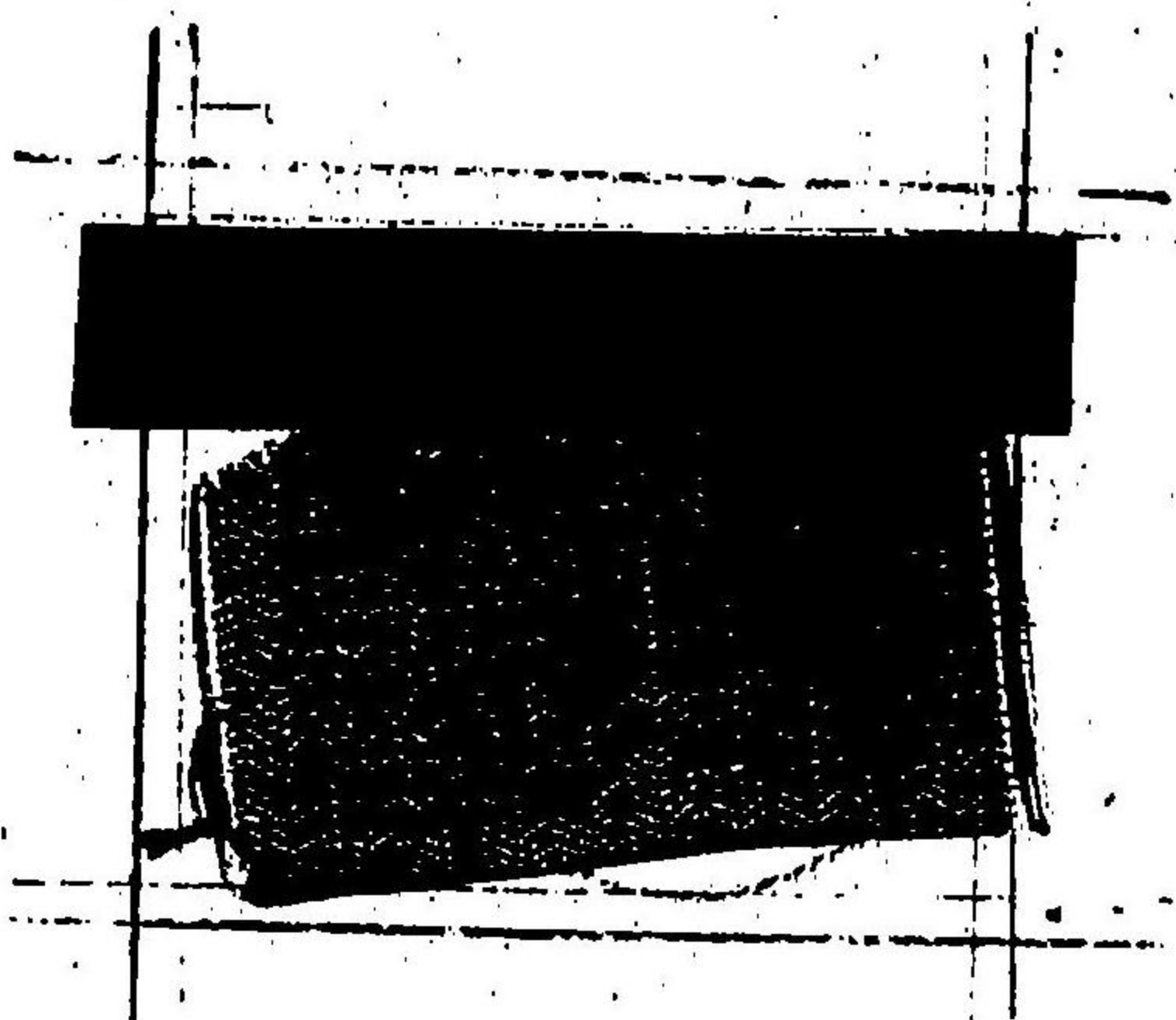
踏木の踏順

一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏
 一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏
 一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏
 一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏
 一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏
 一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏
 一足を踏 三足を踏
 二足を踏 四足を踏

此次の踏順も前の如し

戻り順次踏をへし

○ 第四 躰

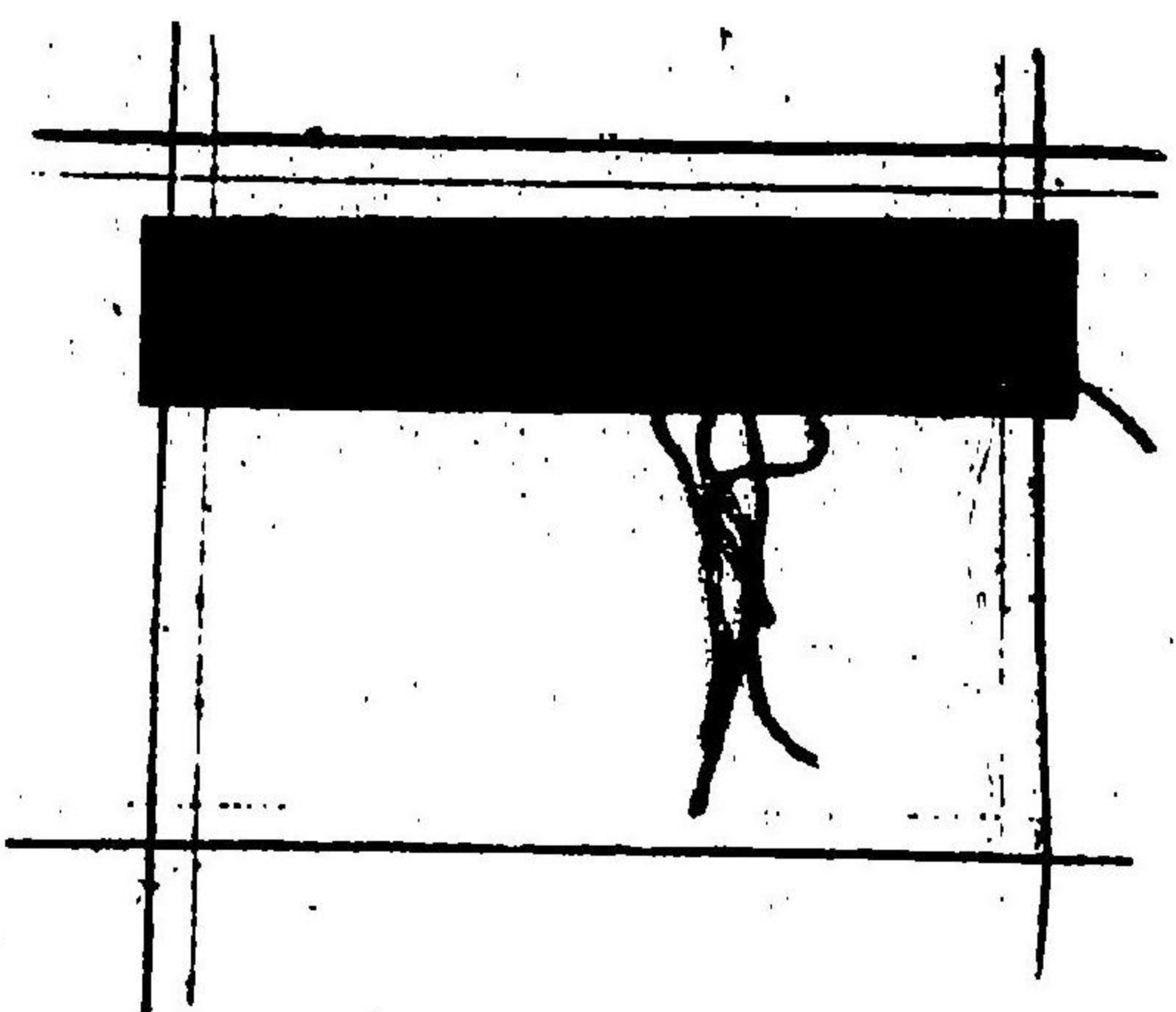


躰木の踏順

- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏

此次の踏順も前の初足に
戻りて順次踏まへし

○ 第五 躰



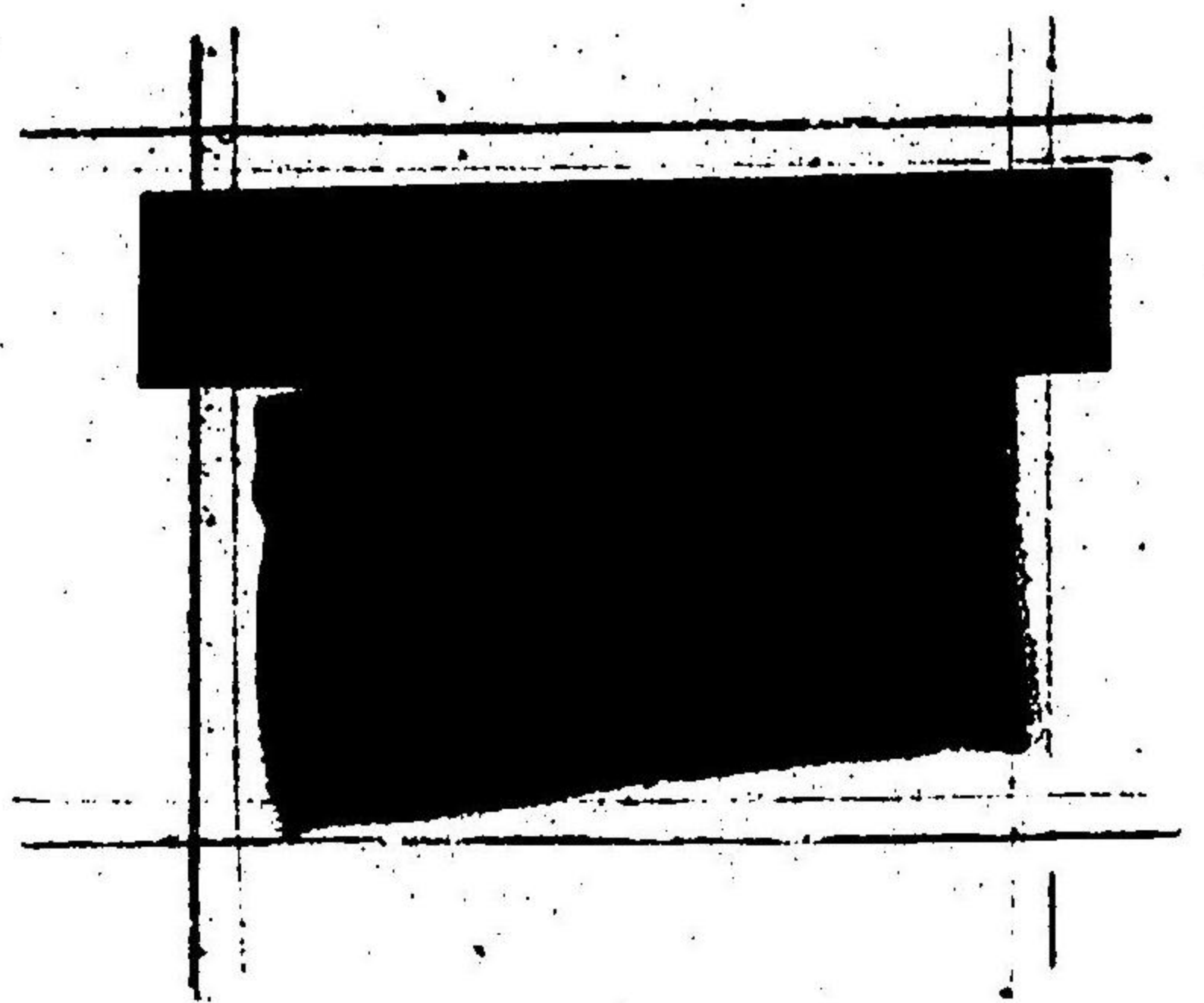
躰木の踏順

- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏

此次の踏順

戻りて順次踏まへし

○第六節



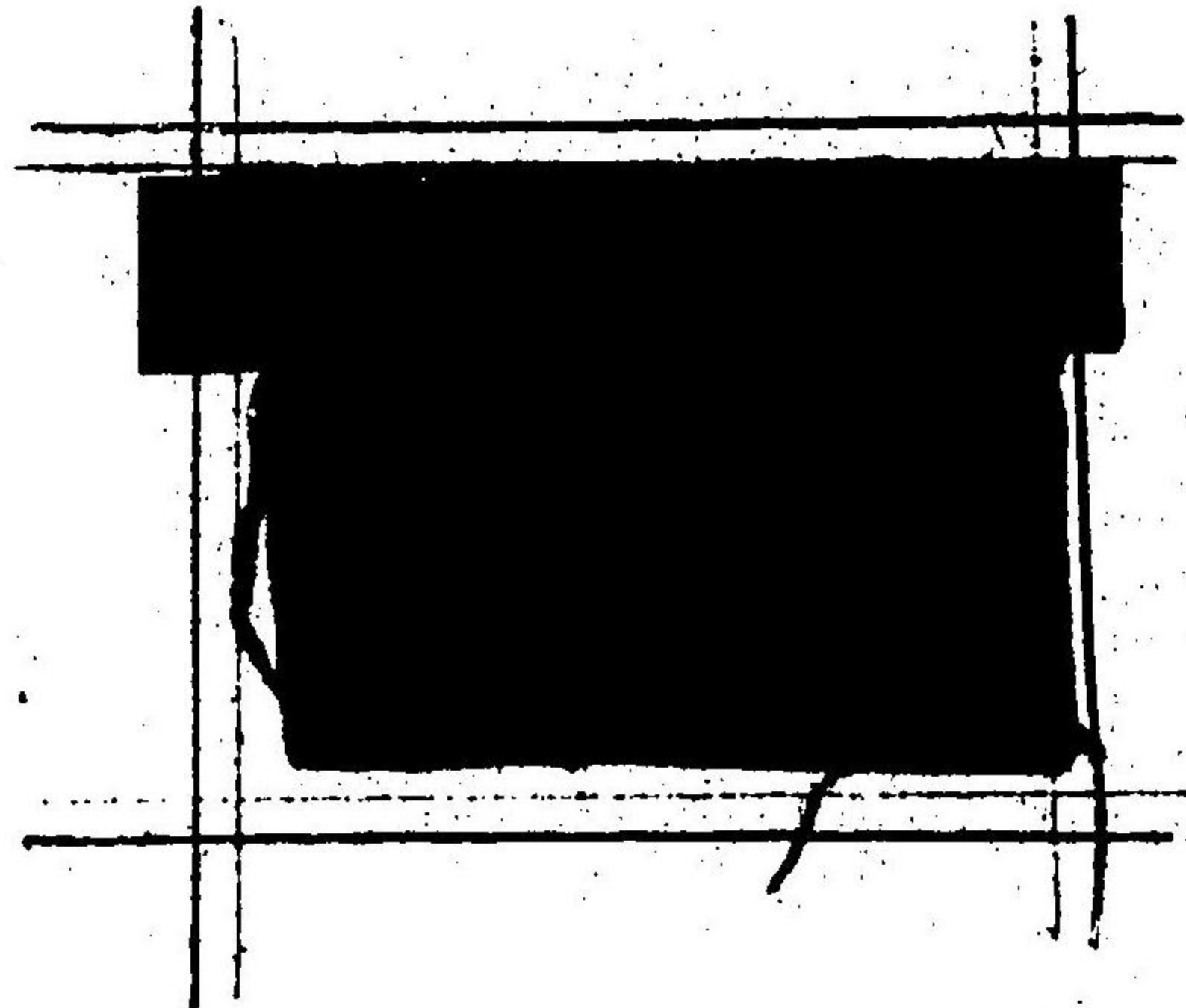
踏木の踏順

- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏

此次の踏順は前の初足

戻りて順次踏をへし

○第七節



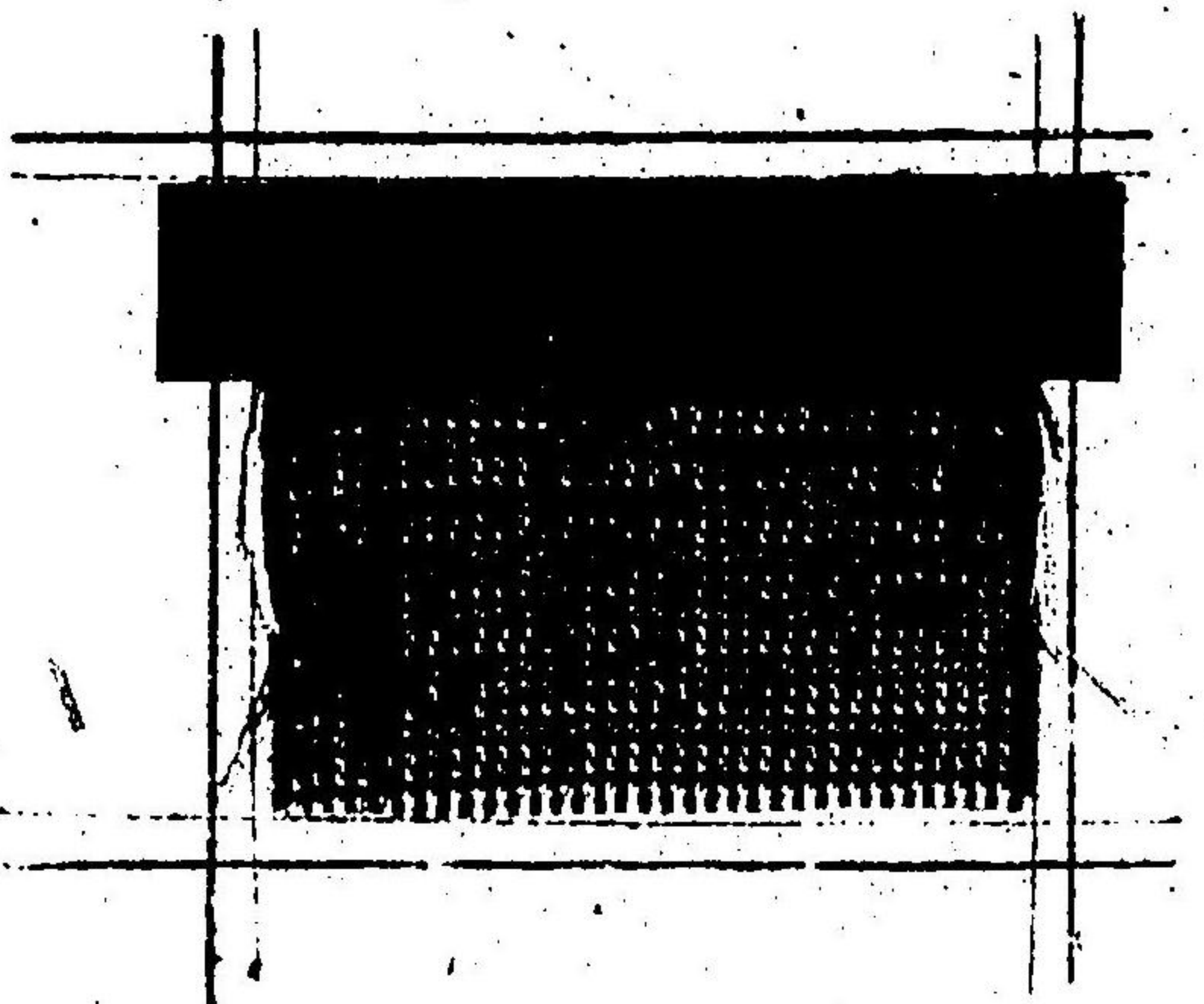
踏木の踏順

- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏

此次の踏順は前の初足

戻りて順次踏をへし

○ 第九 舞

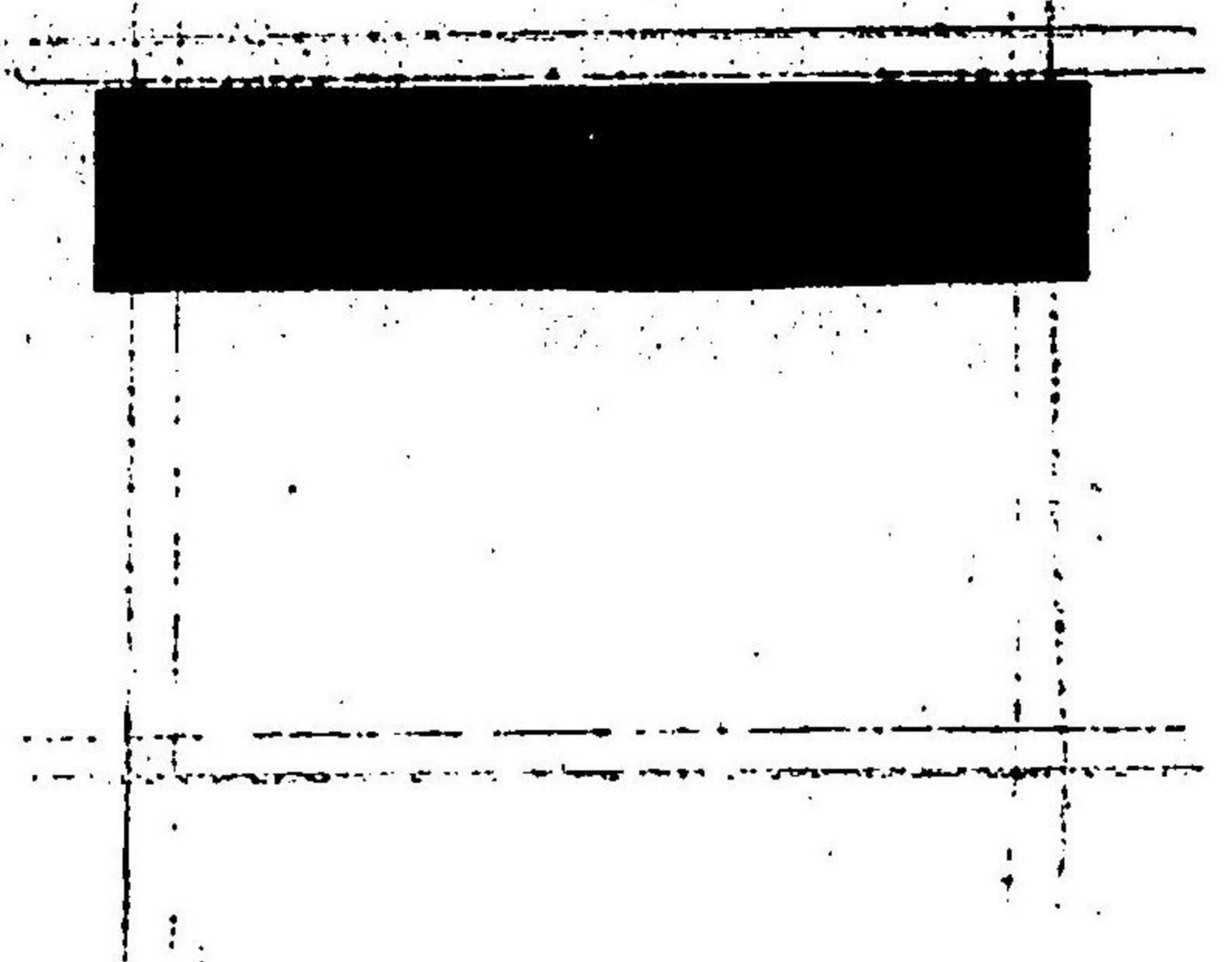


踏木の踏順

- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏

此次の踏順は前の初歩に
戻りて順次踏まへし

○ 第九 舞

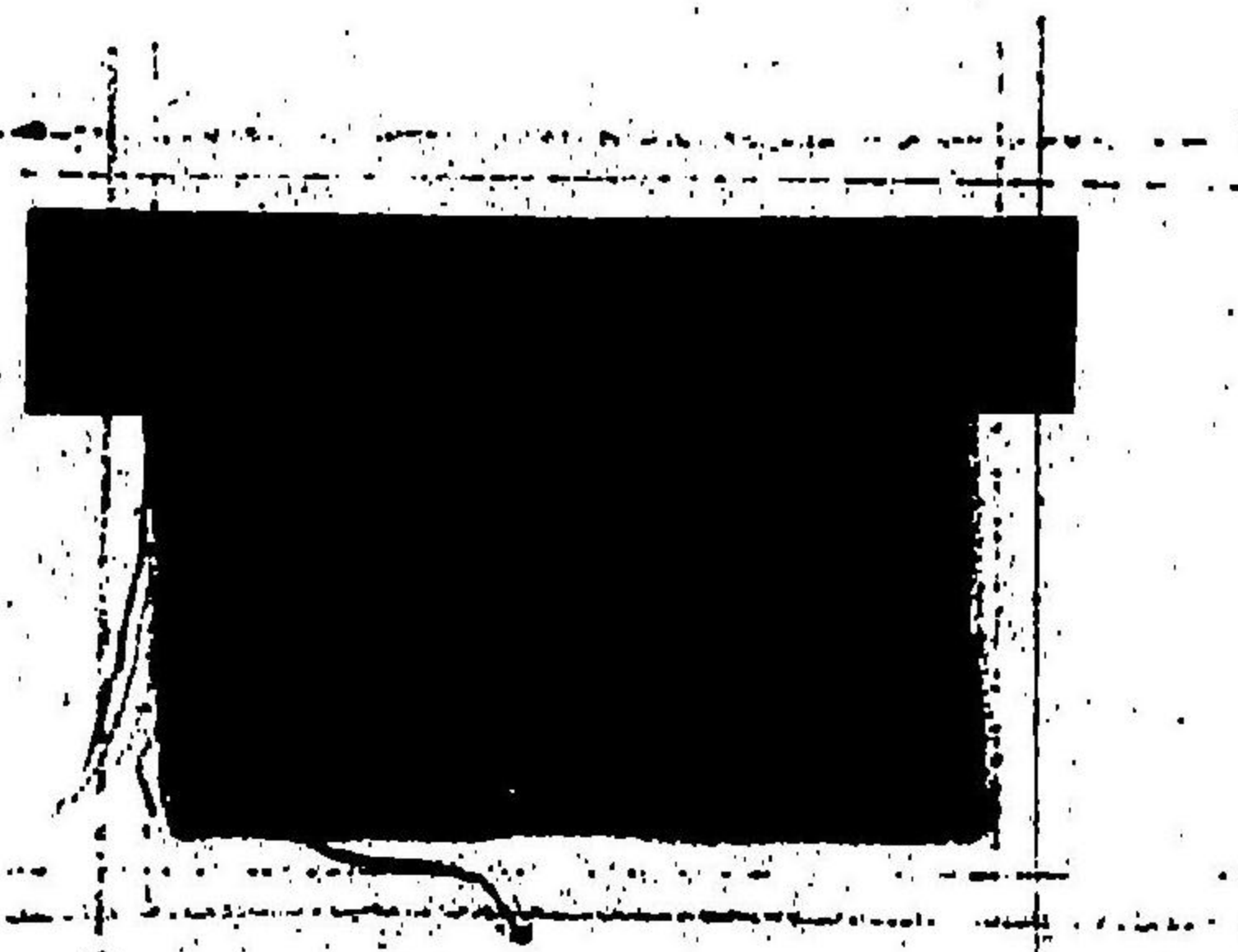


踏木の踏順

- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏
- 五 足を踏
- 六 足を踏
- 七 足を踏
- 八 足を踏
- 九 足を踏

此次の踏順は前の初歩に
戻りて順次踏まへし

○第十節



踏木の踏順

三足を踏

二足を踏 一足を踏

一足を踏 二足を踏 三足を踏

二足を踏 一足を踏 三足を踏 四足を踏

一足を踏 二足を踏 三足を踏 四足を踏 五足を踏

二足を踏 一足を踏 三足を踏 四足を踏 五足を踏

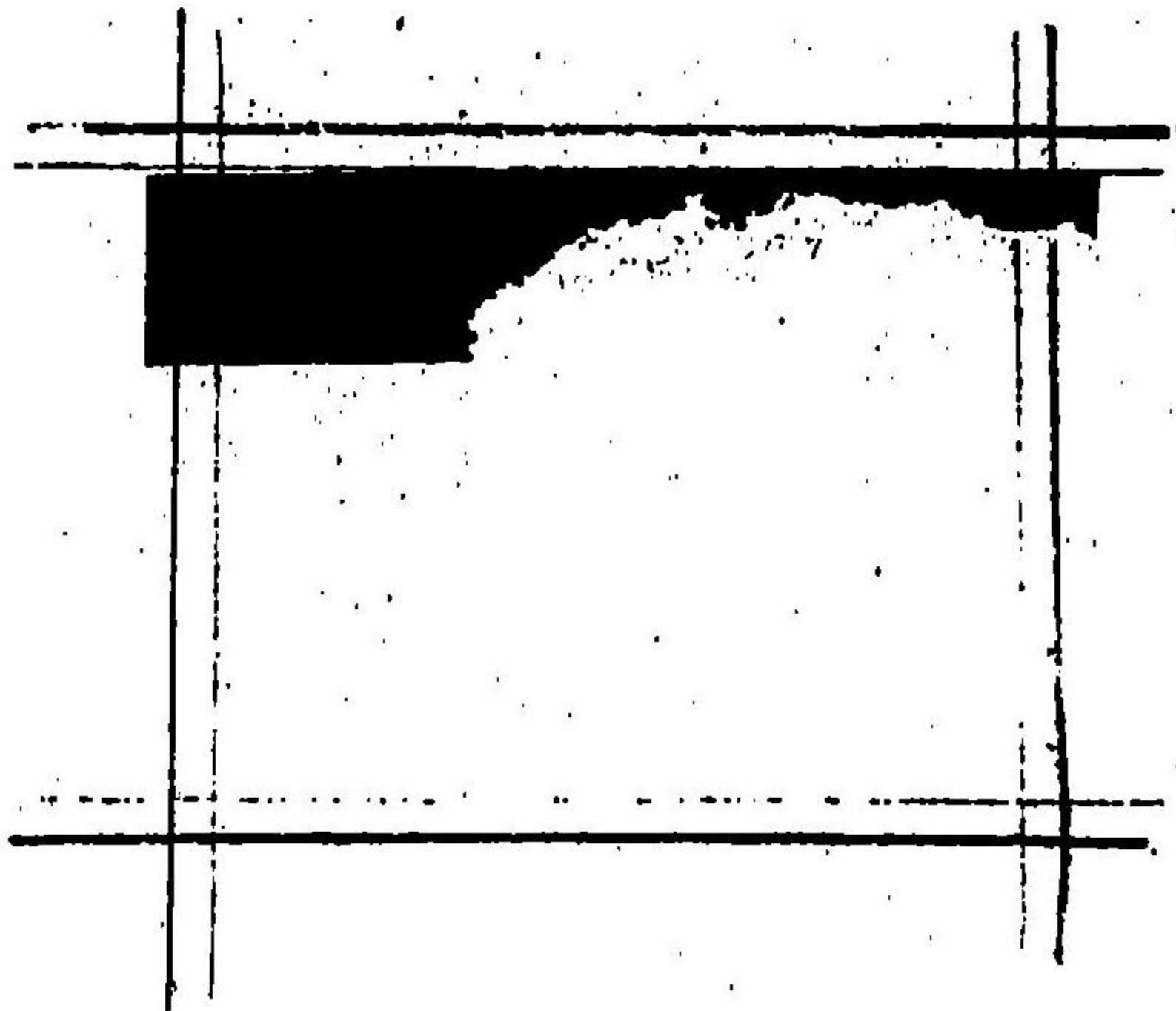
一足を踏 二足を踏 三足を踏 四足を踏 五足を踏 六足を踏

二足を踏 一足を踏 三足を踏 四足を踏 五足を踏 六足を踏

一足を踏 二足を踏 三足を踏 四足を踏 五足を踏 六足を踏 七足を踏

此次の踏順を前の初足より順次踏むべし

○第十節



踏木の踏順

三足を踏

二足を踏

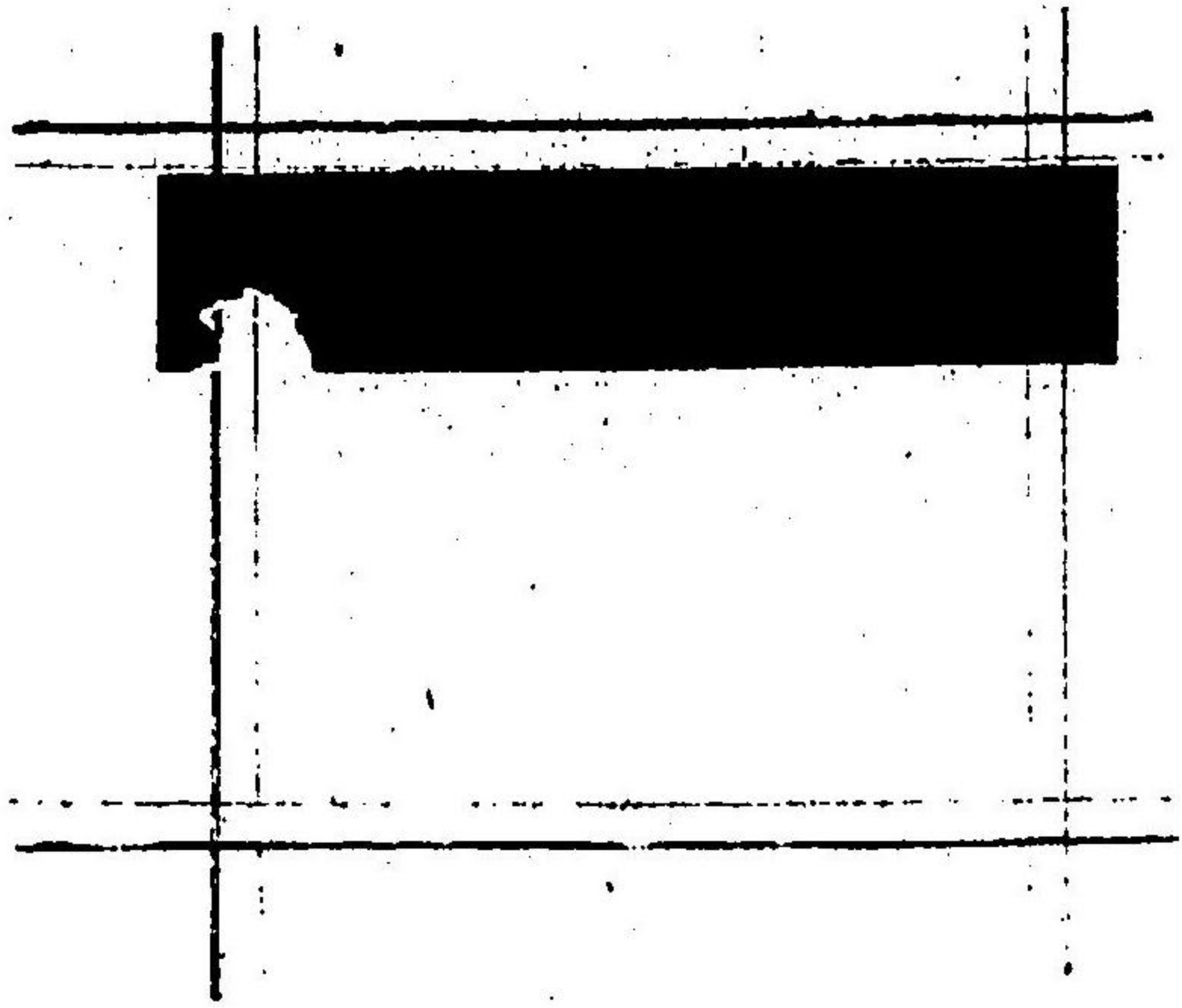
一足を踏

二足を踏 三足を踏 四足を踏

此次の踏順を前の初足より順次踏むべし

戻り順次踏むべし

○第十歳躰

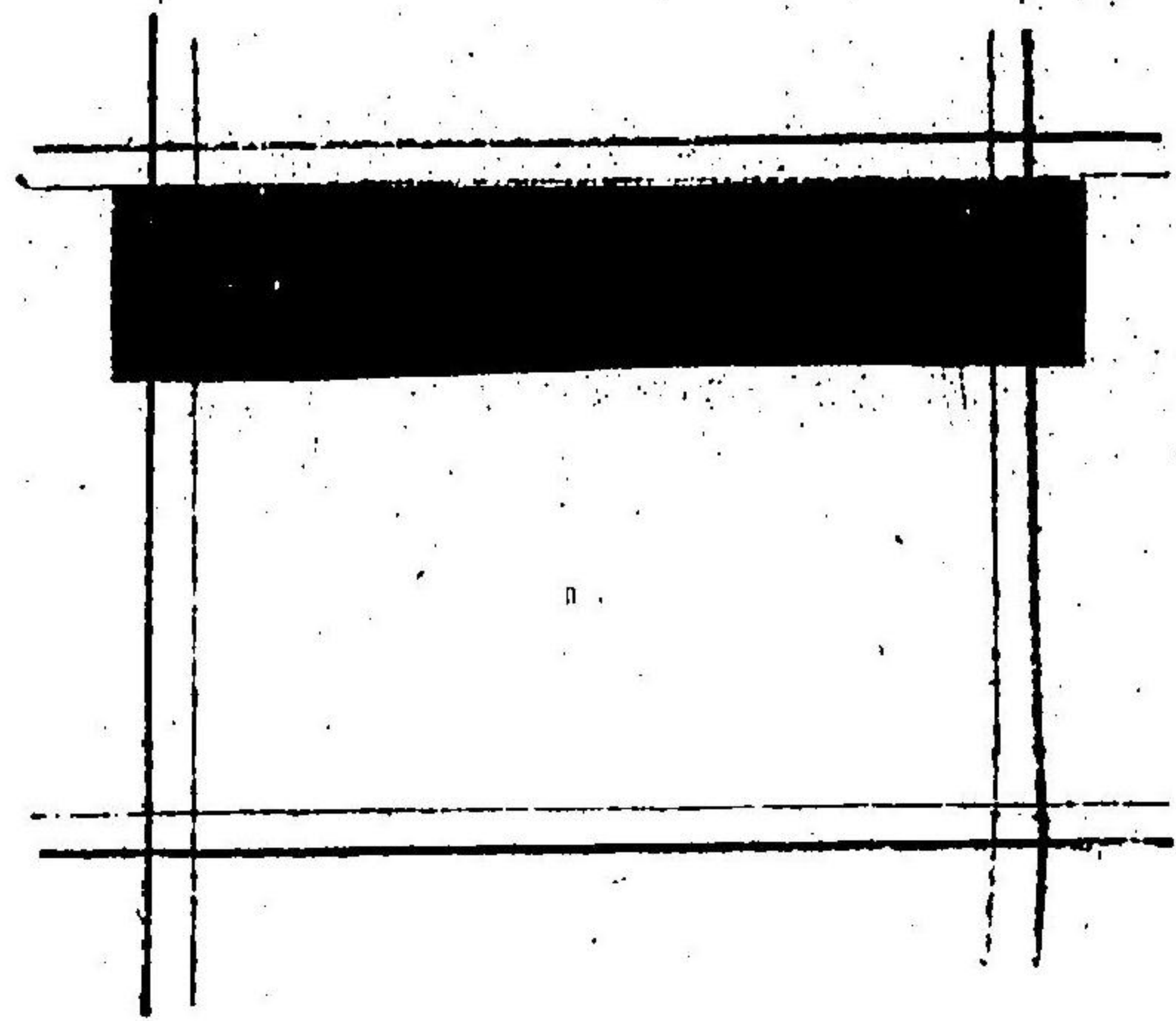


踏木の踏順

- 一 右足を踏
- 二 左足を踏
- 三 右足を踏
- 四 左足を踏

此次の踏順も前の初足同
戻りて順次踏まへし

○第十三躰

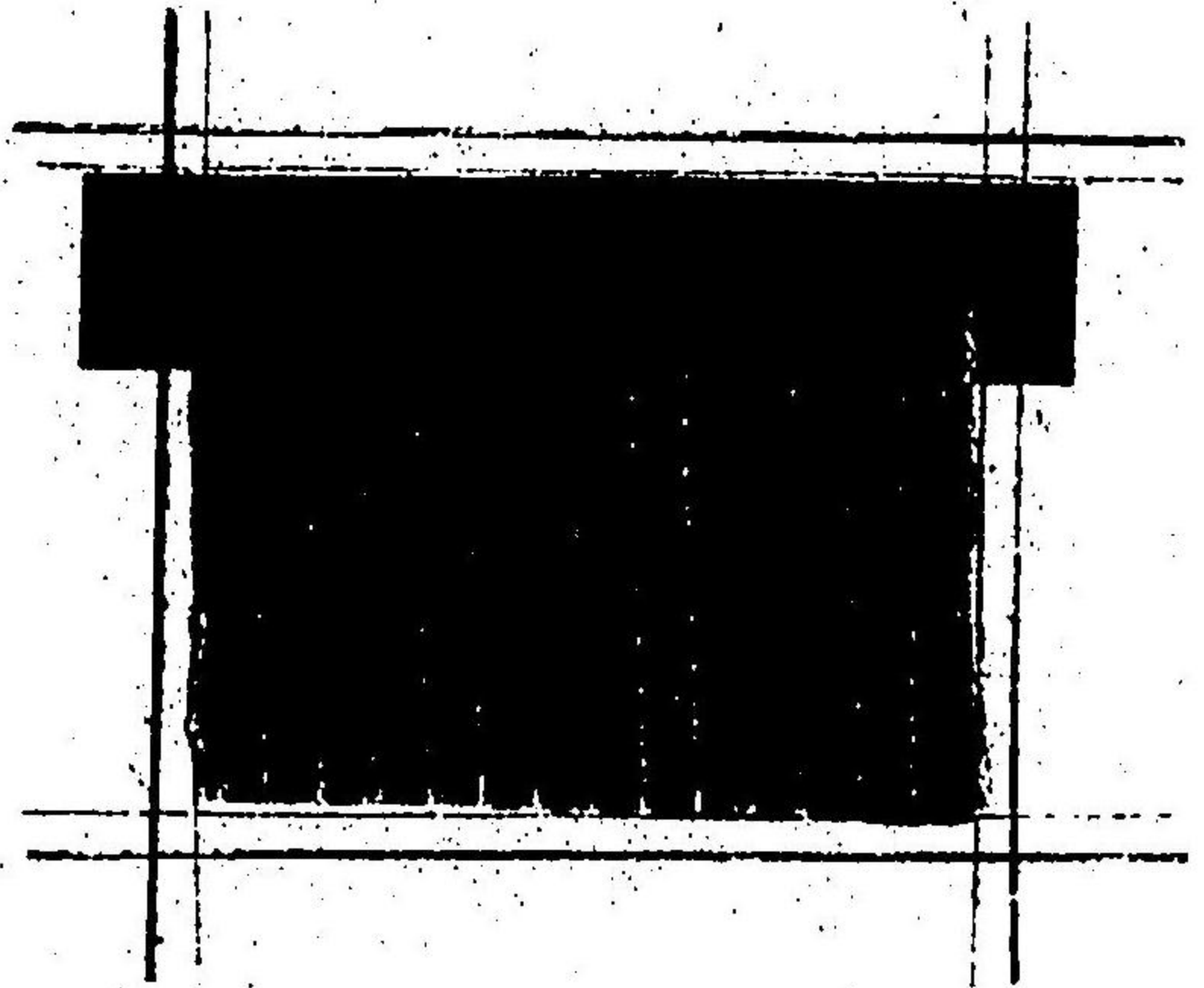


踏木の踏順

- 一 右足を踏
- 二 左足を踏
- 三 右足を踏
- 四 左足を踏
- 五 右足を踏
- 六 左足を踏

此次の踏順も前の初足
戻りて順次踏まへし

○第十四號



踏木の踏順

一 足を踏

二 足を踏

三 足を踏

四 足を踏

五 足を踏

六 足を踏

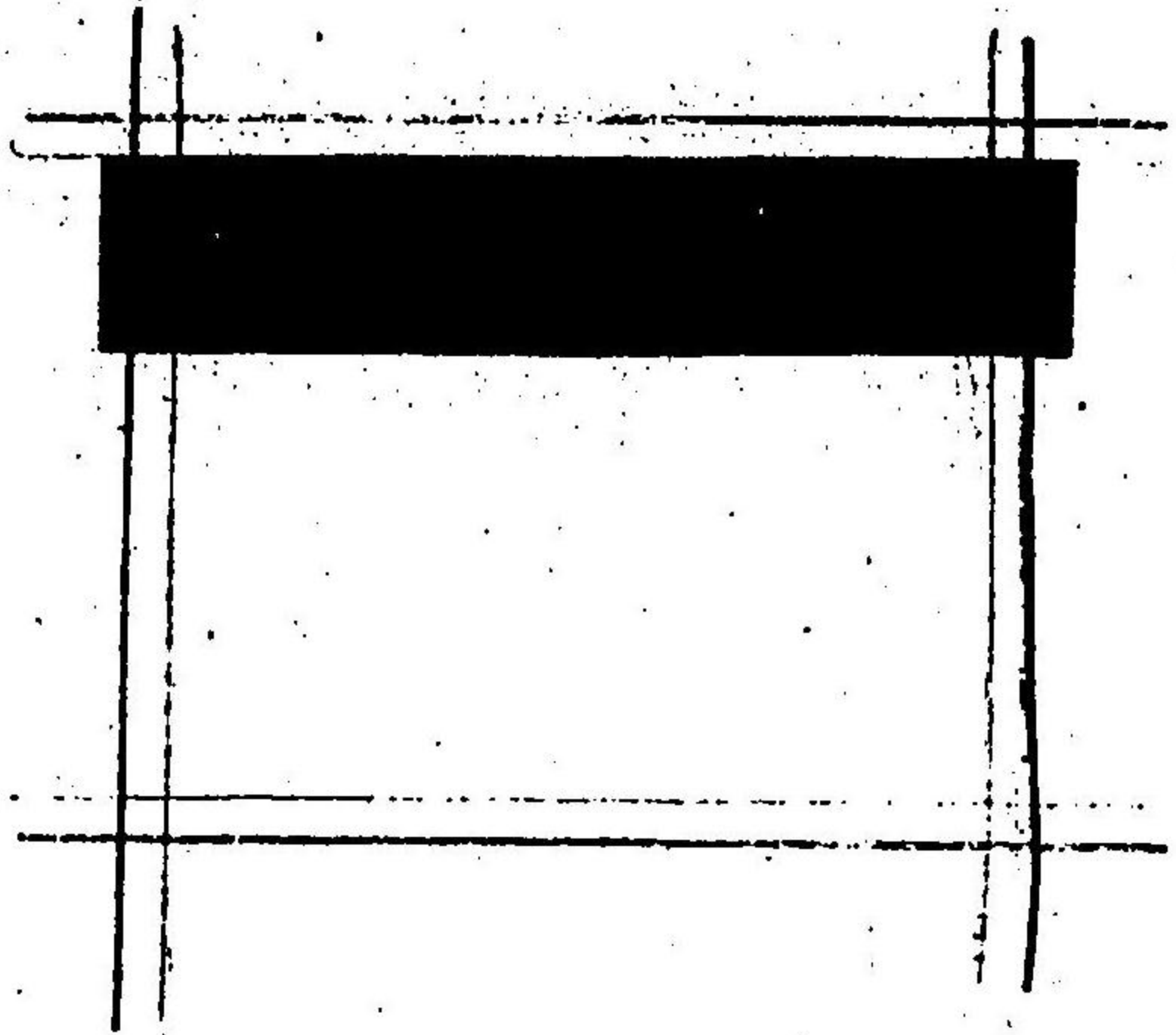
七 足を踏

八 足を踏

九 足を踏

是より順次踏をへし

○第十五號



踏木の踏順

一 足を踏

二 足を踏

三 足を踏

四 足を踏

五 足を踏

六 足を踏

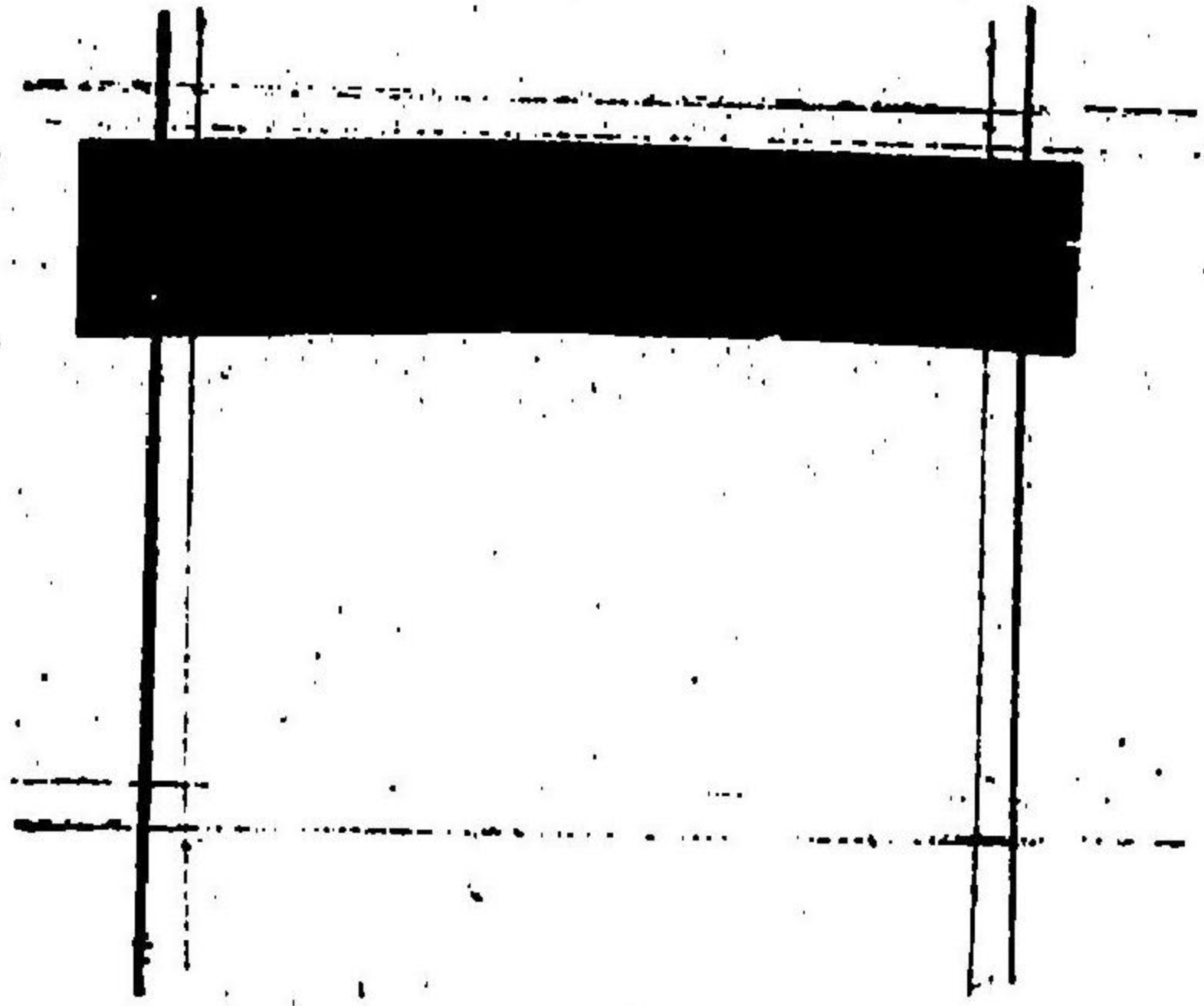
七 足を踏

八 足を踏

是次の踏順を前の初足

より順次踏をへし

○第十六號



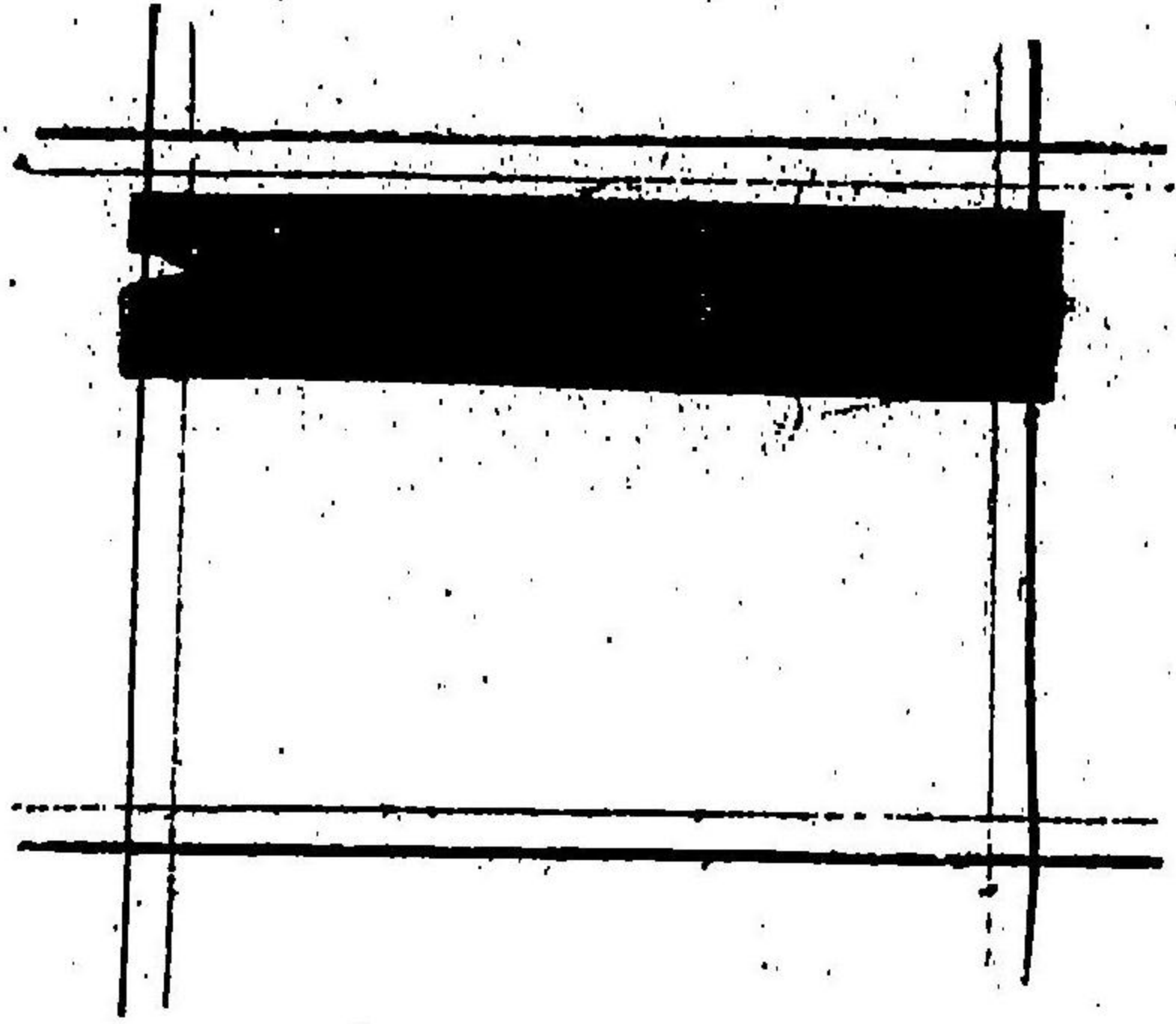
踏木の踏順

- 一 一足を踏
- 二 二足を踏
- 三 三足を踏
- 四 四足を踏
- 五 五足を踏

は次の踏順を最初の初足に

戻り順次踏をへし

○第十七號



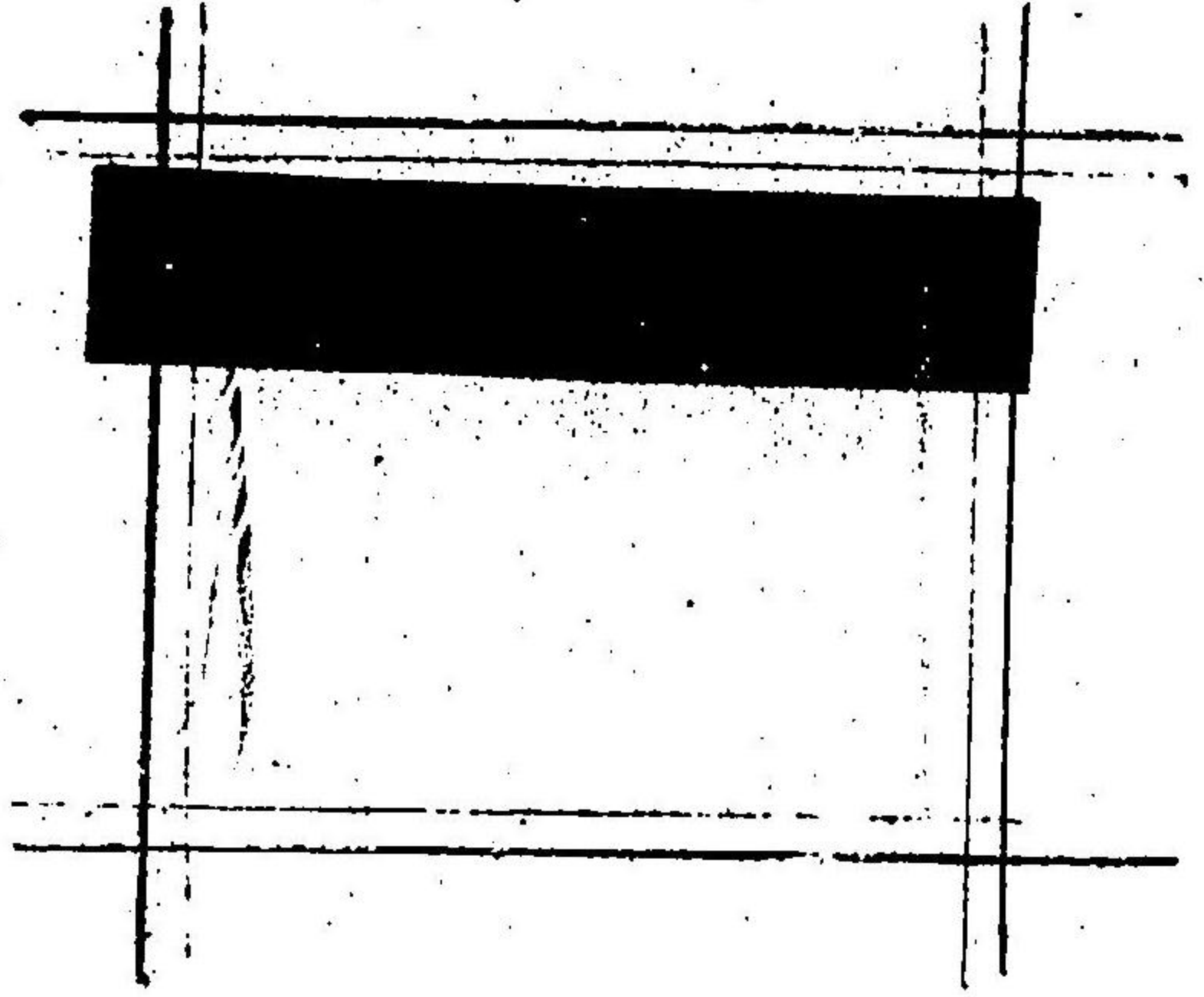
踏木の踏順

- 一 一足を踏
- 二 二足を踏
- 三 三足を踏
- 四 四足を踏

は次の踏順を最初の初足に

戻り順次踏をへし

○第十八舞

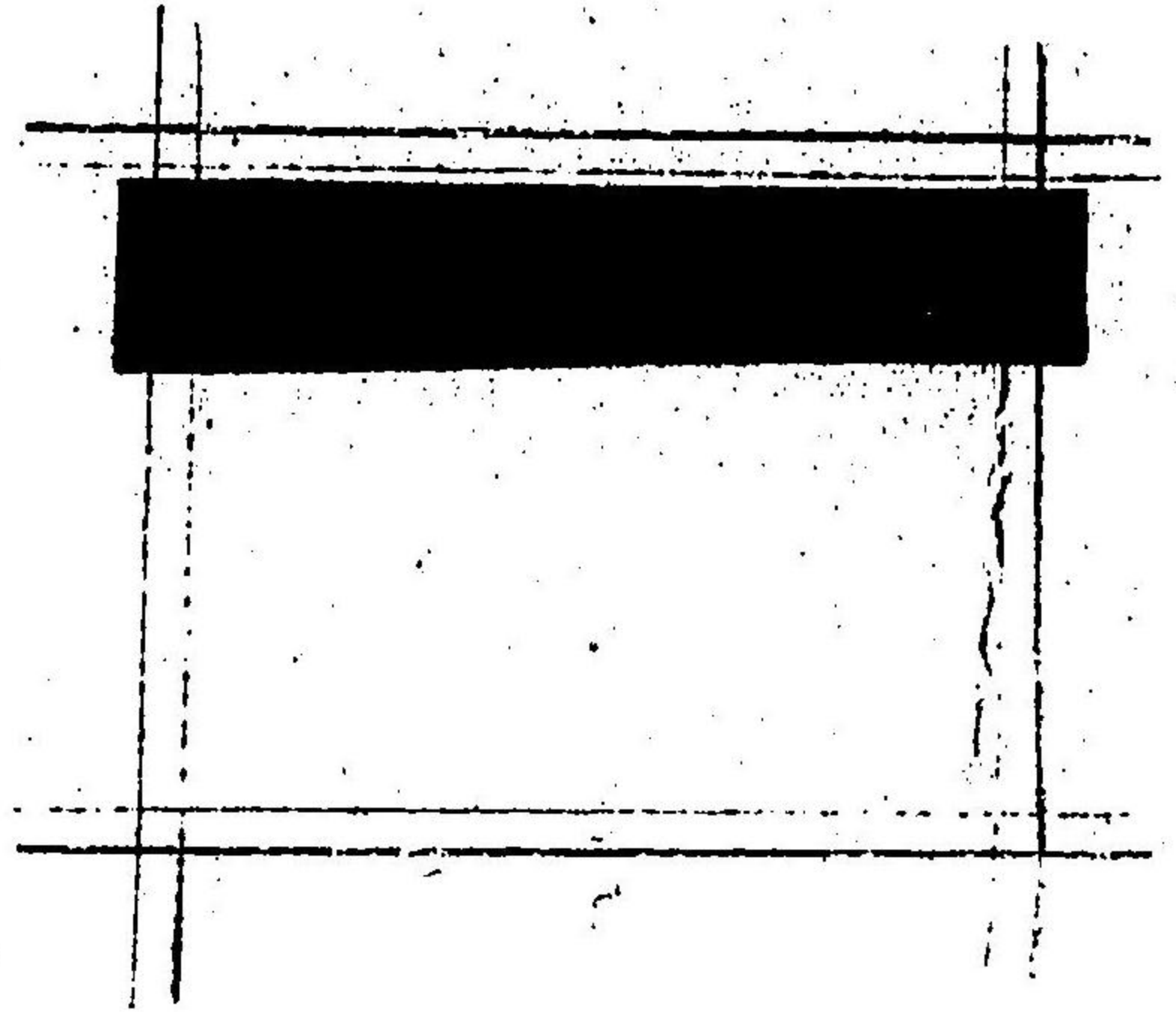


踏木の踏順

一 左足を踏
二 右足を踏
三 左足を踏
四 右足を踏
五 左足を踏

此次の踏順も前の初足より
戻りて順次踏まへし

○第十九舞

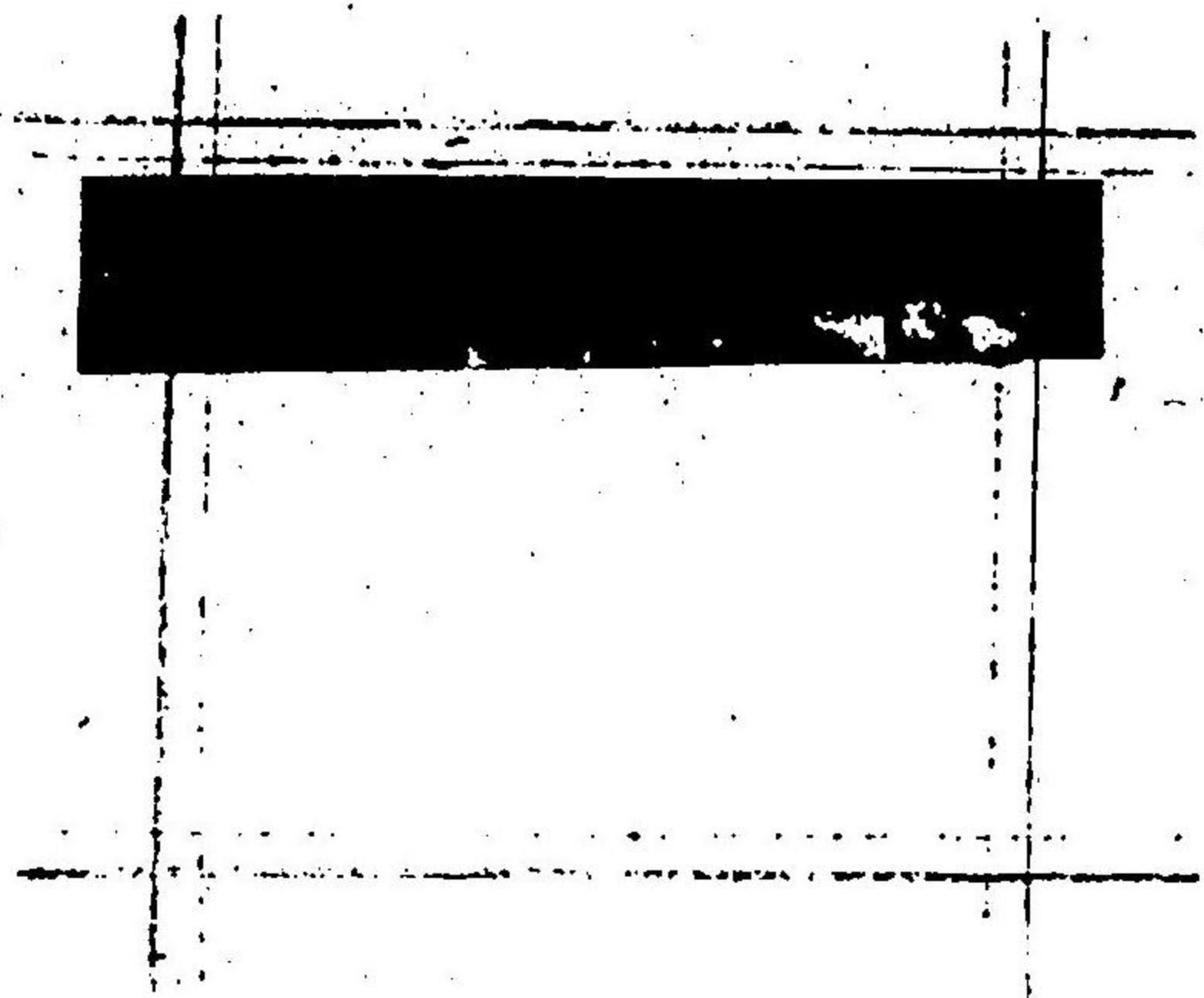


踏木の踏順

一 左足を踏
二 右足を踏
三 左足を踏
四 右足を踏
五 左足を踏

此次の踏順も前の初足より
戻りて順次踏まへし

○券貳十第



踏木の踏順

一 足を踏

二 足を踏

三 足を踏

四 足を踏

五 足を踏

六 足を踏

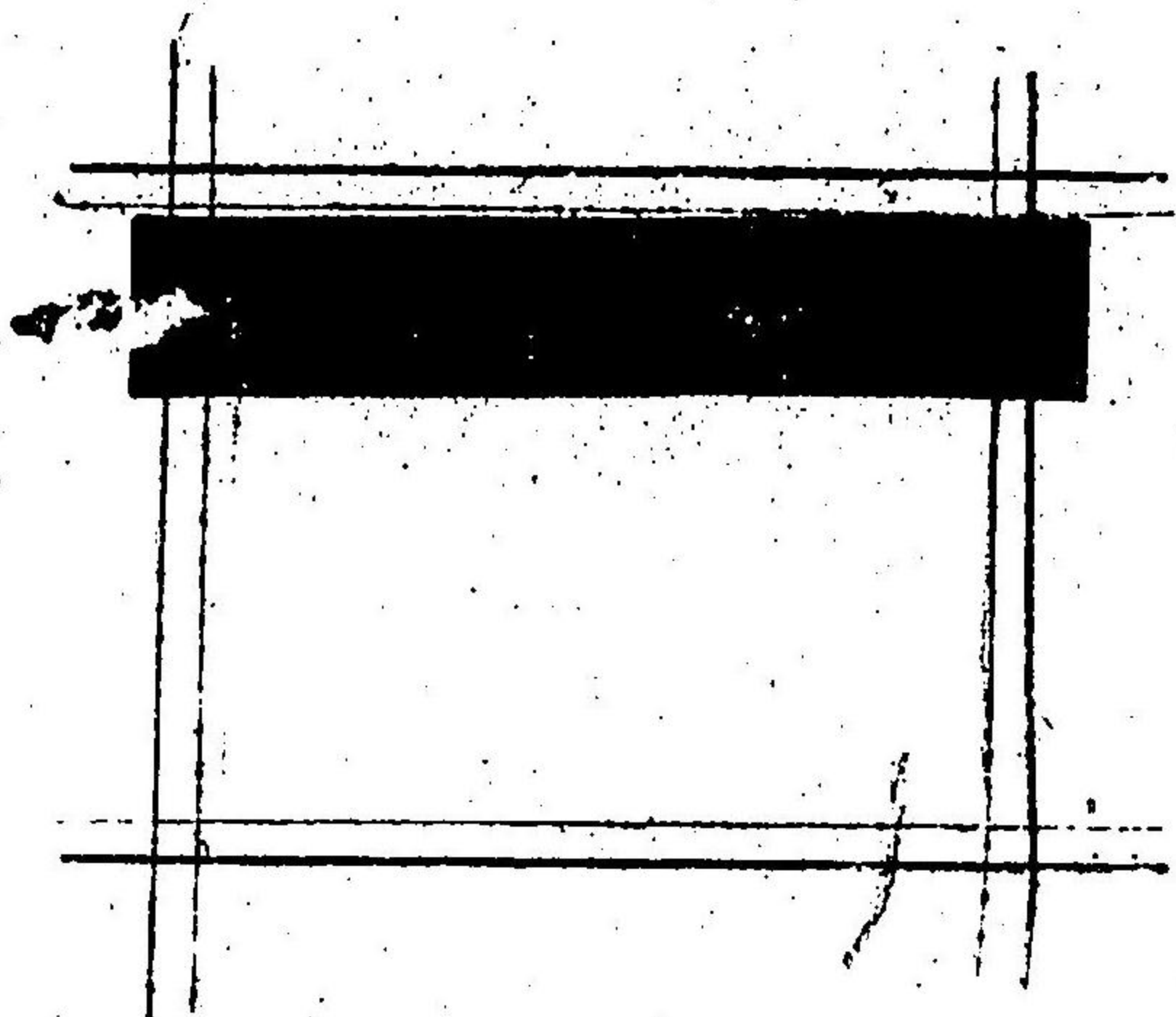
七 足を踏

八 足を踏

此次の踏順は前の初足より

戻りて順次踏まへし

○券貳十第



踏木の踏順

一 足を踏

二 足を踏

三 足を踏

四 足を踏

五 足を踏

六 足を踏

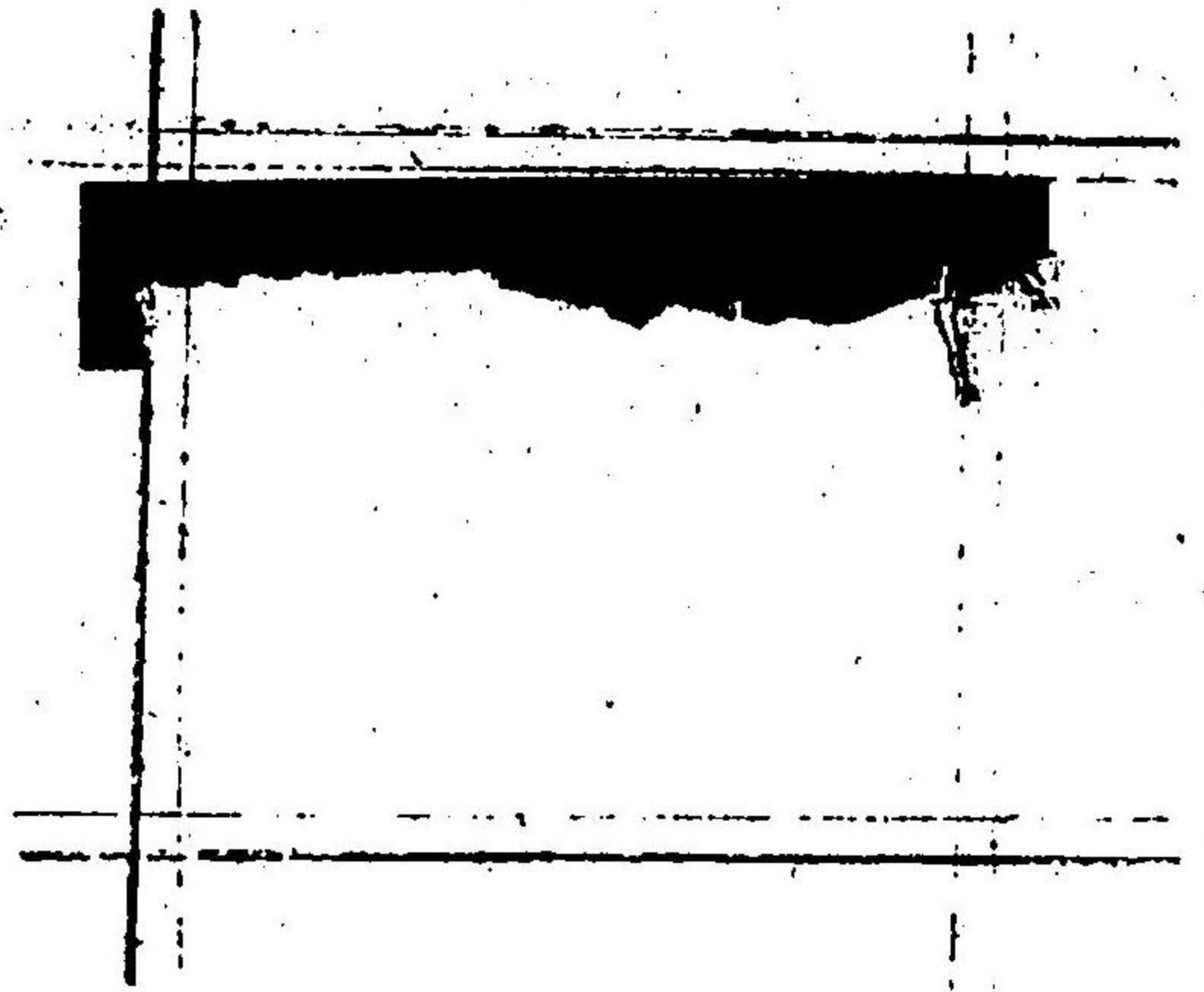
七 足を踏

八 足を踏

此次の踏順は前の初足より

戻りて順次踏まへし

○ 第九十式



踏木の踏順

一 足を踏

二 足を踏

三 足を踏

四 足を踏

五 足を踏

六 足を踏

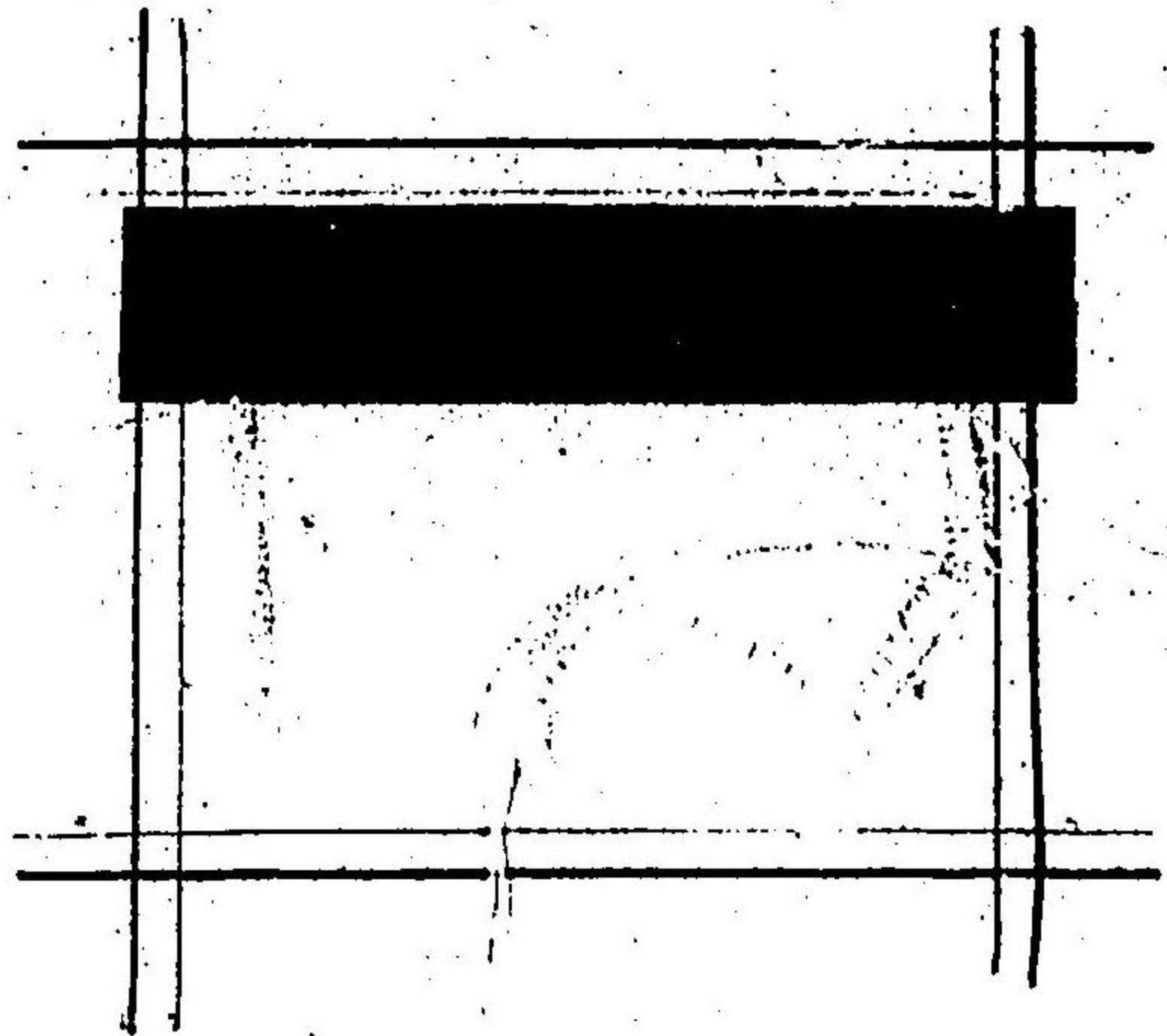
七 足を踏

八 足を踏

此次の踏順も前の初足より

戻り順次踏むべし

○ 第九十三式



踏木の踏順

一 足を踏

二 足を踏

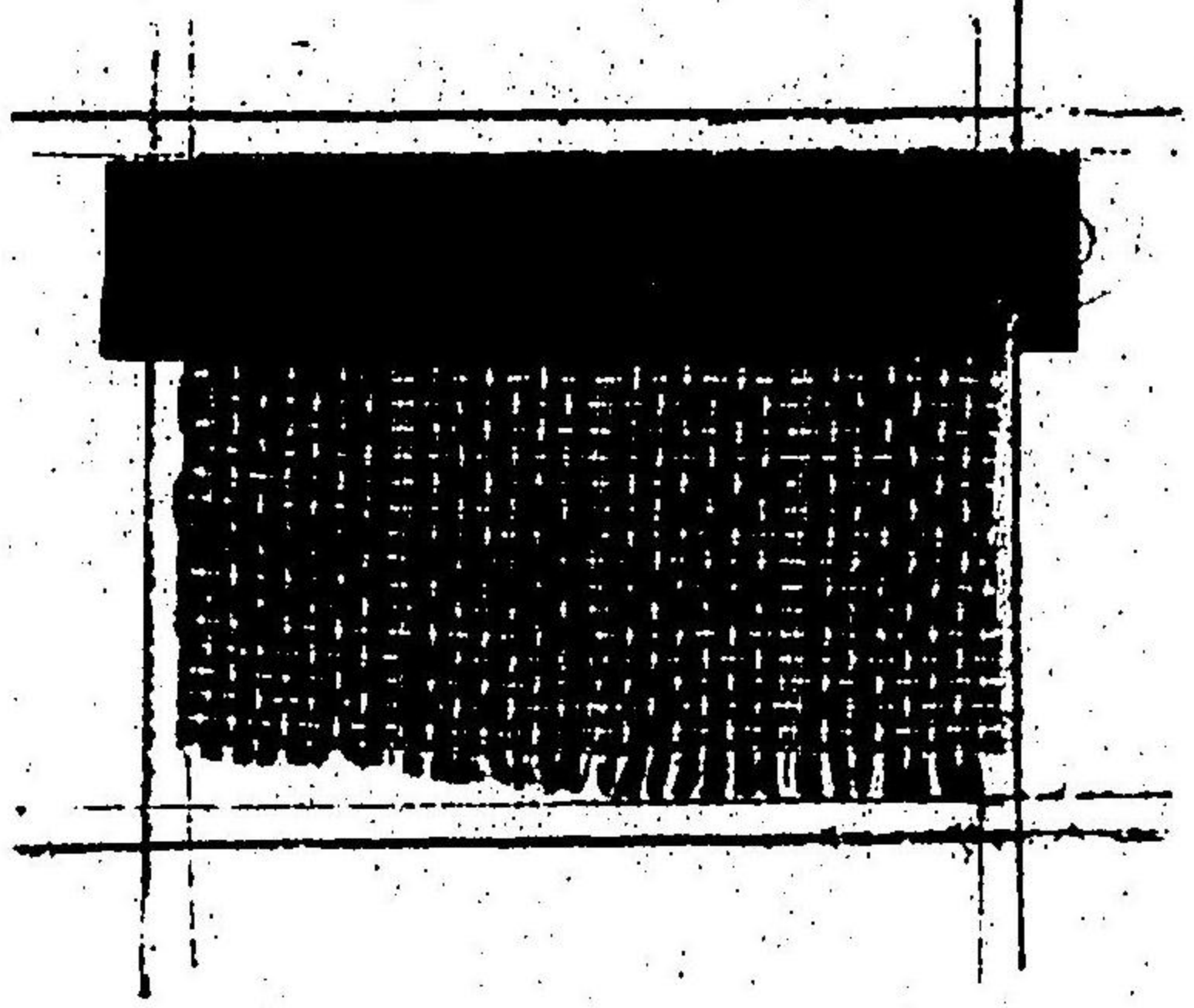
三 足を踏

四 足を踏

此次の踏順も前の初足より

戻り順次踏むべし

○第 十四 躰



踏木の踏頭

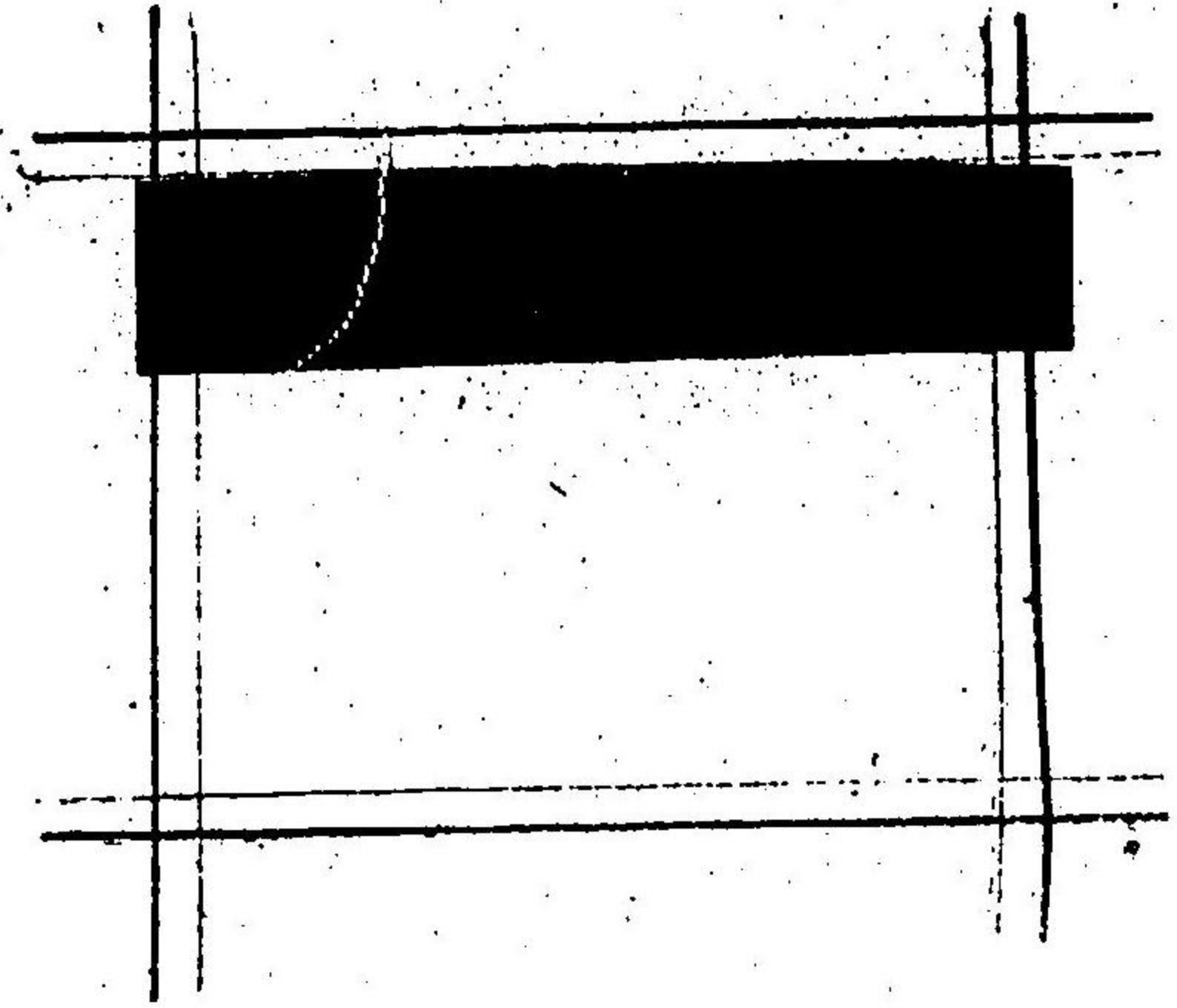
一 足を踏

二 足を踏

此次の踏頭も前の初足
戻りて順次踏をへし

○第 十五 躰

踏木の踏頭



一 足を踏

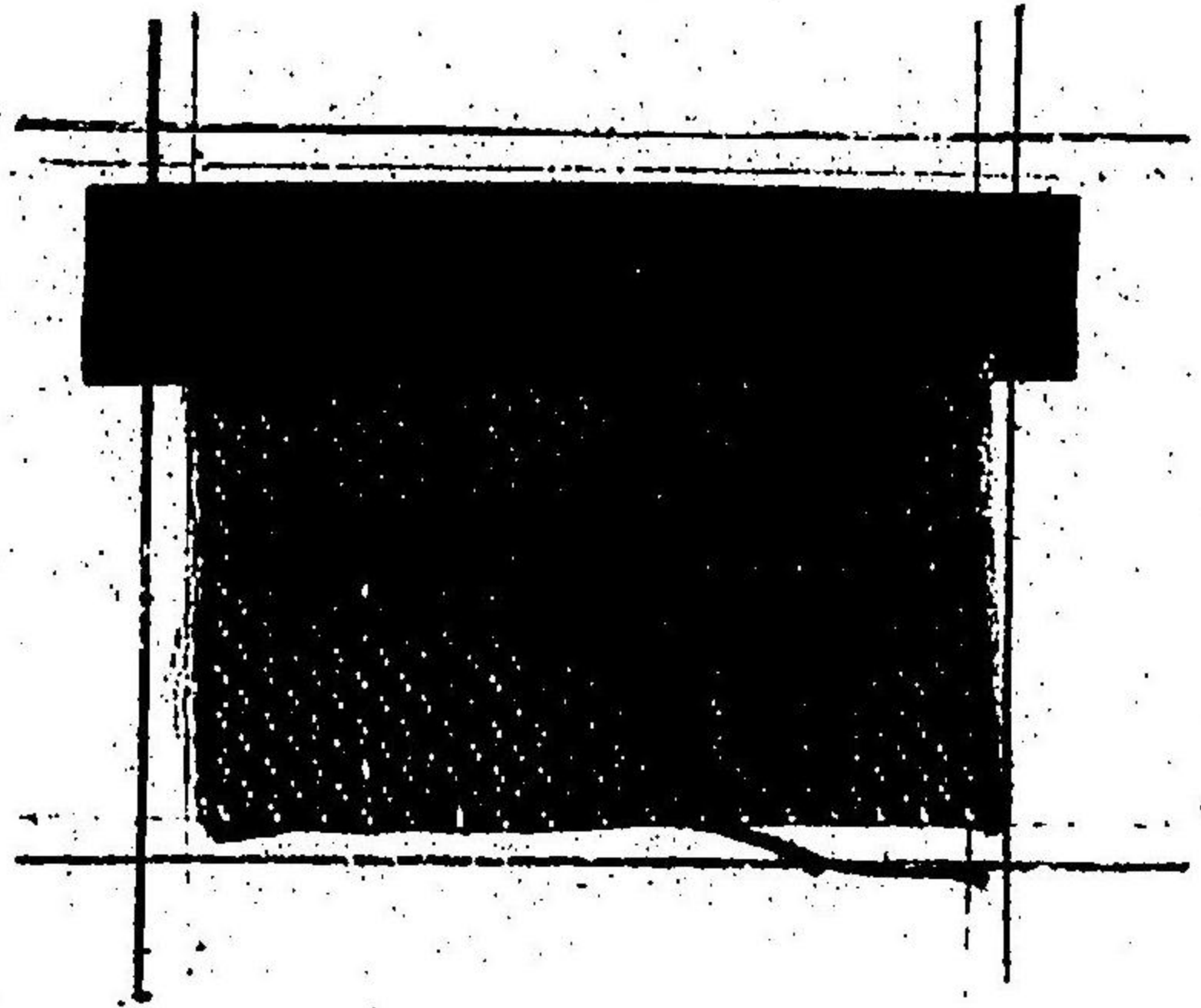
二 足を踏

三 足を踏

四 足を踏

此次の踏頭も前の初足
戻りて順次踏をへし

○ 第 十 六 條

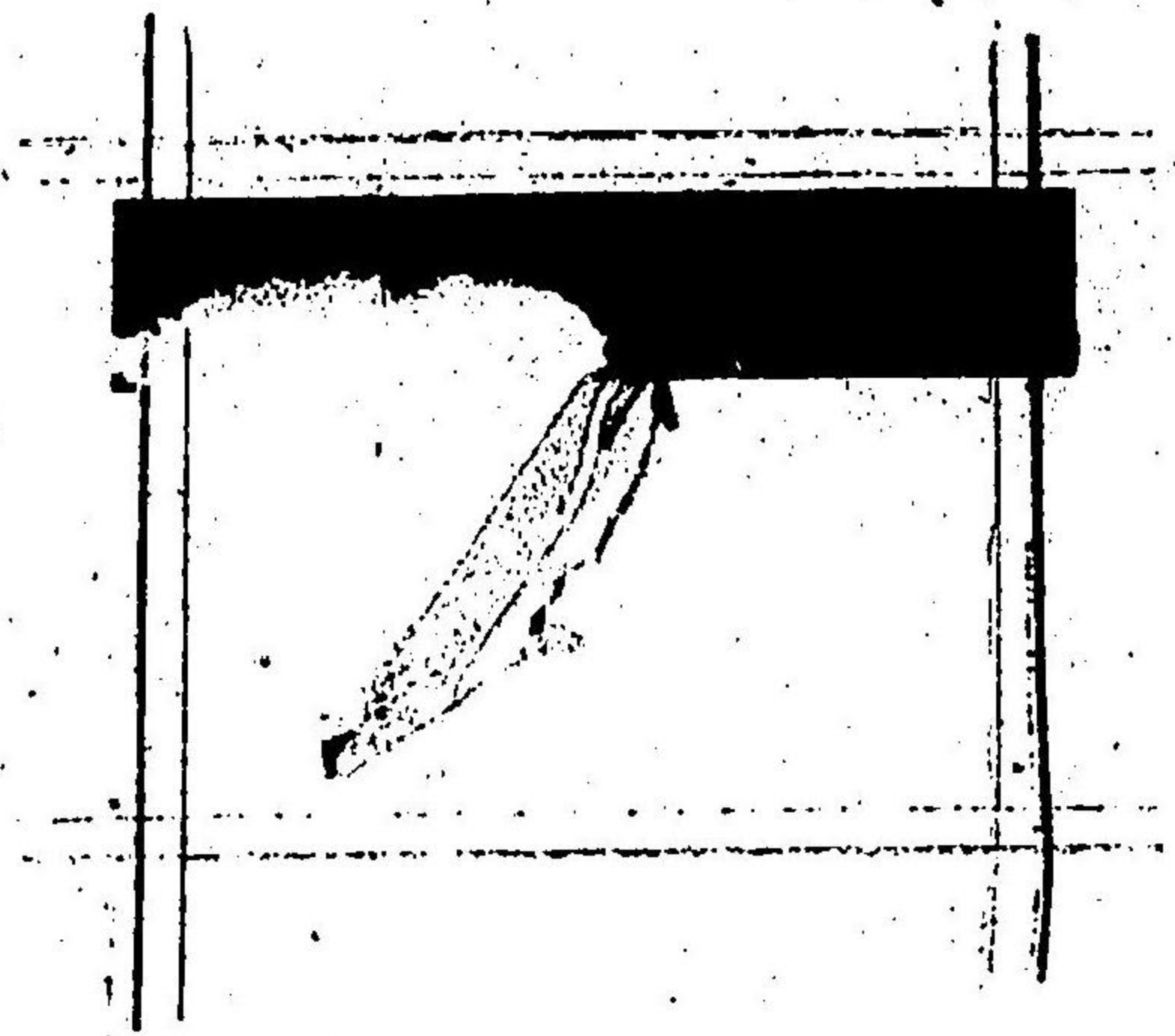


踏木の踏順

一 足を踏
二 足を踏
三 足を踏
四 足を踏
五 足を踏
六 足を踏

此次の踏順を最初の初足に
戻りて順次踏をへし

○ 第 十 七 條

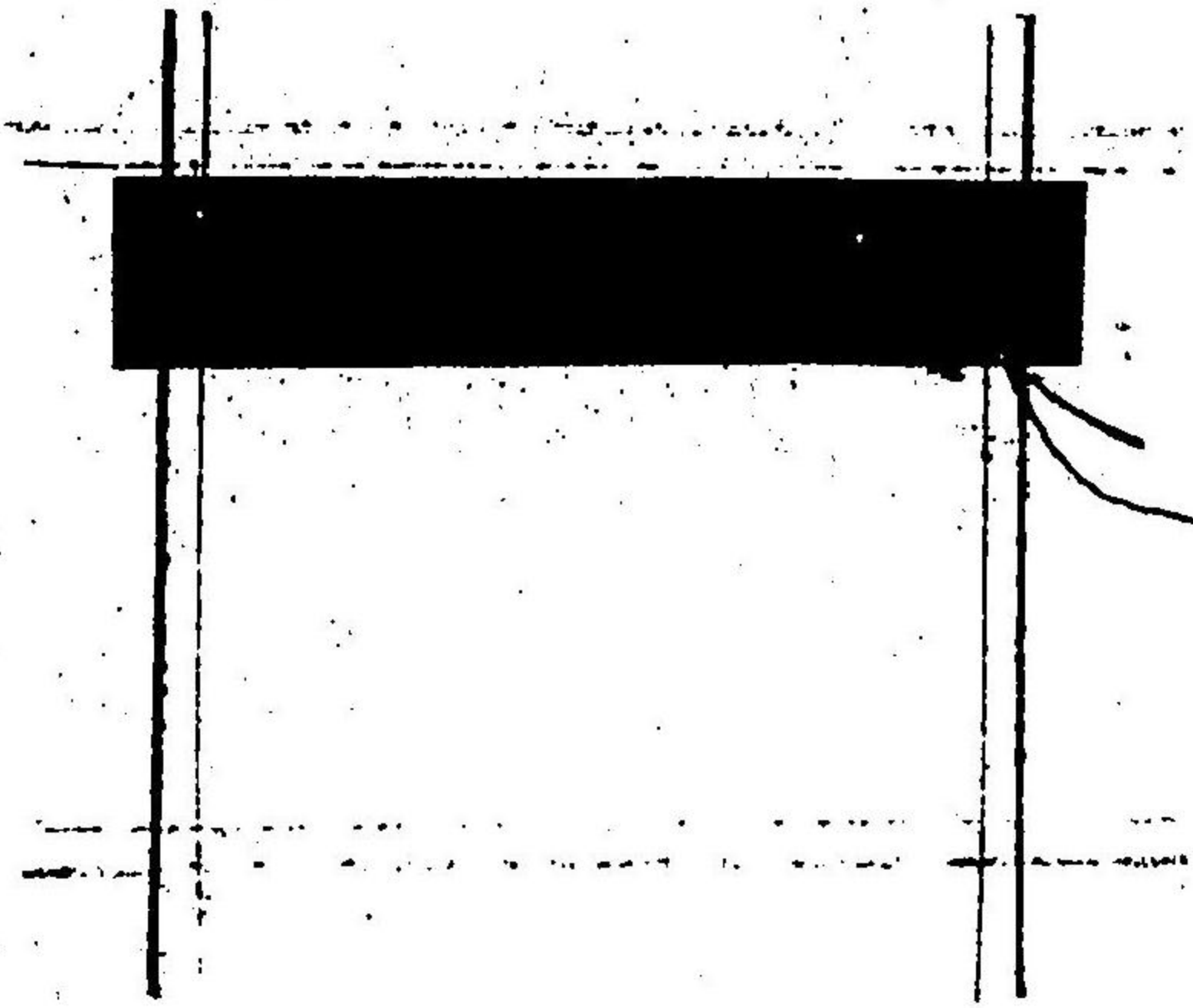


踏木の踏順

一 足を踏
二 足を踏
三 足を踏
四 足を踏
五 足を踏
六 足を踏

此次の踏順を最初の初足に
戻りて順次踏をへし

○ 第九十八號



踏木の踏順

一 足を踏

二 足を踏

三 足を踏

四 足を踏

五 足を踏

六 足を踏

七 足を踏

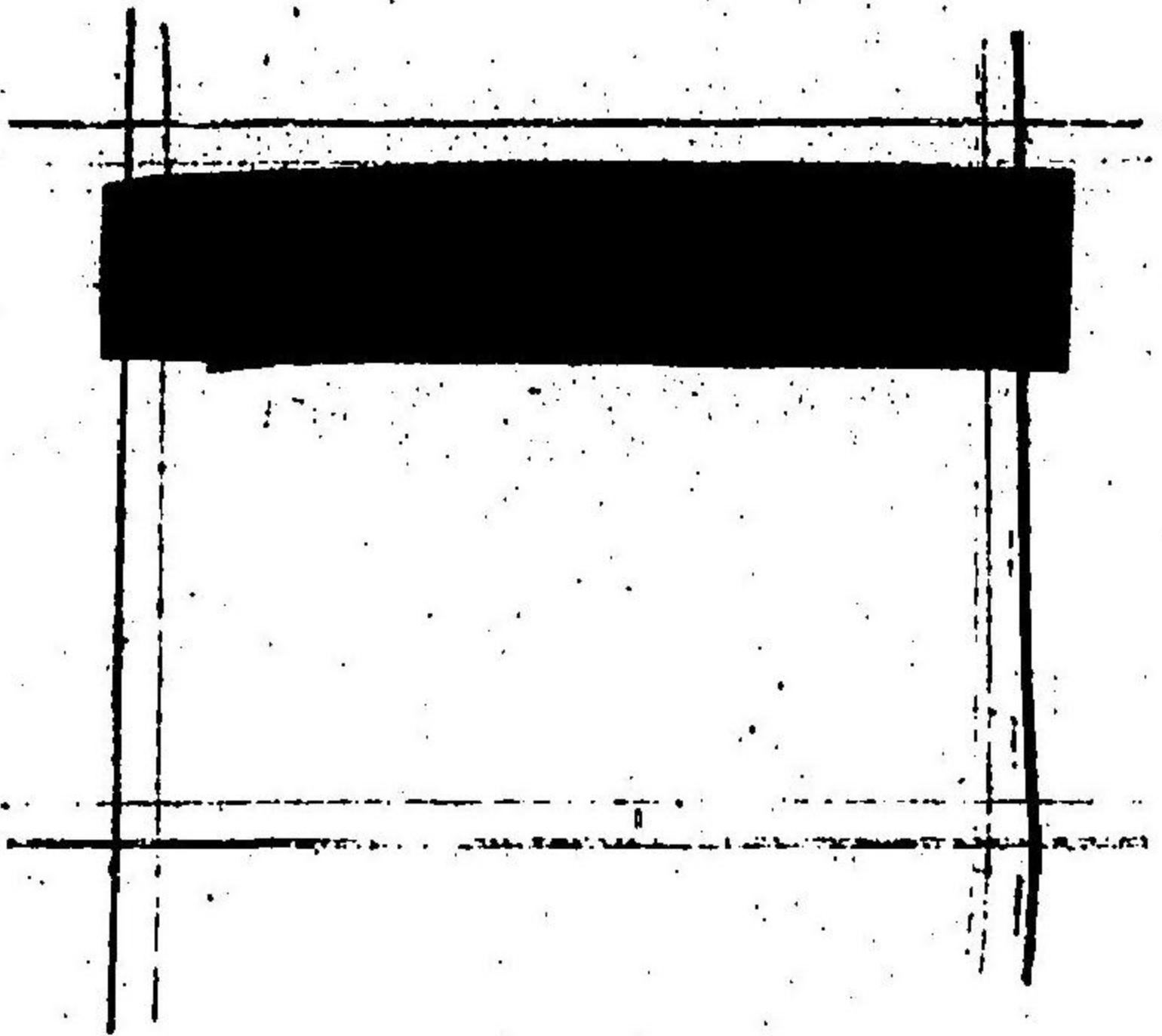
八 足を踏

此次の踏順を最初の初足に

戻りて順次踏まへし

○ 第九十九號

踏木の踏順



一 足を踏

二 足を踏

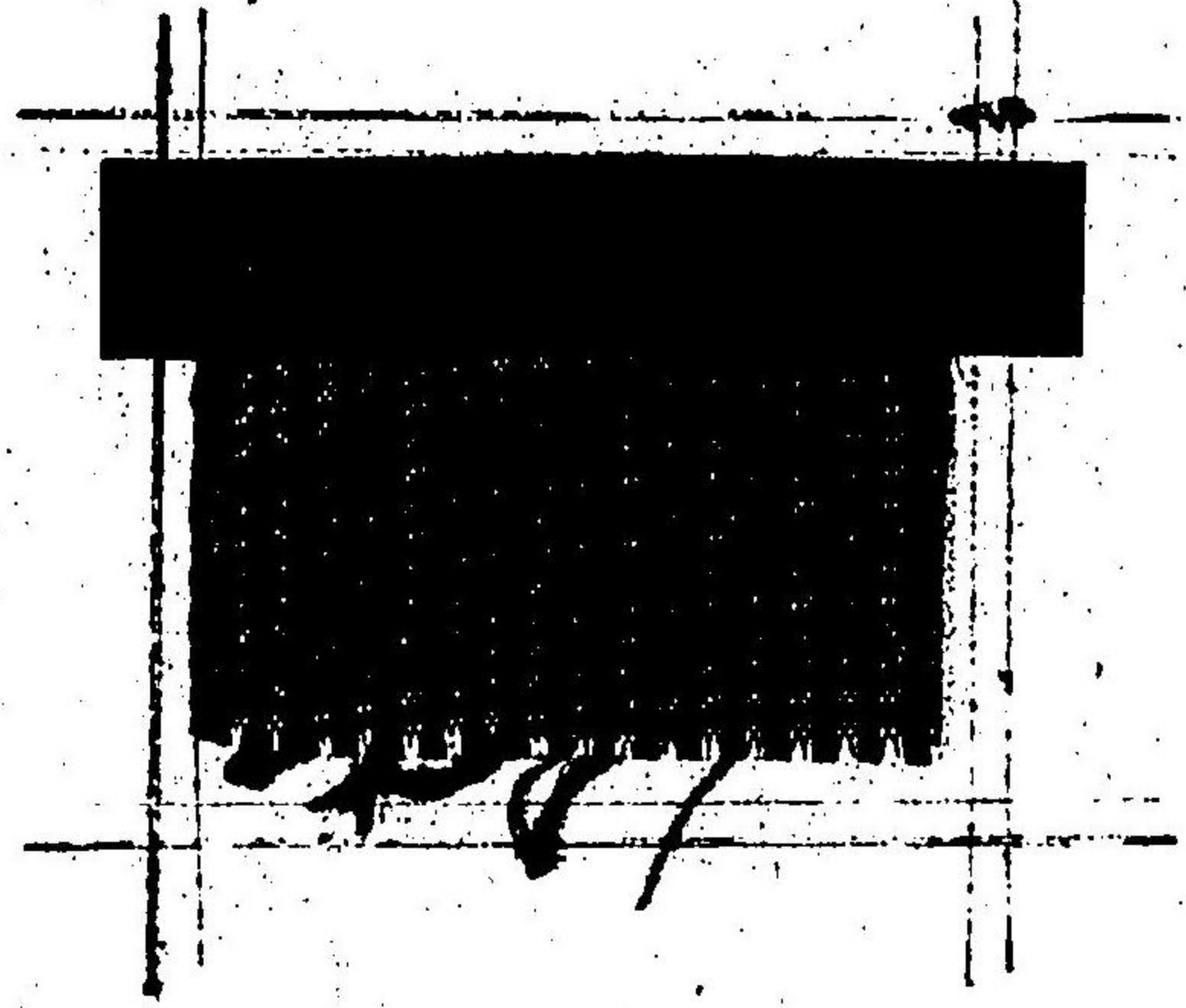
三 足を踏

四 足を踏

此次の踏順を最初の初足に

戻りて順次踏まへし

○ 第三十號



踏木の踏順

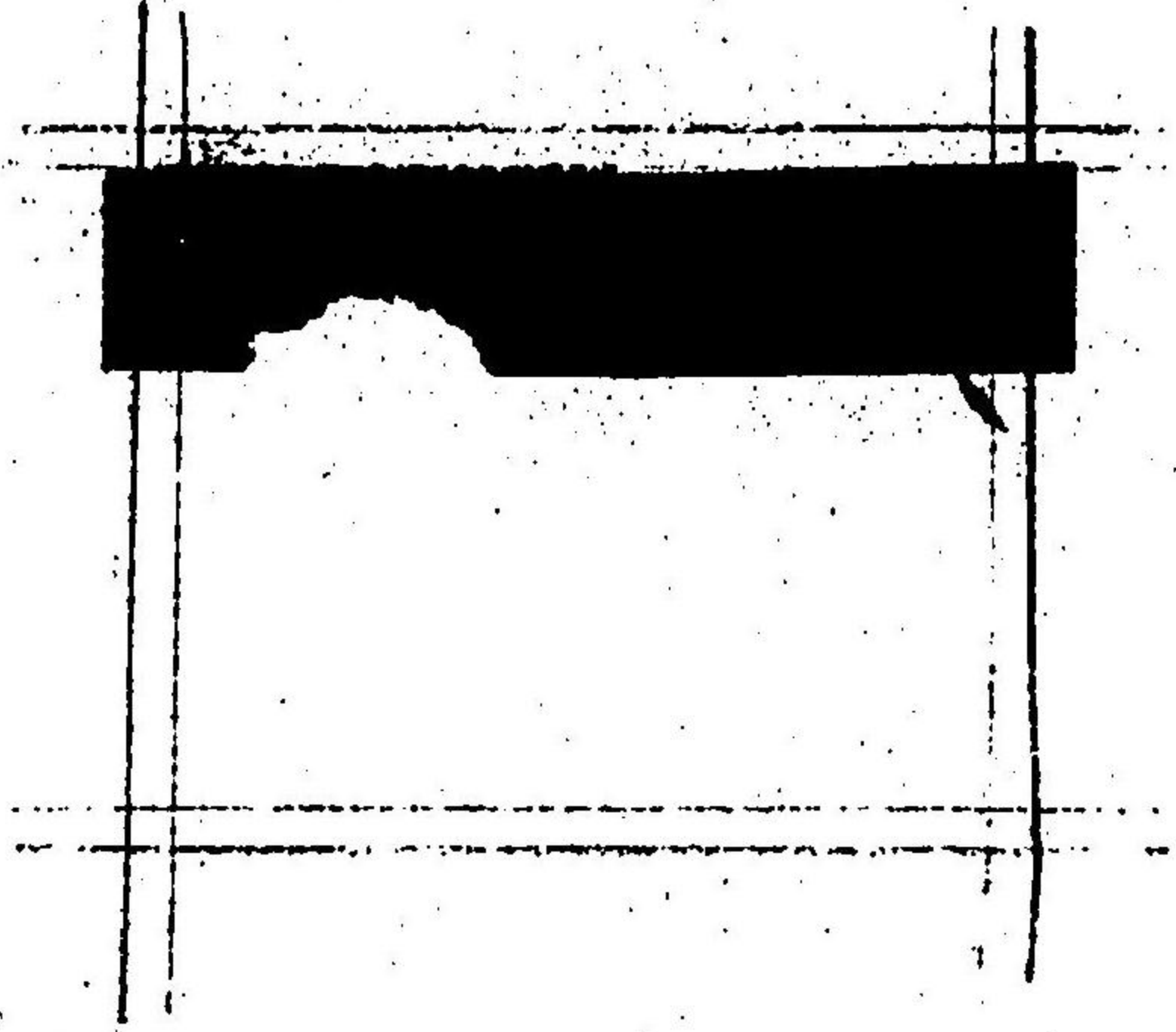
- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏
- 五 足を踏
- 六 足を踏

此次の踏順を最初の初足

戻り順次踏をへし

○ 第三十號

踏木の踏順

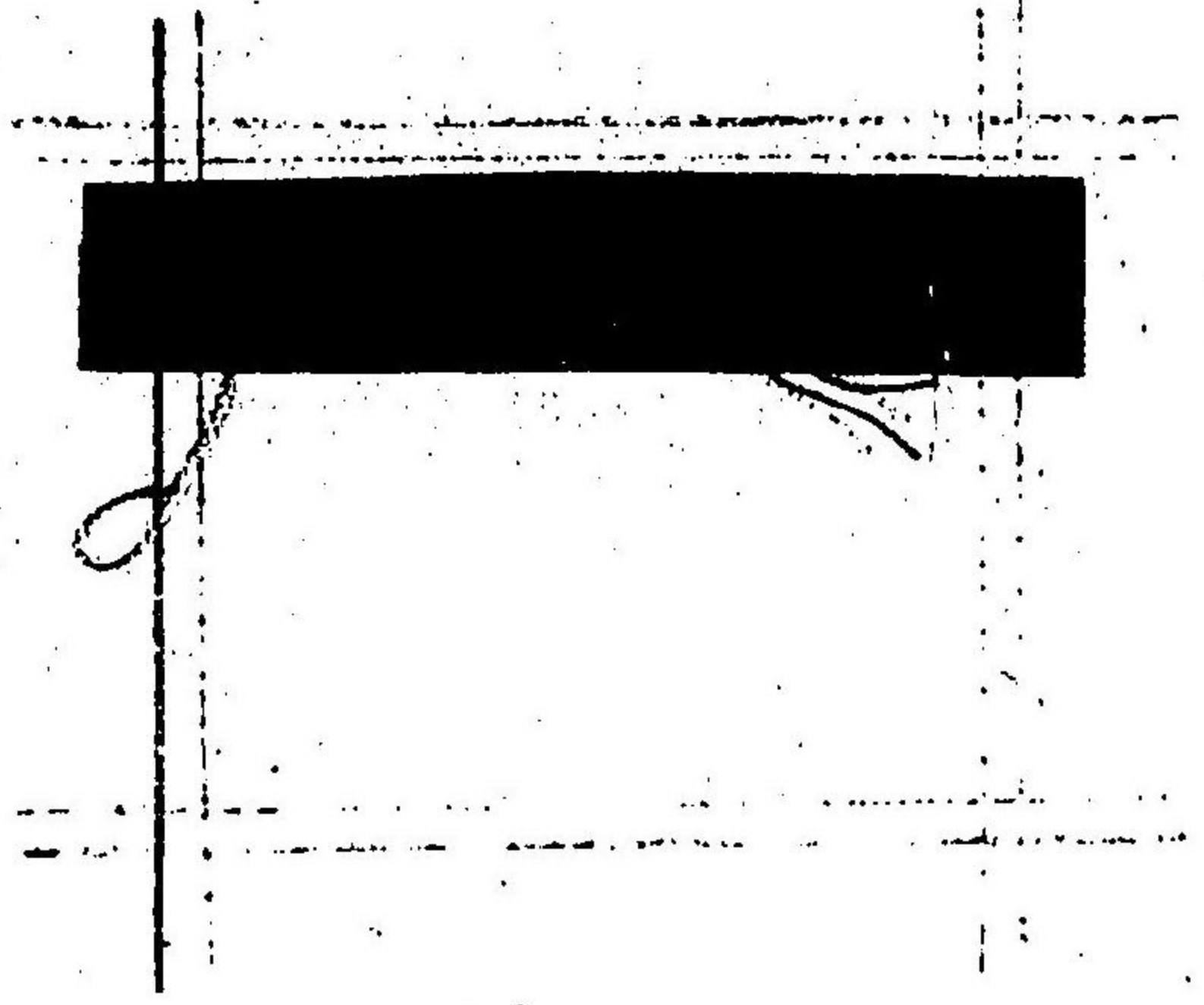


- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏
- 五 足を踏
- 六 足を踏

此次の踏順を最初の初足

戻り順次踏をへし

○ 第三十號

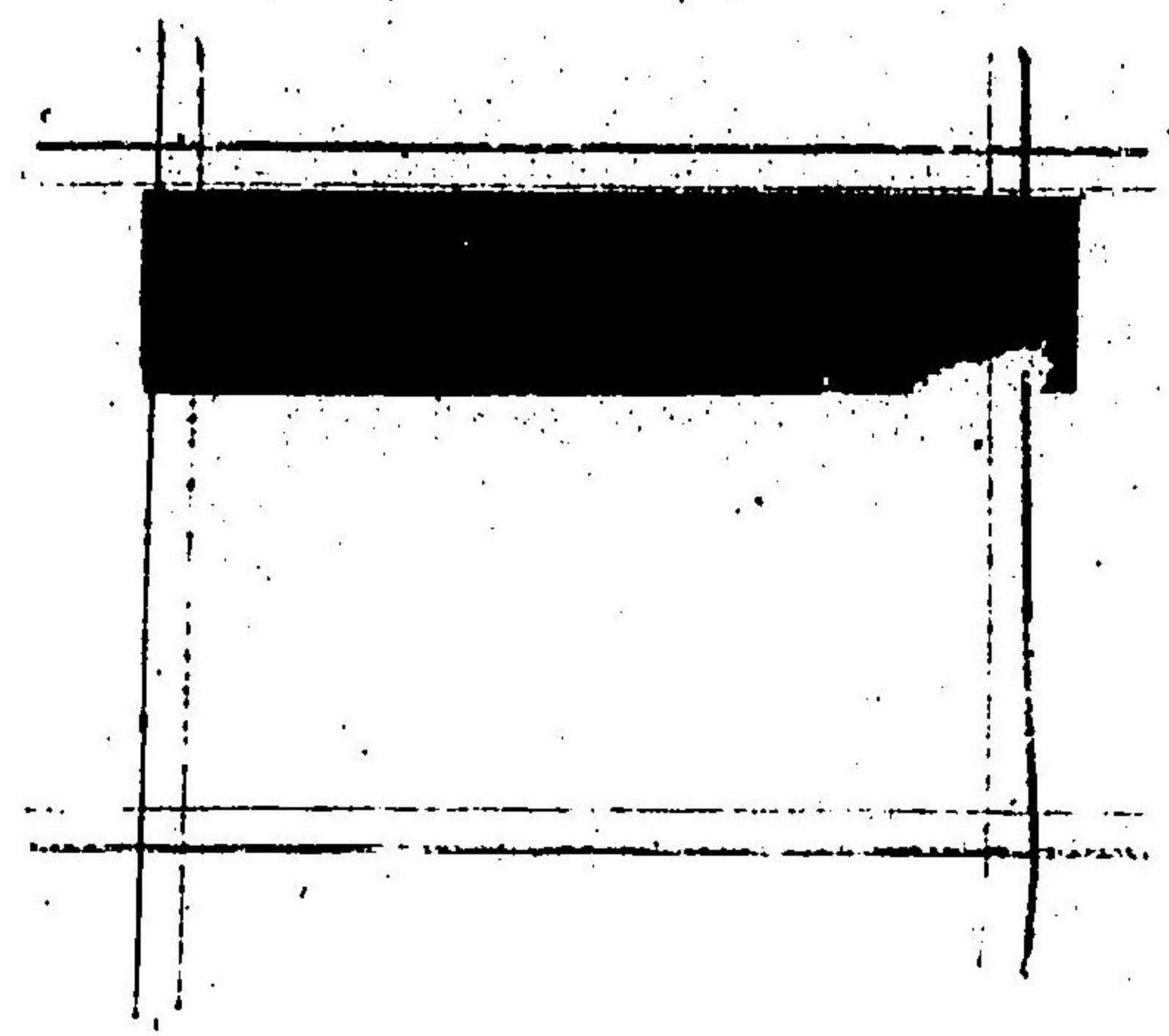


踏木の踏順

- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏

此次の踏順は右の初足は
戻り順次踏まへし

○ 第三十三號

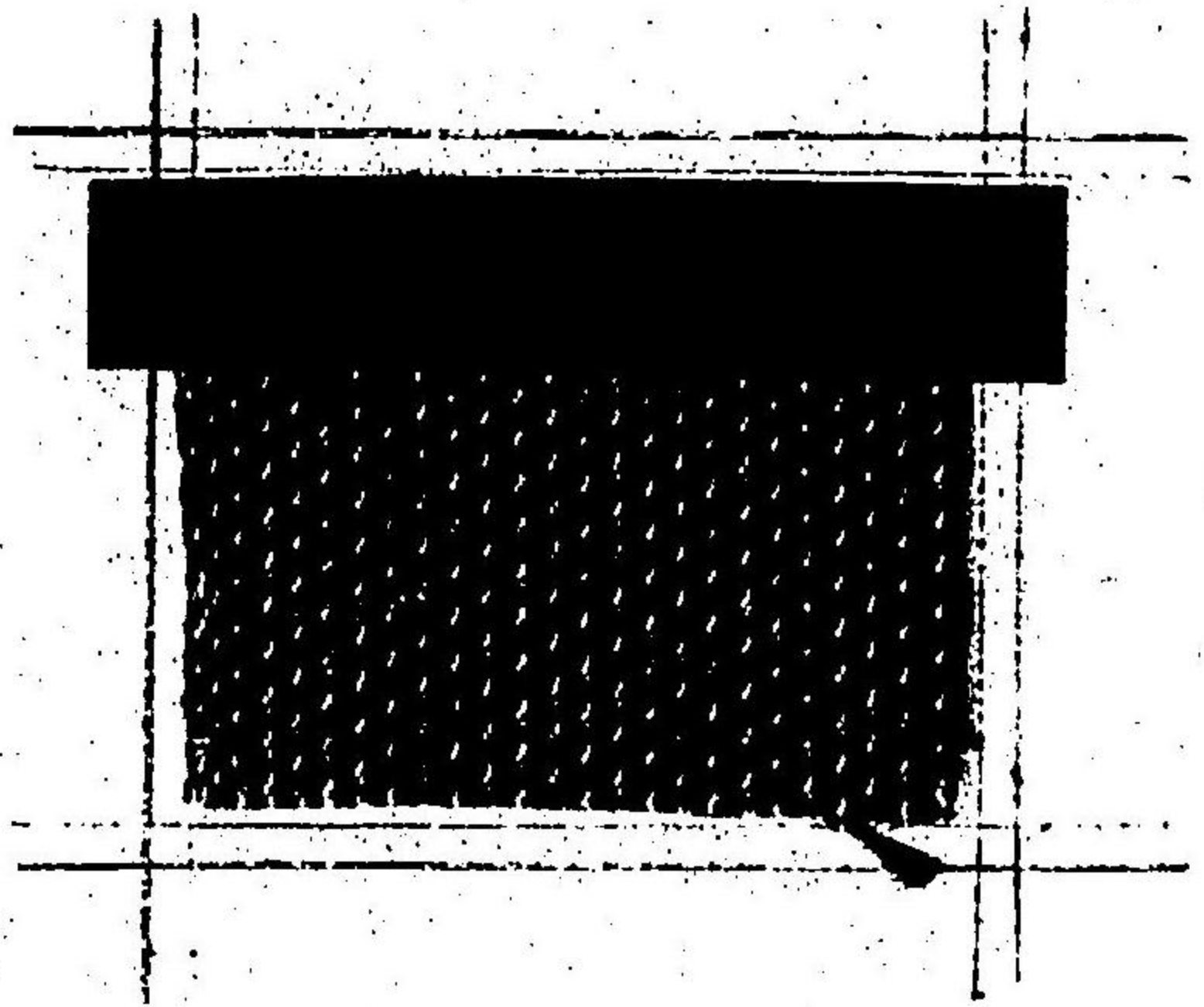


踏木の踏順

- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏

此次の踏順は右の初足は
戻り順次踏まへし

○第三十四節



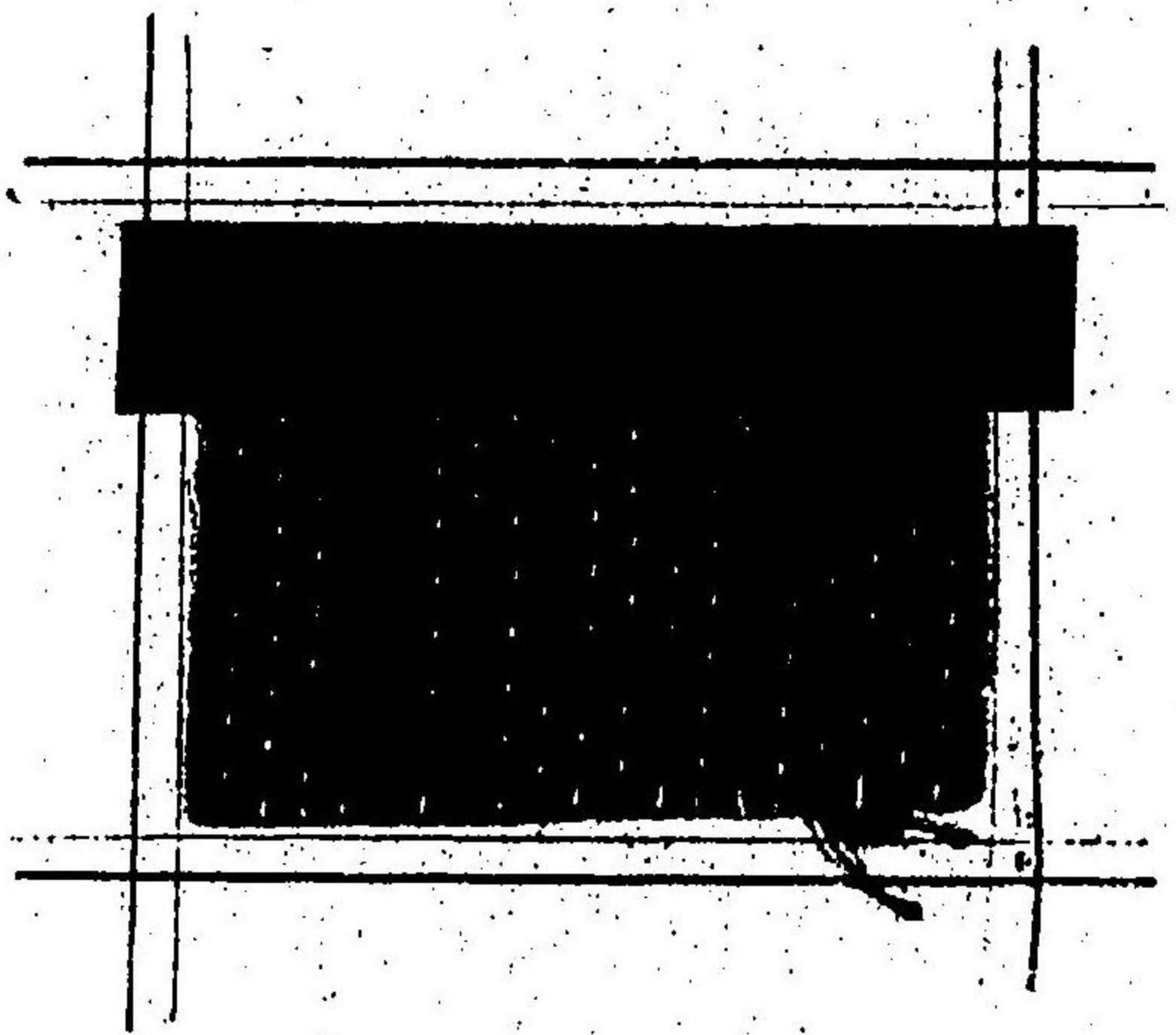
踏木の踏順

- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏
- 五 足を踏
- 六 足を踏

此次の踏順も足の初足は
戻りて順次踏をへし

○第三十五節

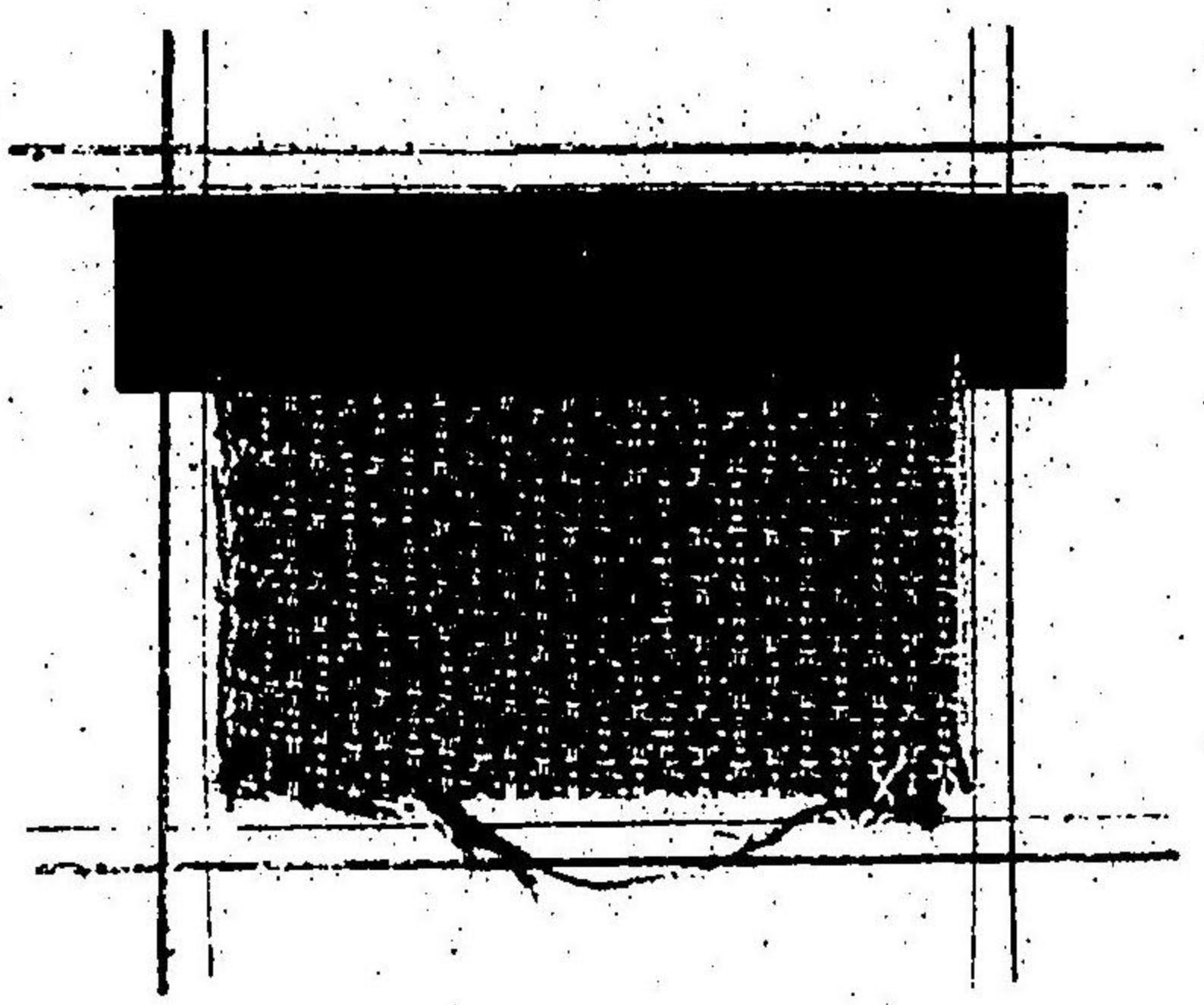
踏木の踏順



- 一 足を踏
- 二 足を踏
- 三 足を踏
- 四 足を踏
- 五 足を踏
- 六 足を踏

此次の踏順も足の初足は
戻りて順次踏をへし

○第三十六號



踏木の踏順

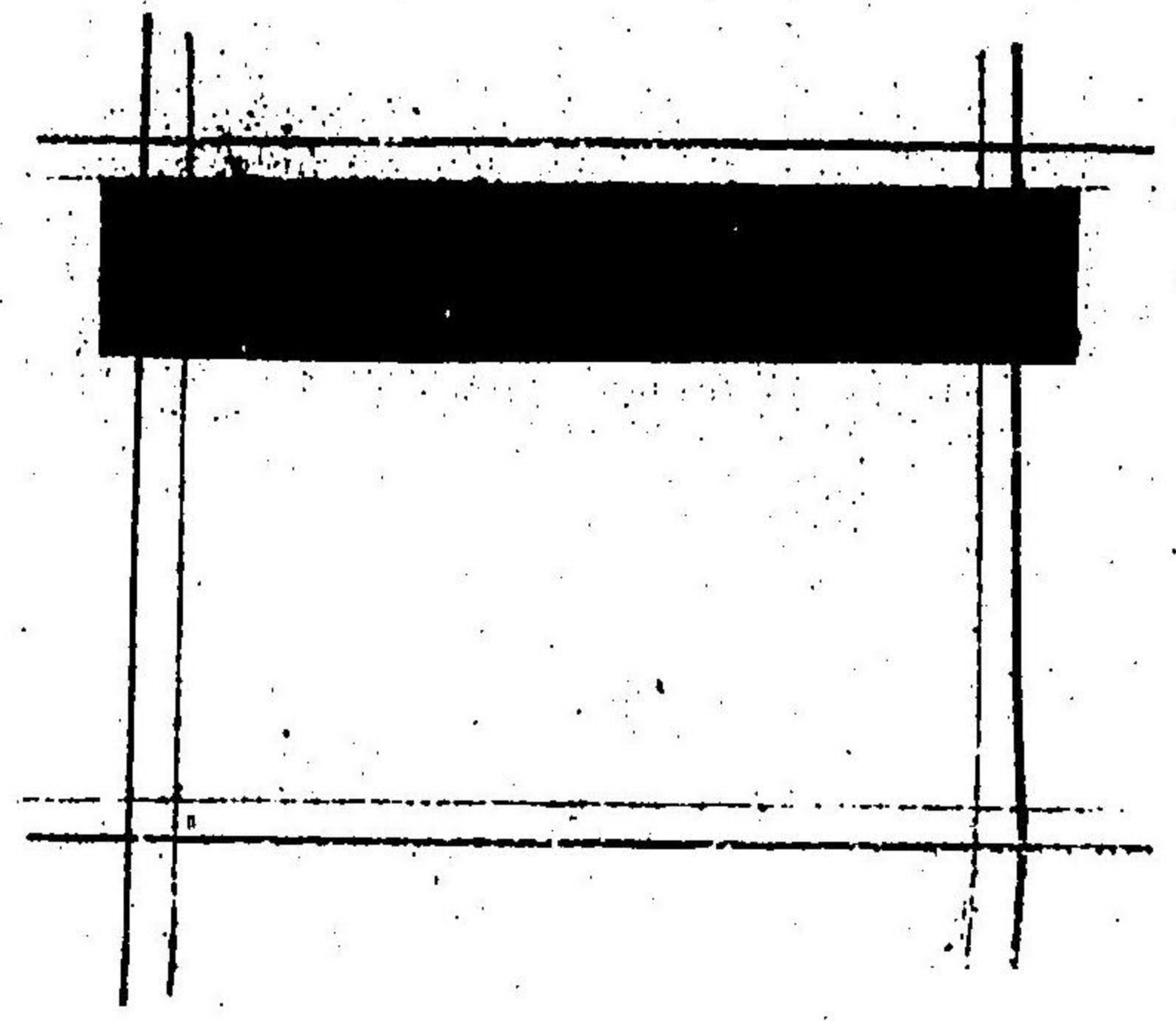
- 一 左足を踏
- 二 右足を踏
- 三 左足を踏
- 四 右足を踏
- 五 左足を踏
- 六 右足を踏
- 七 左足を踏
- 八 右足を踏

此次の踏順を最初の初足

戻りて順次踏をへし

○第三十七號

踏木の踏順

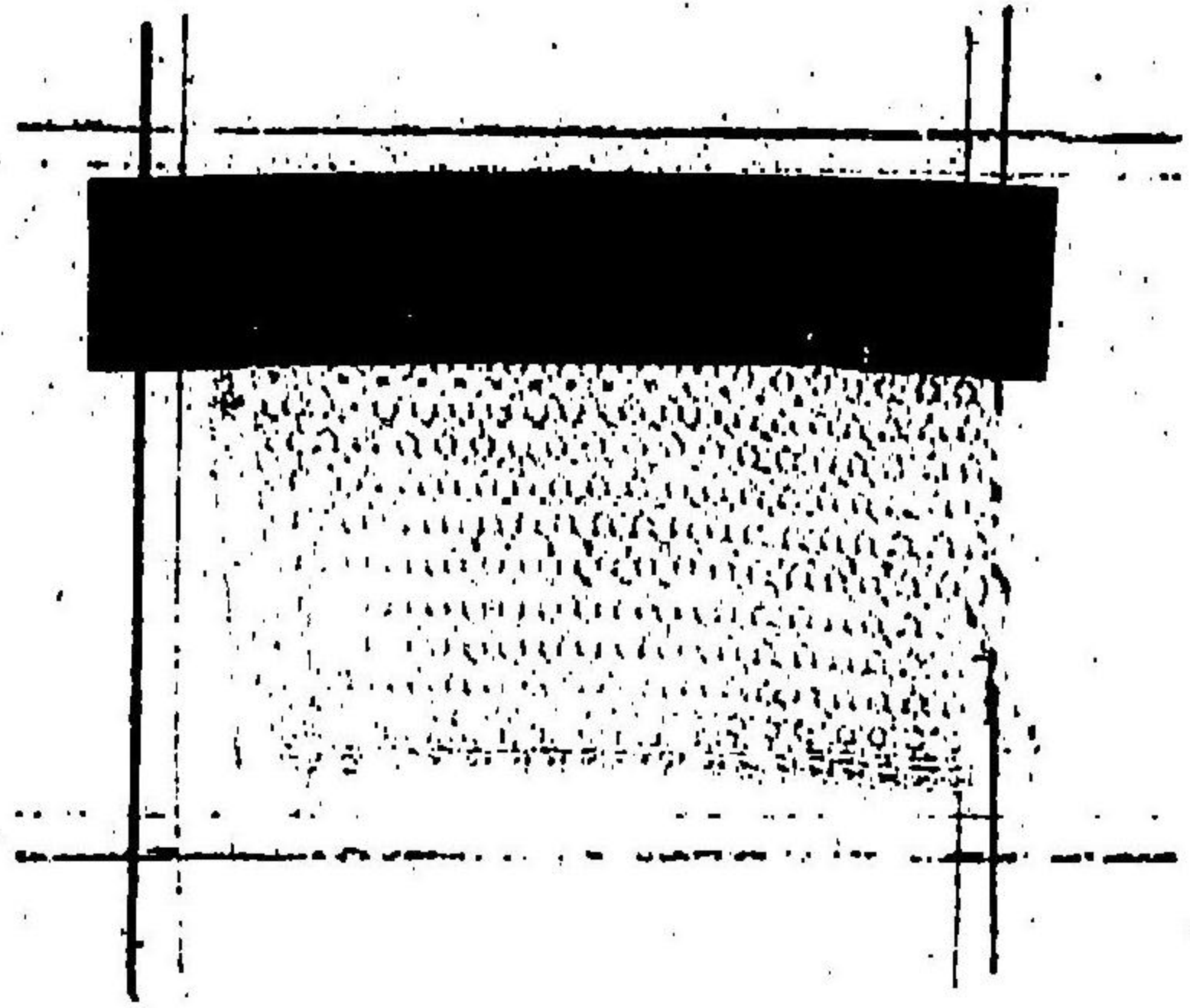


- 一 左足を踏
- 二 右足を踏
- 三 左足を踏
- 四 右足を踏
- 五 左足を踏
- 六 右足を踏
- 七 左足を踏
- 八 右足を踏

此次の踏順を最初の初足

戻りて順次踏をへし

○第三十八號

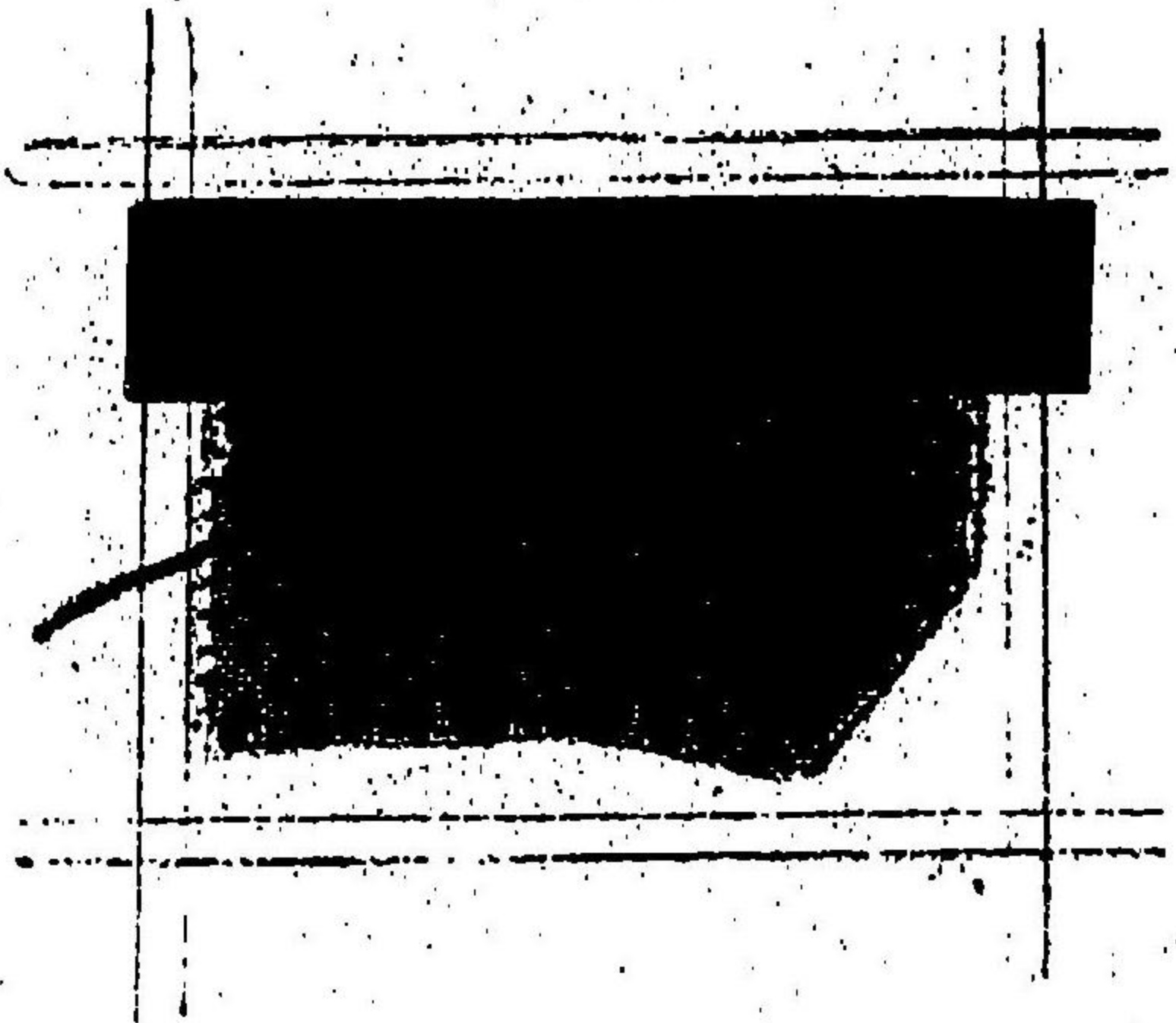


踏木の踏順

- 二足を踏
- 或足を踏
- 三足を踏
- 四足を踏
- 五足を踏
- 四足を踏

此次の踏順まゝの初足は
戻り、順次踏をへし

○第三十九號



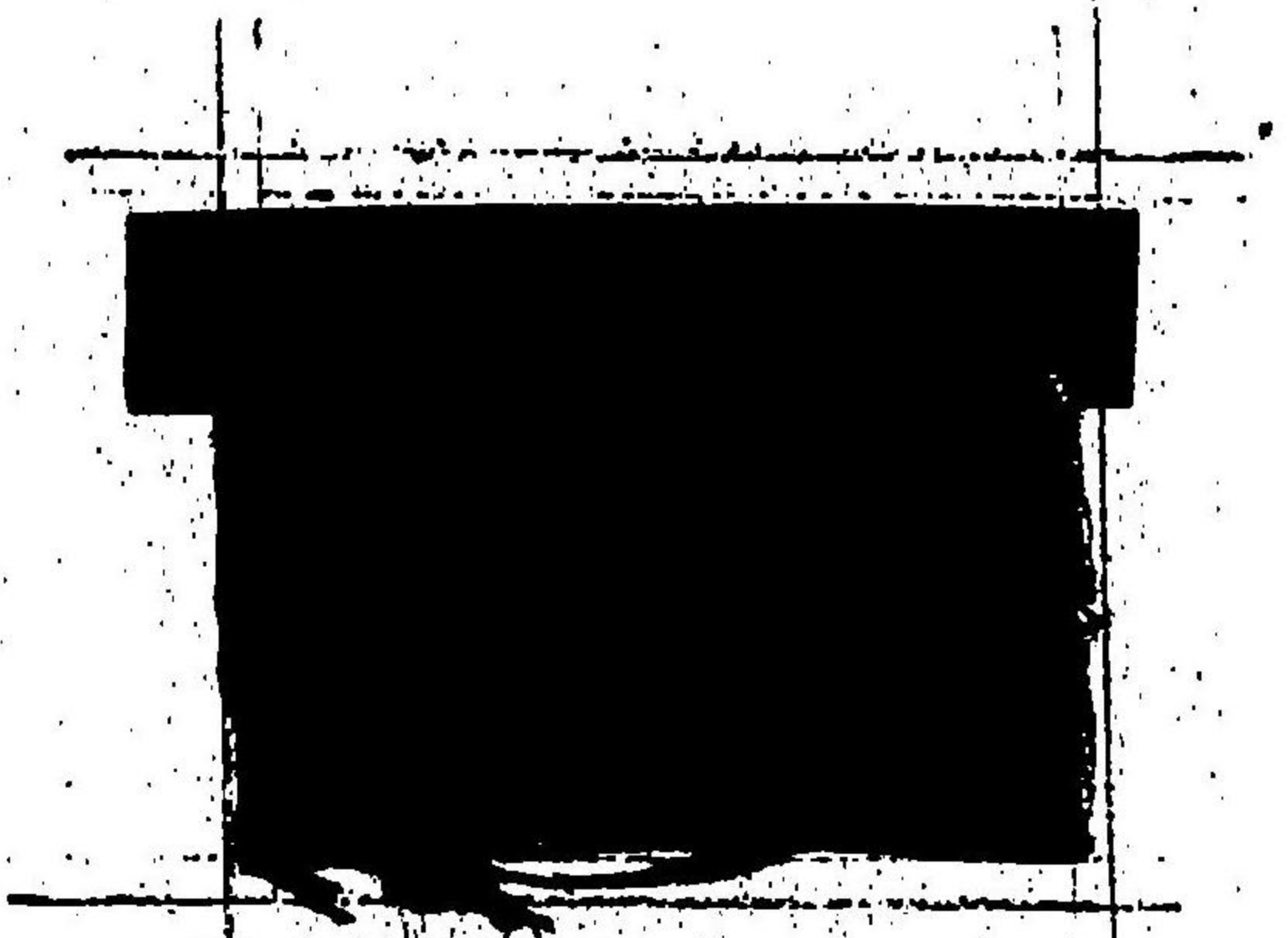
踏木の踏順

- 七足を踏
- 或足を踏
- 三足を踏
- 七足を踏
- 或足を踏
- 四足を踏
- 五足を踏
- 六足を踏
- 四足を踏
- 五足を踏

此次の踏順まゝの初足は
戻り、順次踏をへし

○第四十號

踏木の踏順



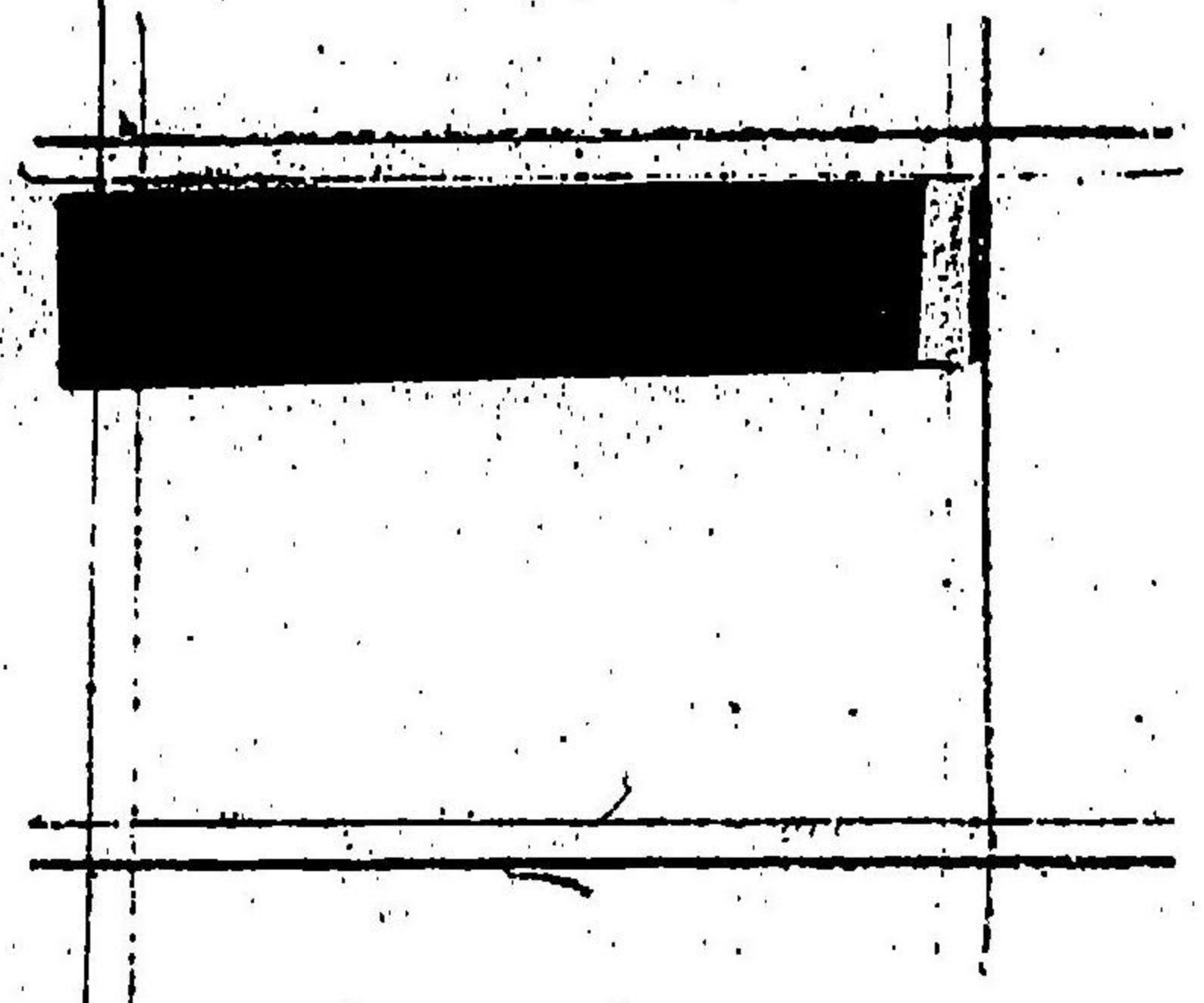
- 一 右足を踏
- 二 左足を踏
- 三 右足を踏
- 四 左足を踏
- 五 右足を踏
- 六 左足を踏
- 七 右足を踏
- 八 左足を踏
- 九 右足を踏
- 十 左足を踏

此次の踏順も前の初足は

戻り順次踏まへし

○第四十號

踏木の踏順



- 一 右足を踏
- 二 左足を踏
- 三 右足を踏
- 四 左足を踏

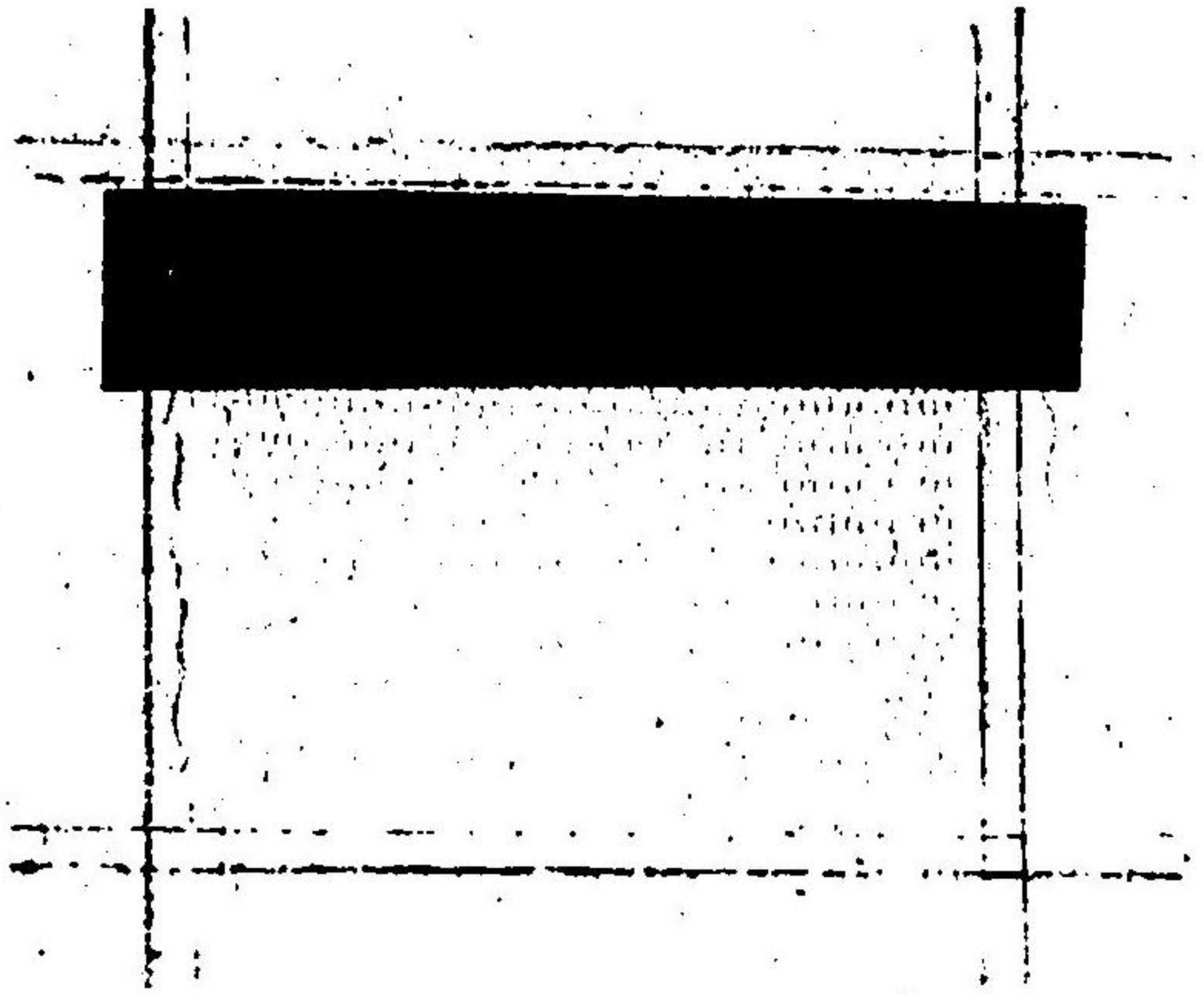
此次の踏順も前の初足

戻り順次踏まへし

○ 第四十四 躰

踏木の躰順

六	五	四	三	二	一
足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏

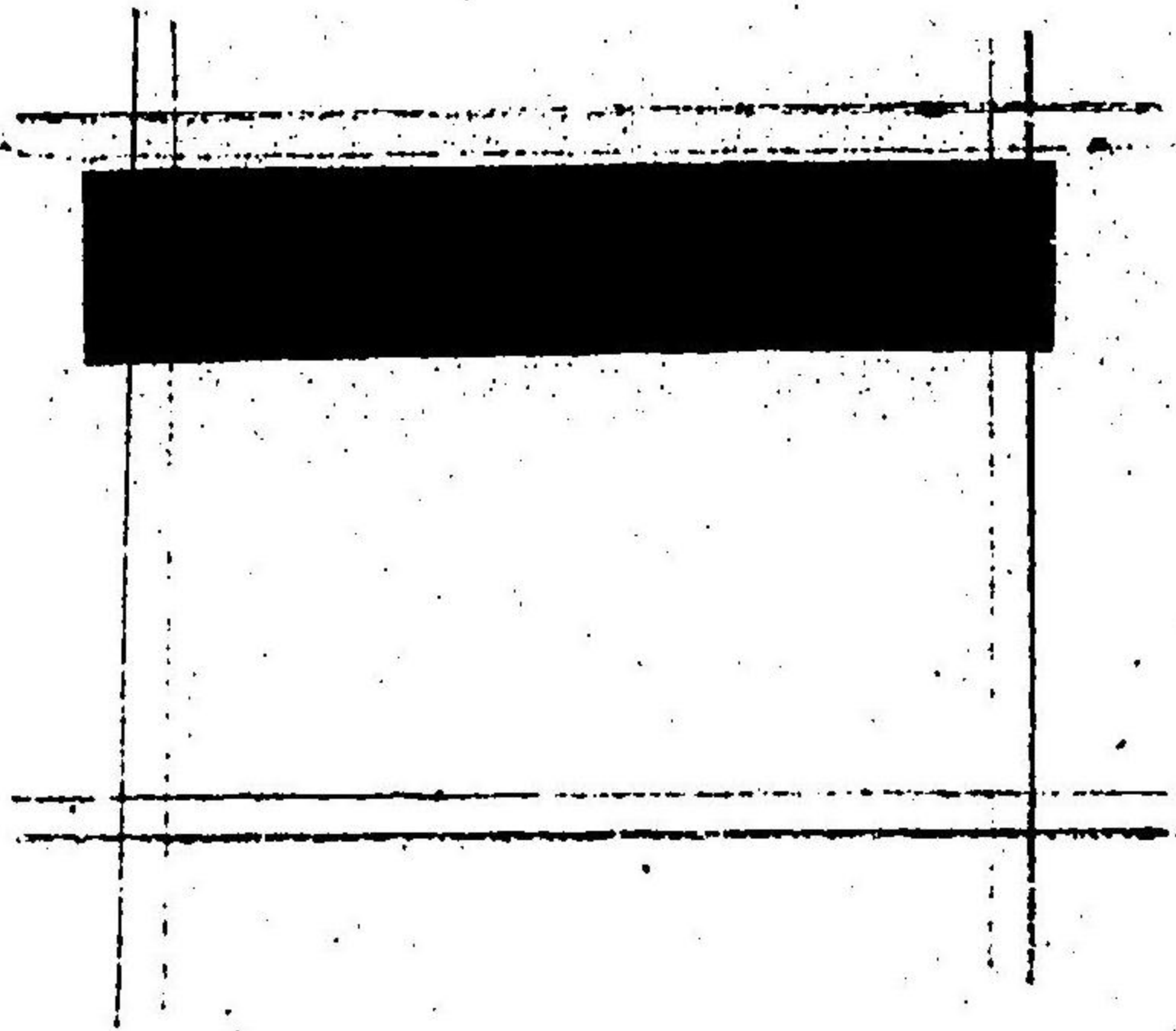


此次の躰順より前の初足は
戻り、順次躰をへし

○ 第四十五 躰

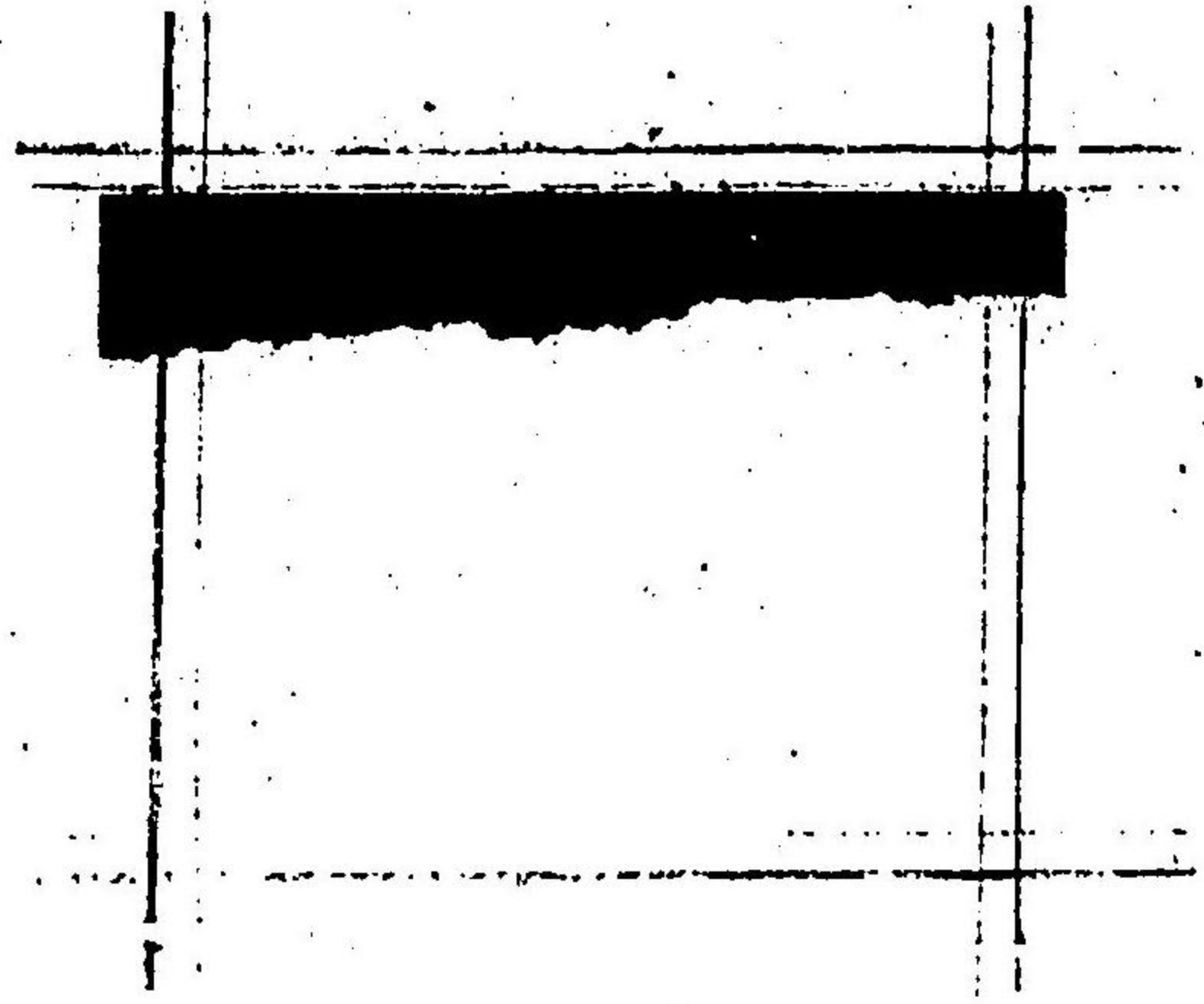
踏木の躰順

六	五	四	三	二	一
足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏
六	五	四	三	二	一
足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏



此次の躰順より前の初足は
戻り、順次躰をへし

○ 第四十八 躰



躰木の踏順

一 足を踏

二 足を踏

三 足を踏

四 足を踏

五 足を踏

六 足を踏

七 足を踏

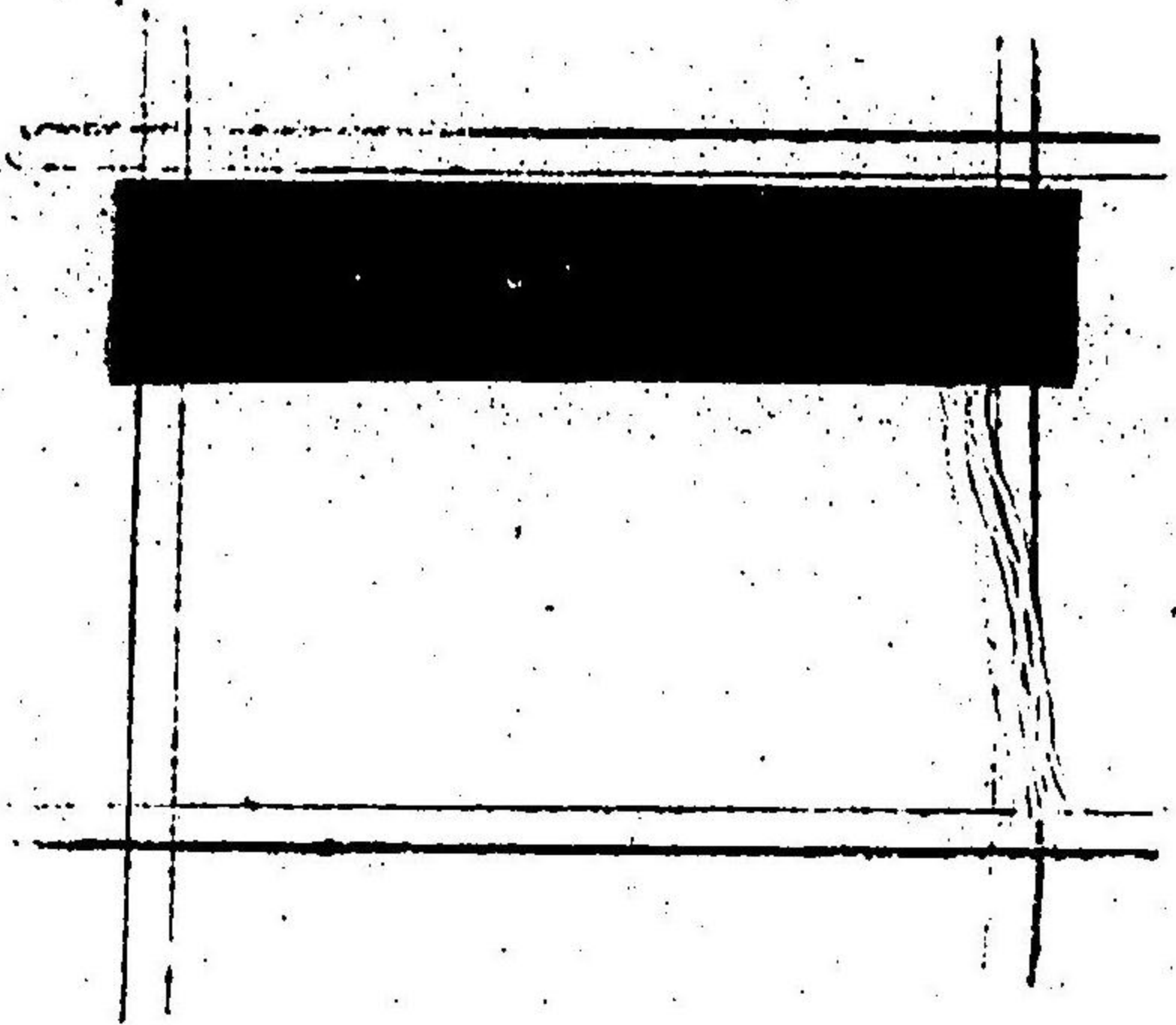
八 足を踏

此次の踏順は、足の初足

戻り、順次踏をへし

○ 第四十九 躰

躰木の踏順



一 足を踏

二 足を踏

三 足を踏

四 足を踏

五 足を踏

六 足を踏

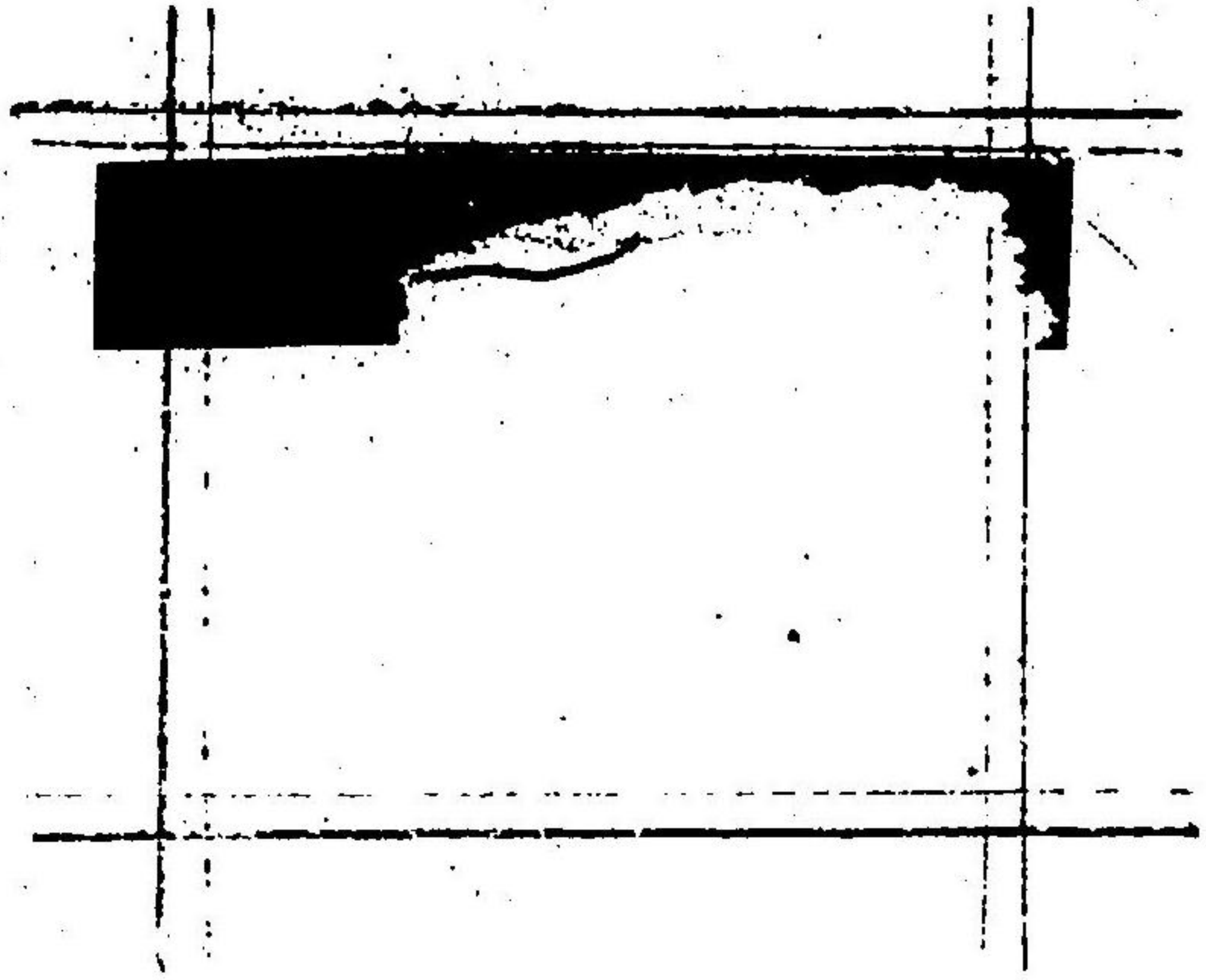
七 足を踏

八 足を踏

此次の踏順は、足の初足

戻り、順次踏をへし

○第五十條



踏木の踏順

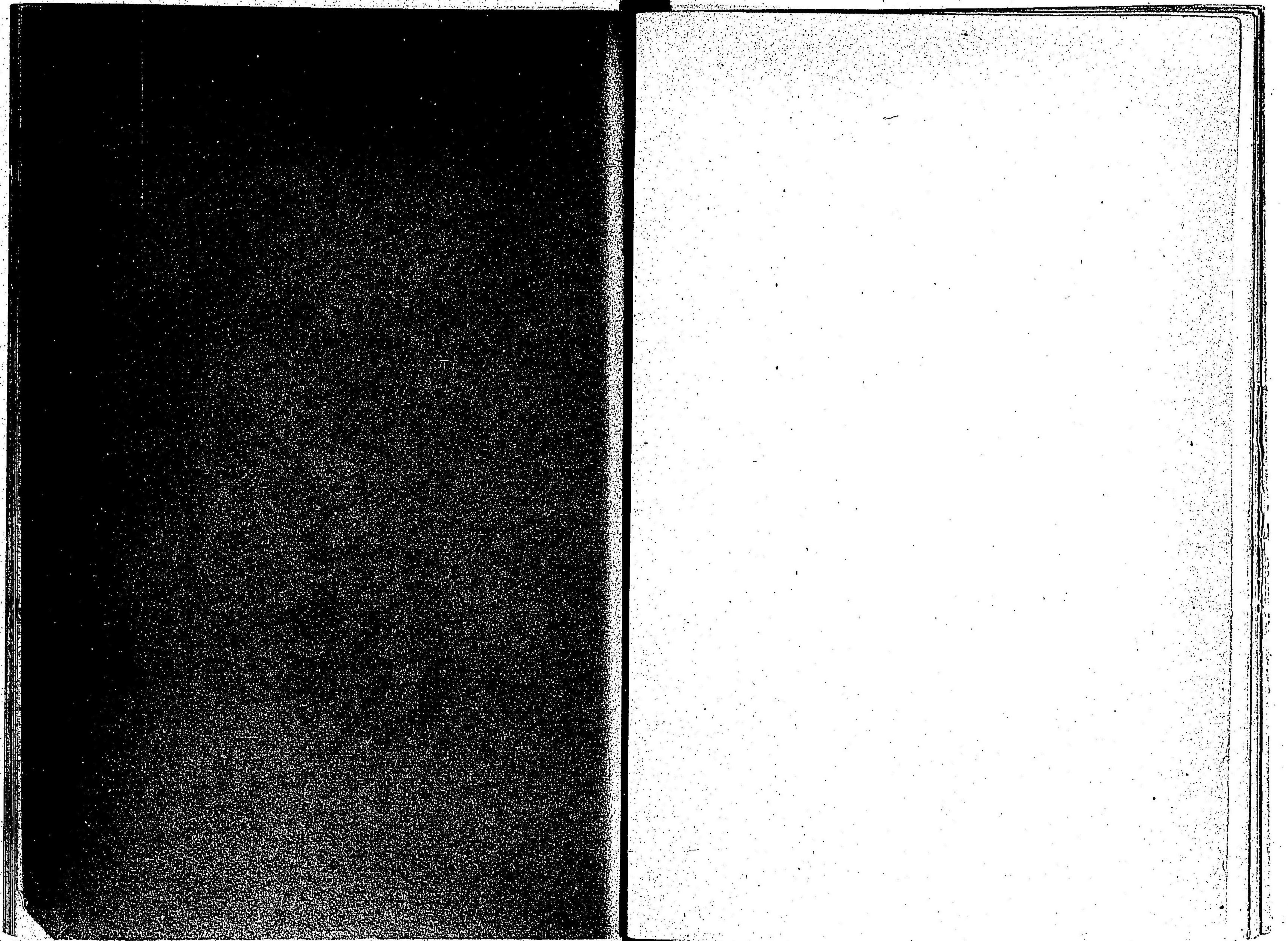
三	或	三	或	三	或	三	或
足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏
三	或	三	或	三	或	三	或
足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏	足を踏

此次の踏順も前の初足

戻りて順次踏をへし

19
562

美術資料目録
五編



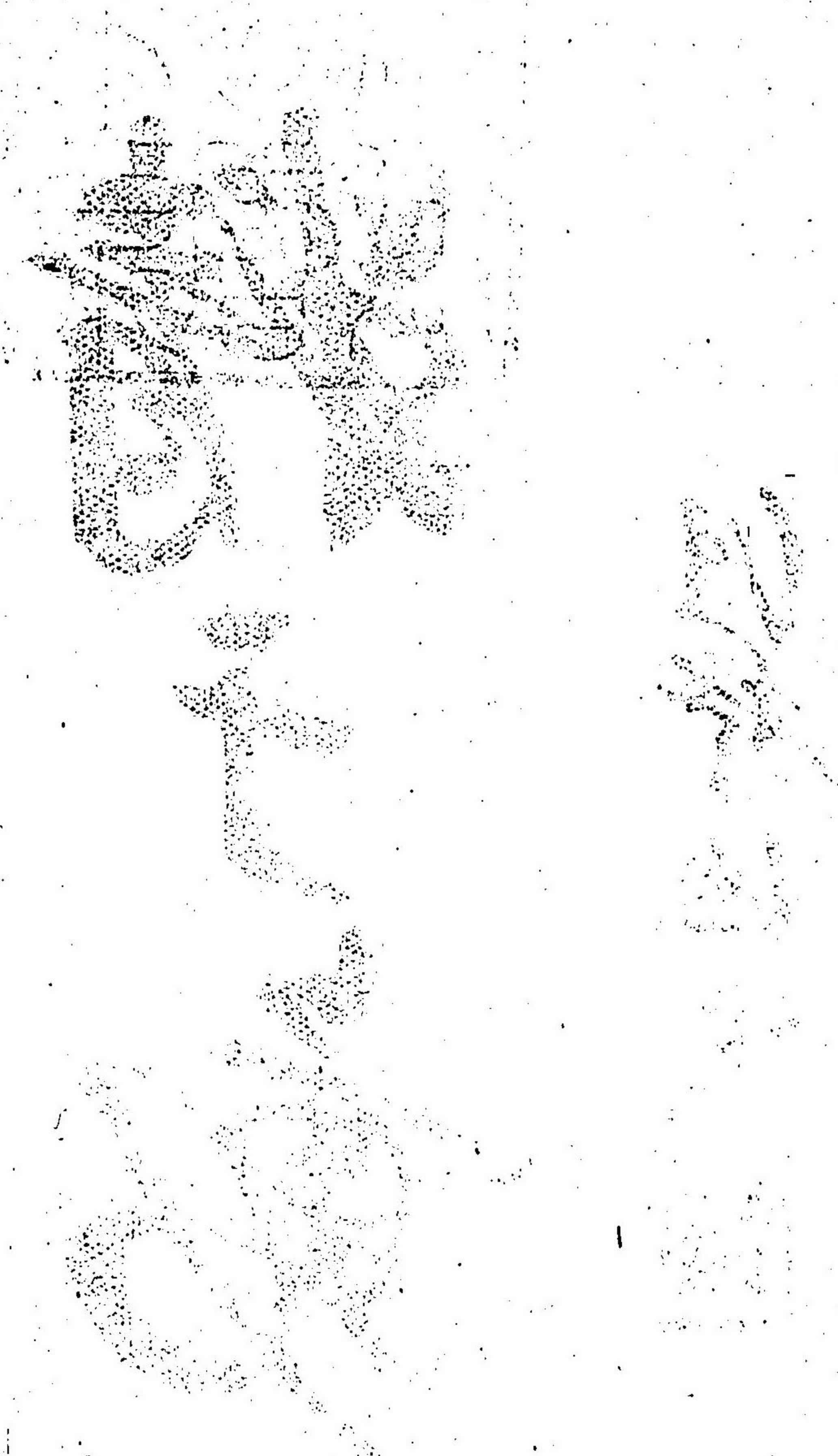
精于勤



精于勤

何好漁夫

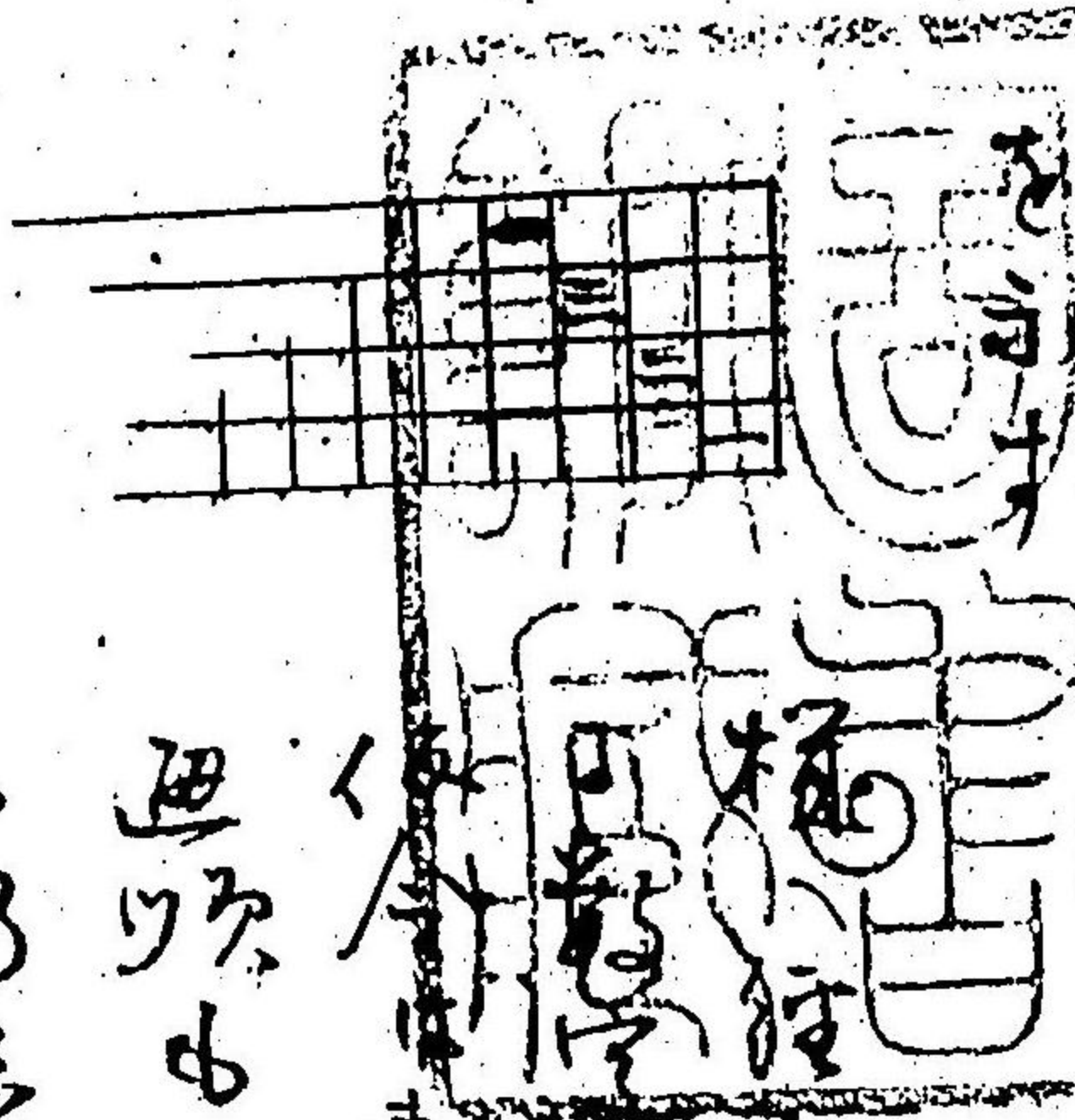




凡例

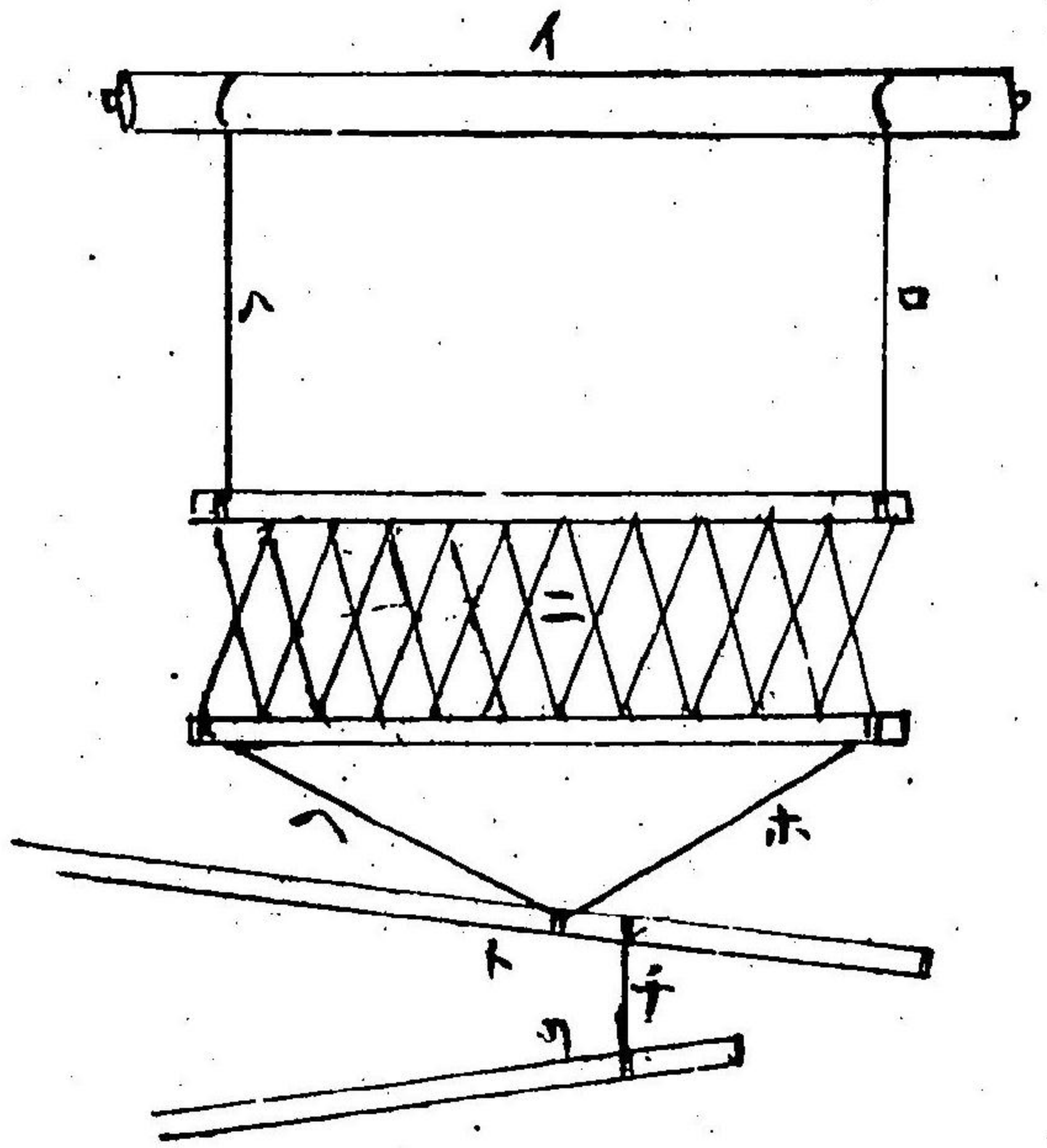
一西陣式より解島畧なれとも秘心の入りせり

解しれり場右にぬれ、左系式を頭はしと様々通し極及
 以釣極極及の付轉轆に隠し掛り極は極に隠れ付極等

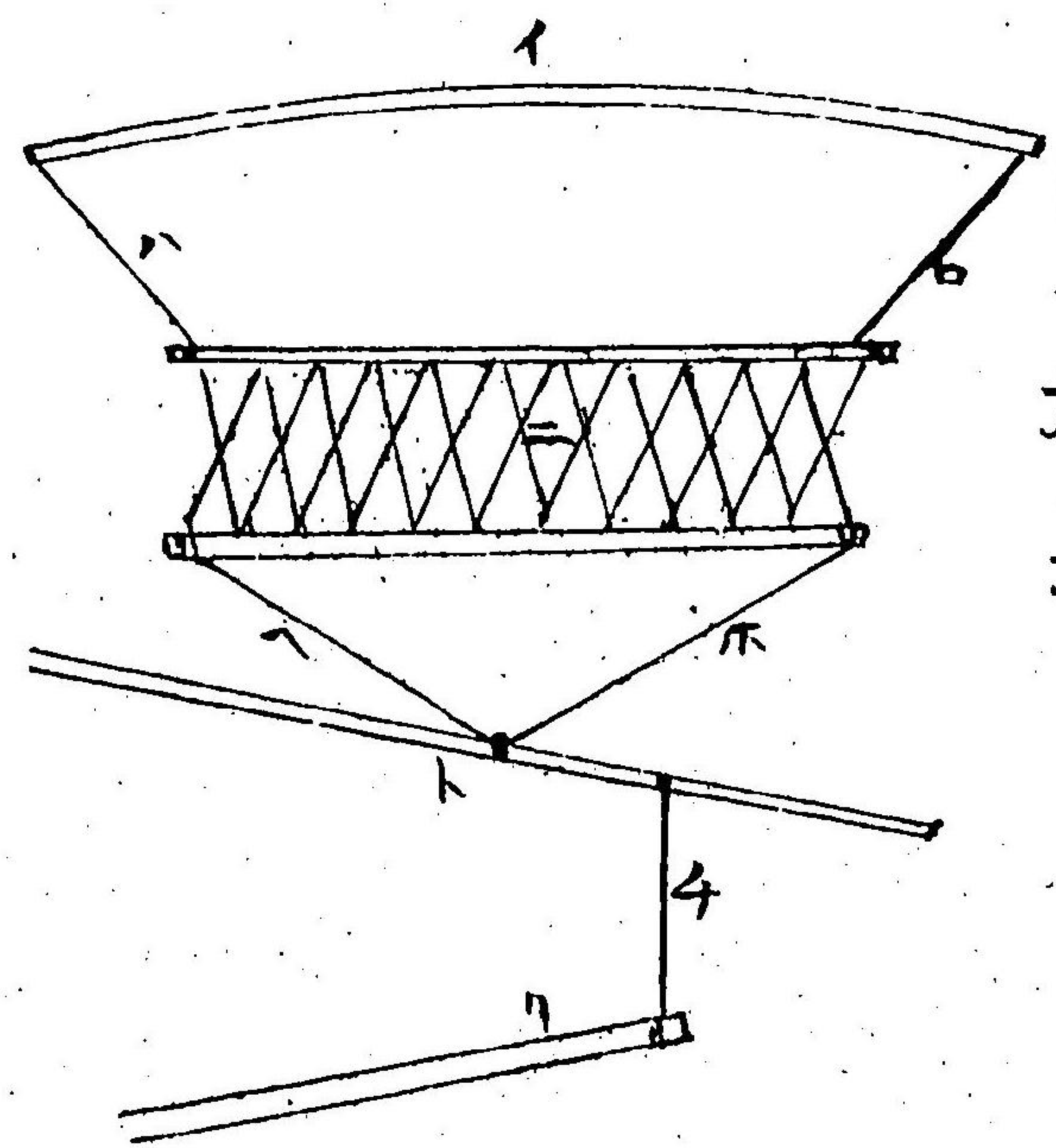


極を過し多る記号と上あめぬく口系の中
 記載せるものと其数字は異極の考考にて
 傳令は卷四と考載あれと四枚極あり故に極系め
 過りも是より一二三四とせられ極系も其考と極
 子の考なり

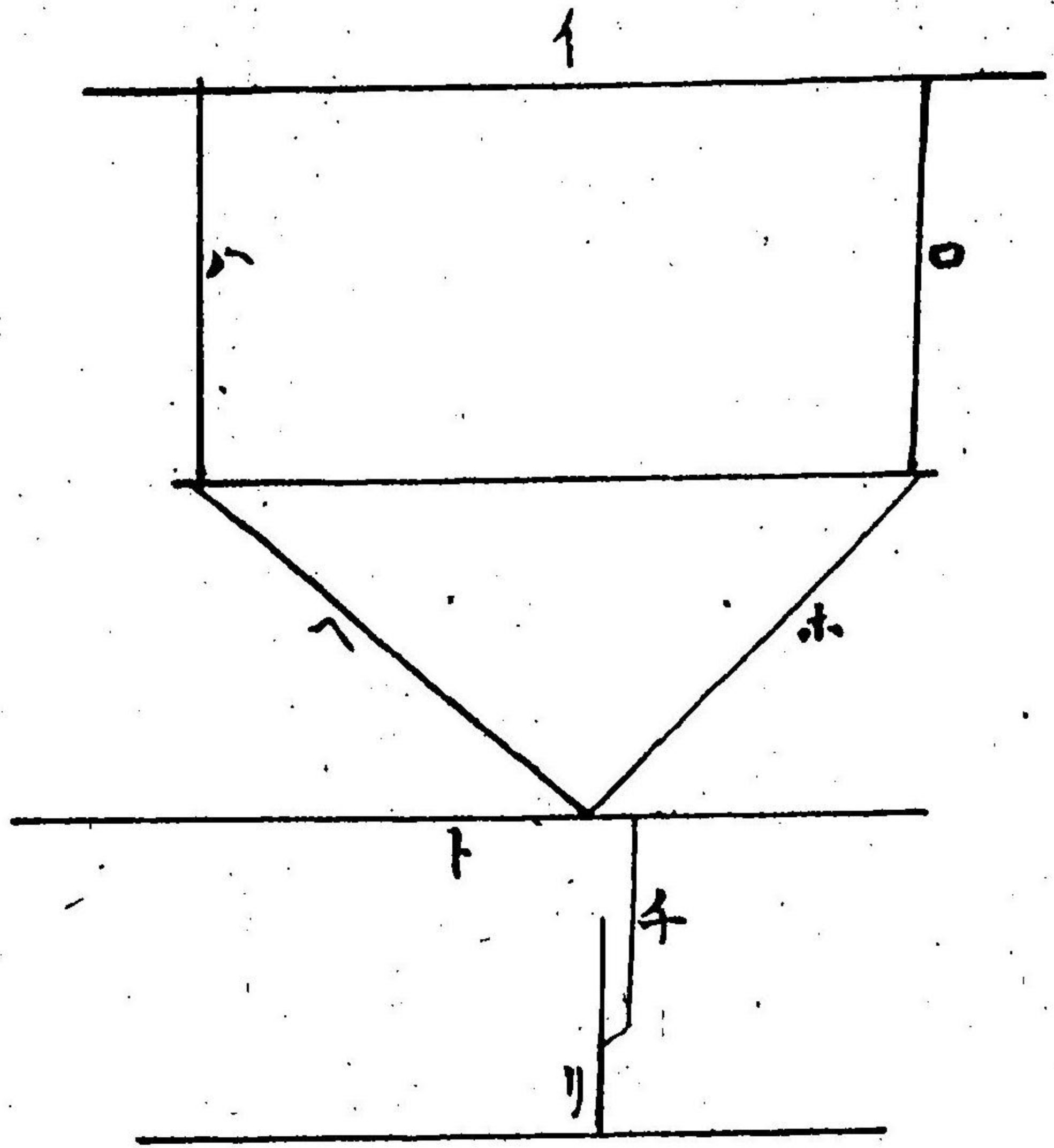
本圖 轆轤仕掛



本圖 弓棚仕掛



イは轆轤下支梁は弓棚 口とハは様より轆轤に掛くる綱の
 付桁 二は樺 ホとハは様より横足に紐の付桁 トは杖
 足(横足の糸解したる下支) ケは横足より踏木に紐の付
 桁 リは踏木
 但し本編は略図を以て示す其略図を次の如し



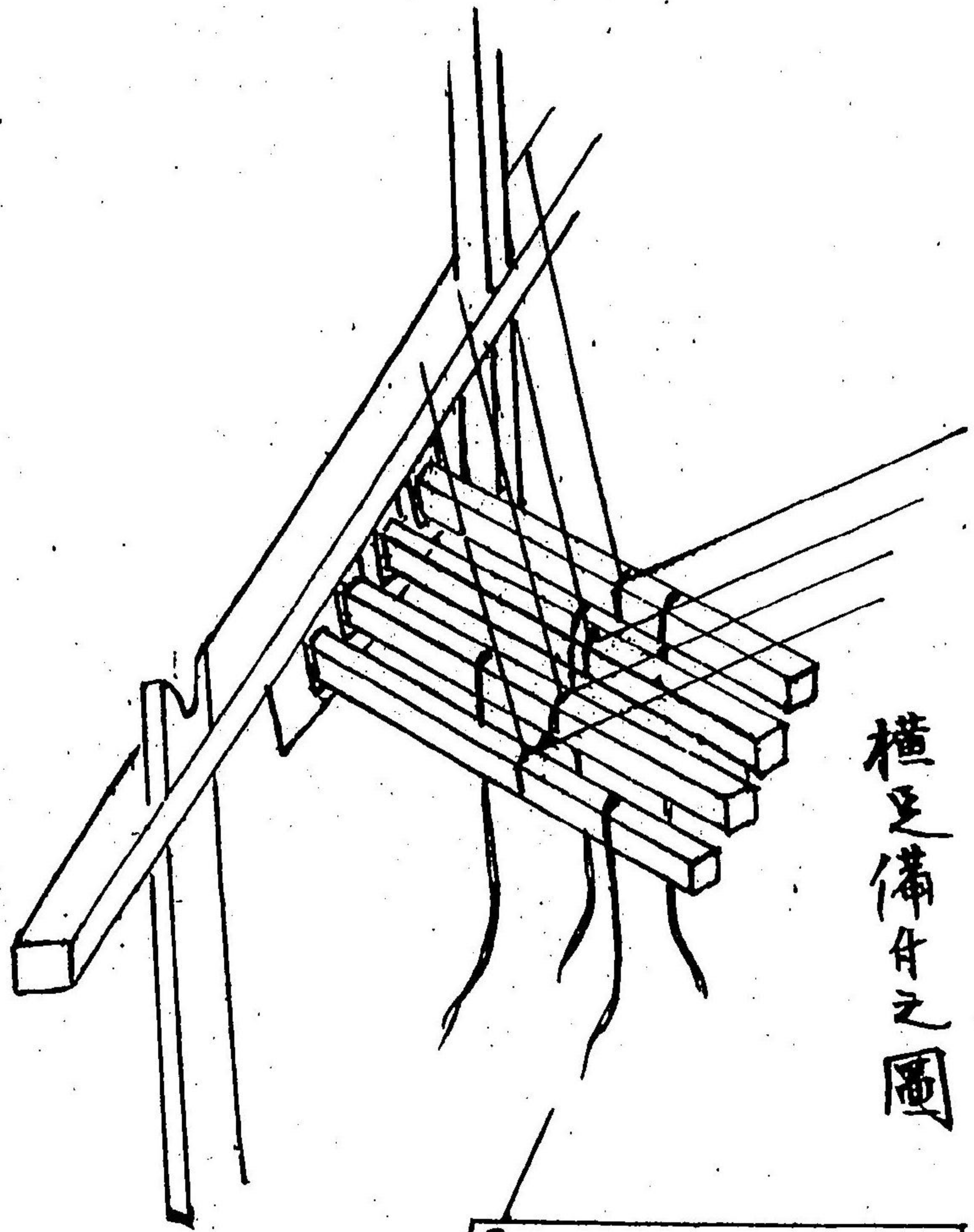
畧図

イ略図の線とき牧の
 樺或はき本の轆轤
 き本横足迄本の踏木
 とトハハの糸解線
 引あるも杖の樺
 或は数本の轆轤横足
 踏木と知るべし

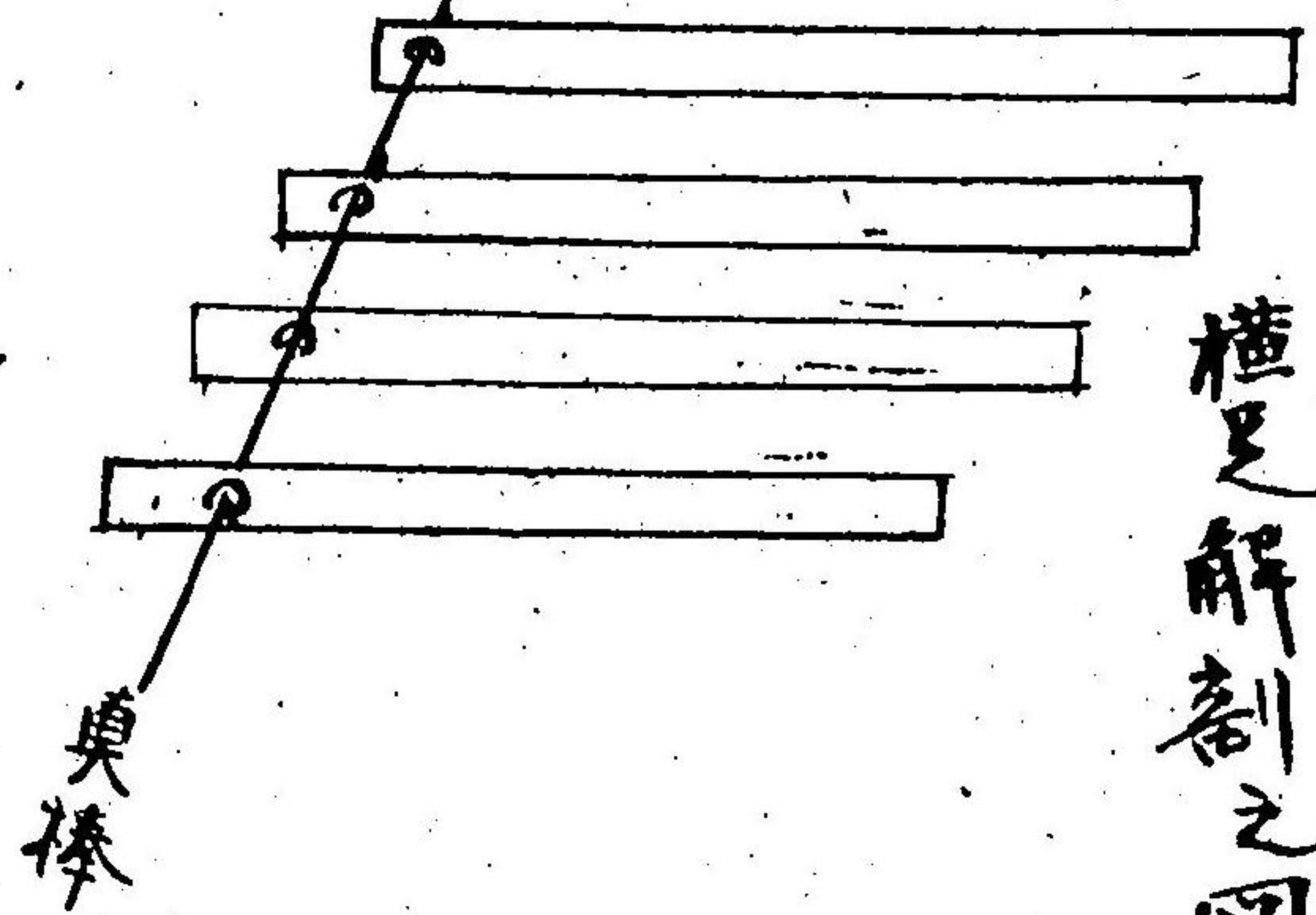
弓棚仕掛と同様ニ付畧之

横足の一端は横高より取付上下自在にせざるを要す

横足備付之圖

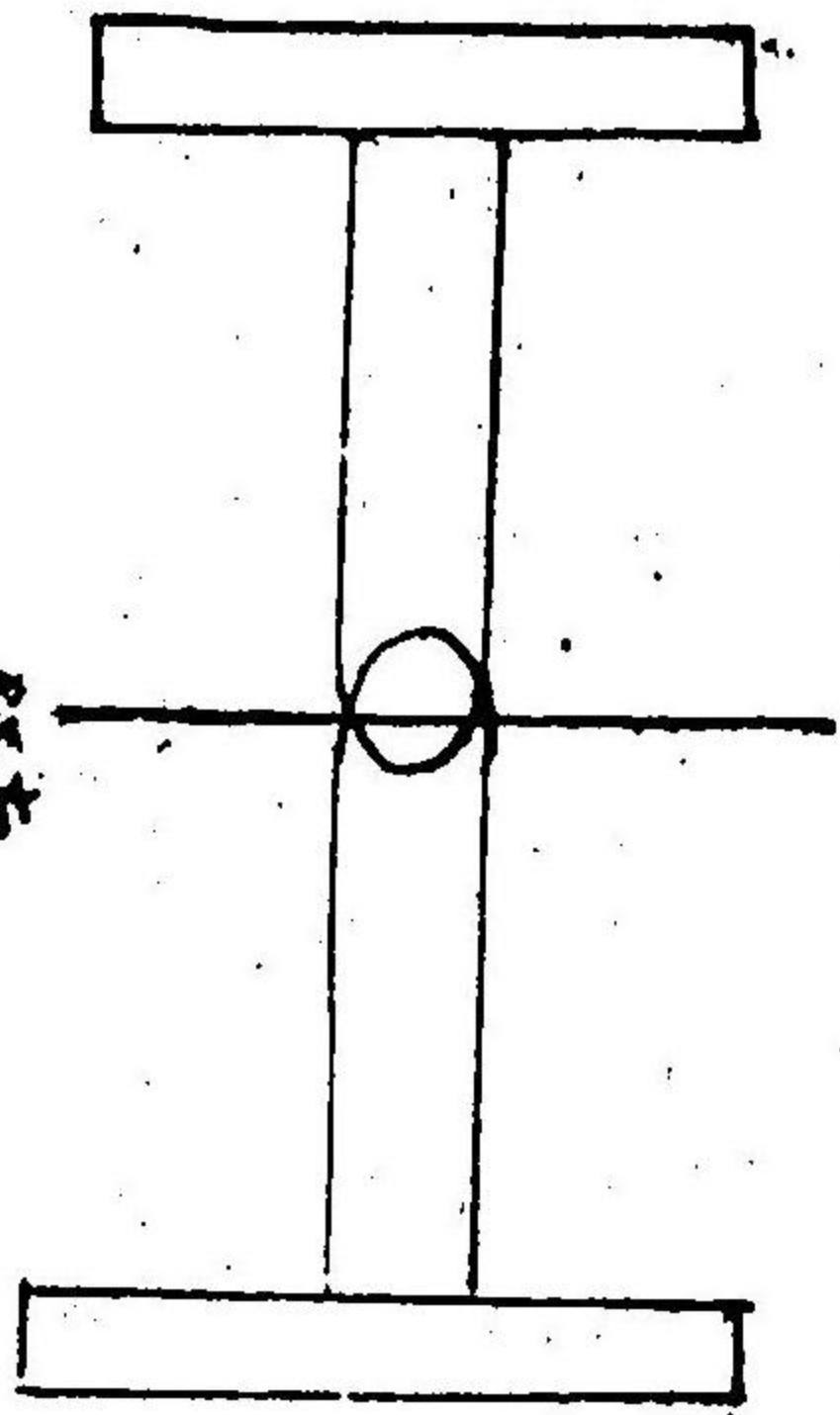


横足解剖之圖

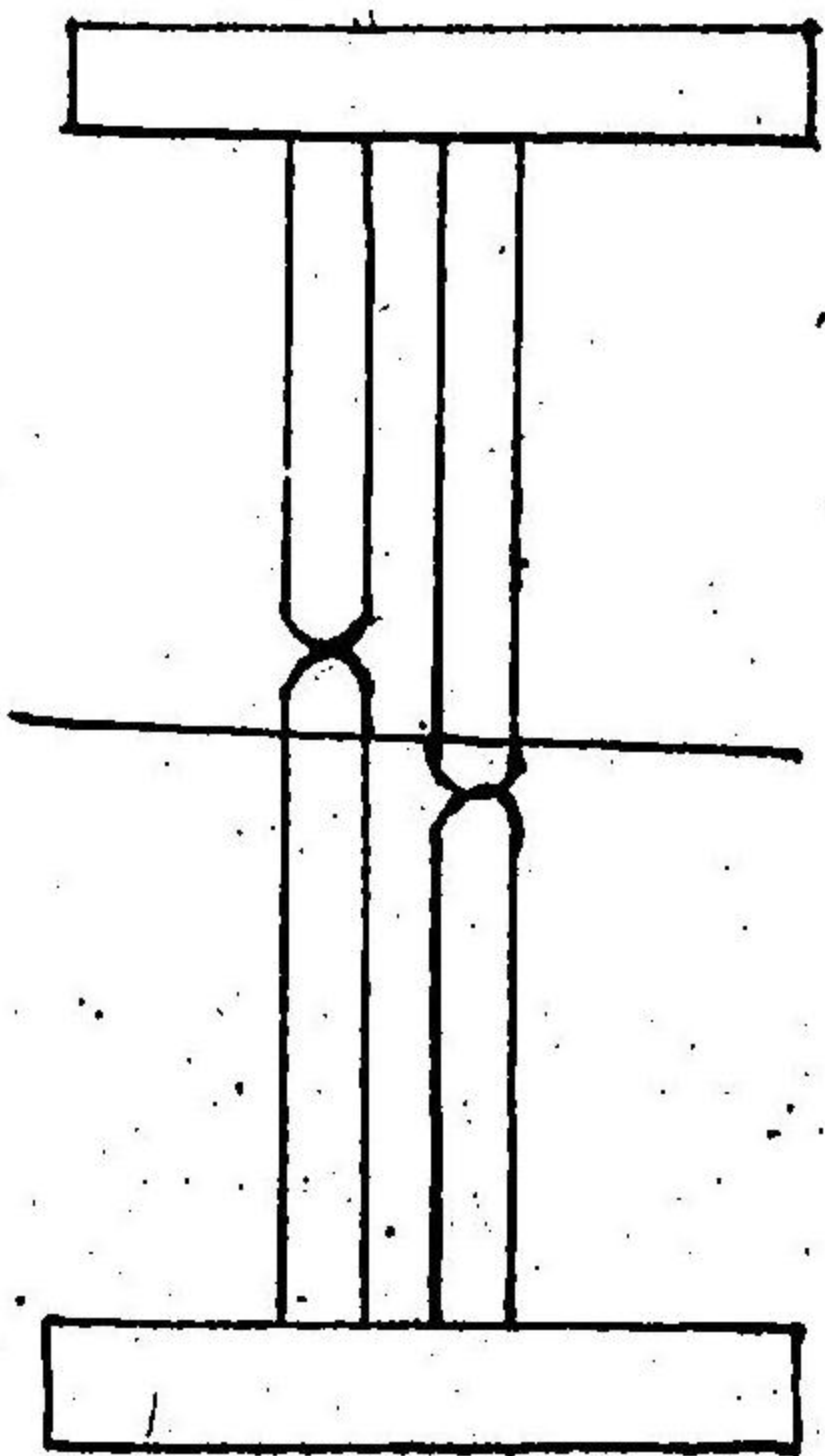


一機の記号は単一及無双機の貳種有り何れを用ゆるかは

○単一機



○無双機



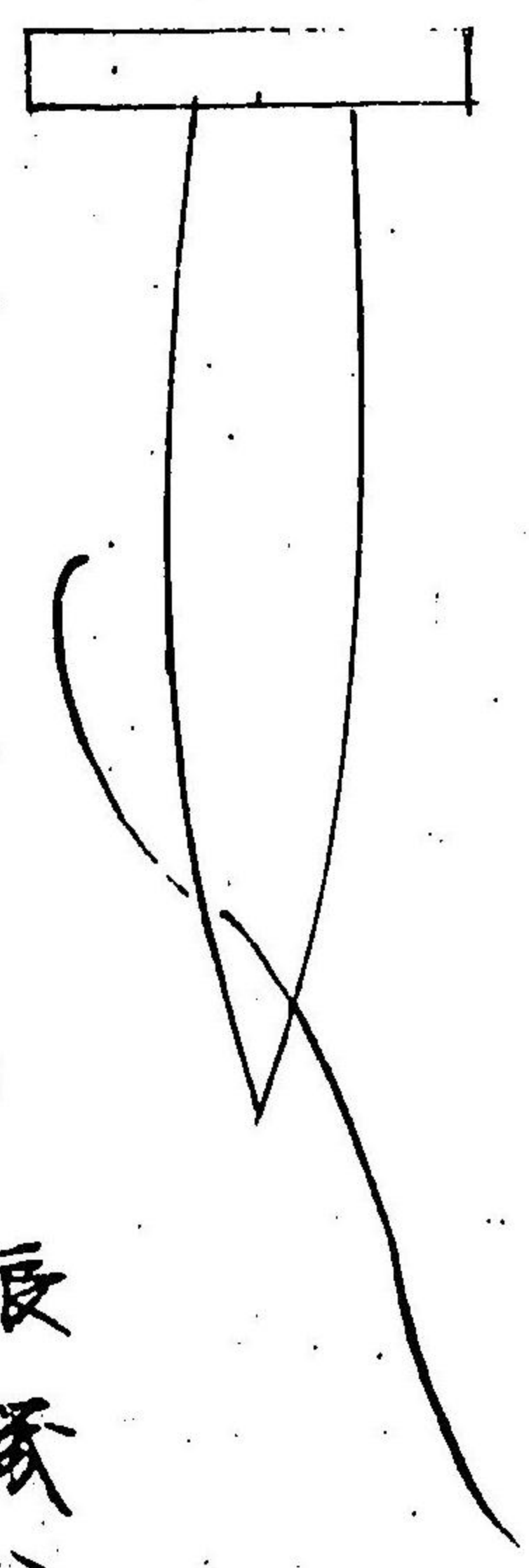
單一機へ径糸を
通し多る圖

無双機へ径糸
を通し多る果

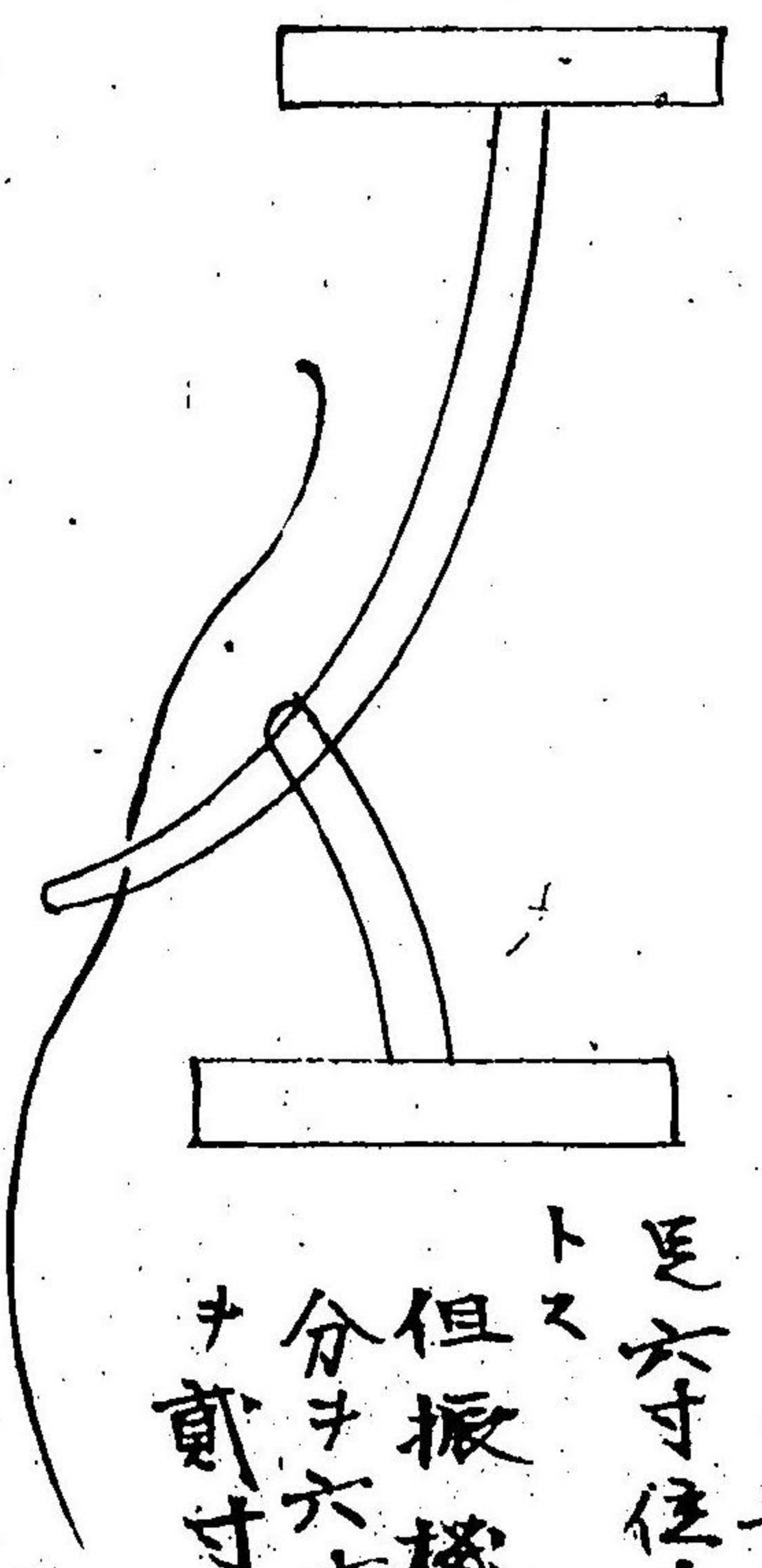
一振様は搦織のみ用申るものあり其作り方も種々ありと申すも其一二を挙ぐれませぬの条式に如し

○振様

片振様



友振様



振様八通帝様

ヨリ足長クミテ様

足六寸位ナ適ナ

トス

但振様八長キ

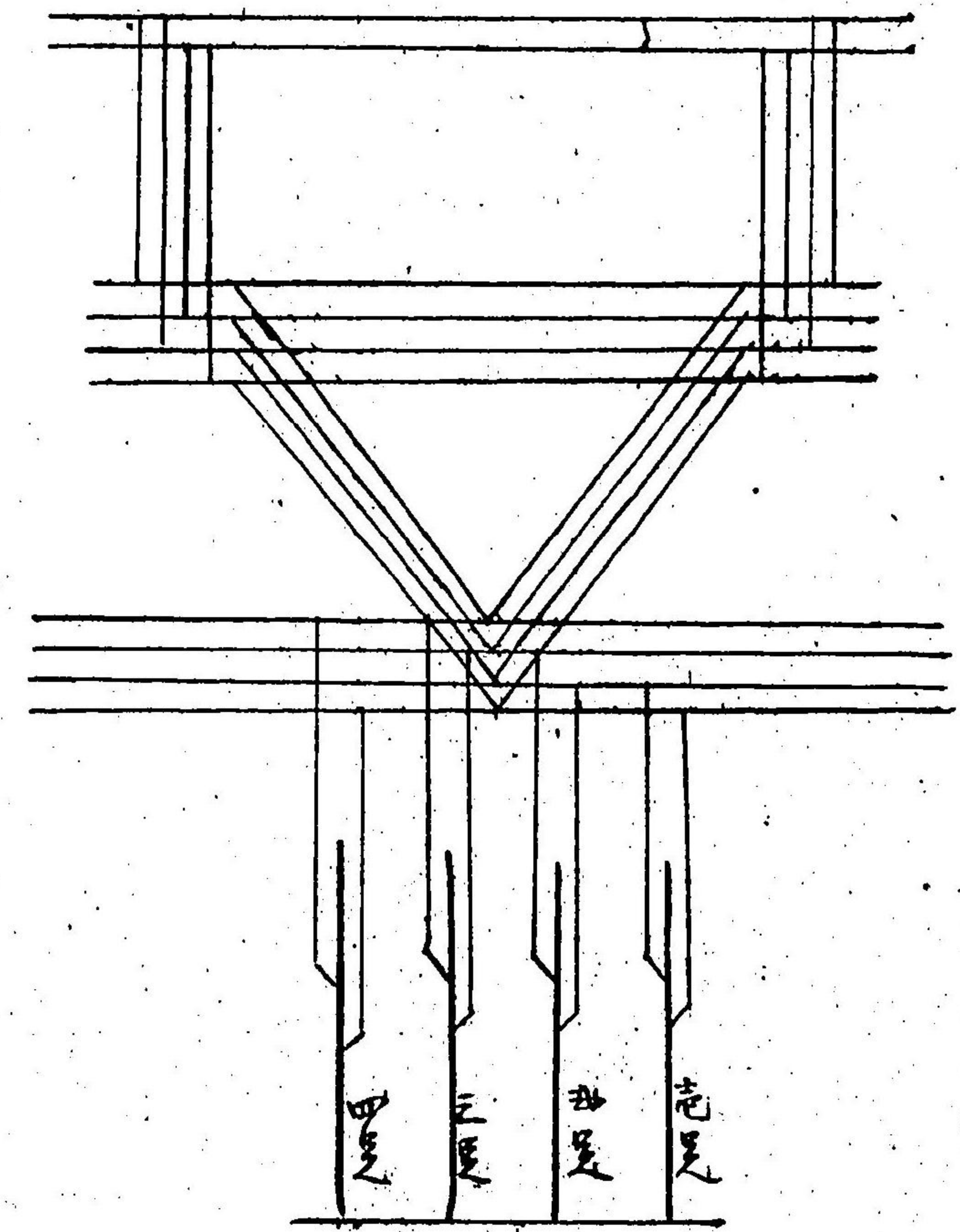
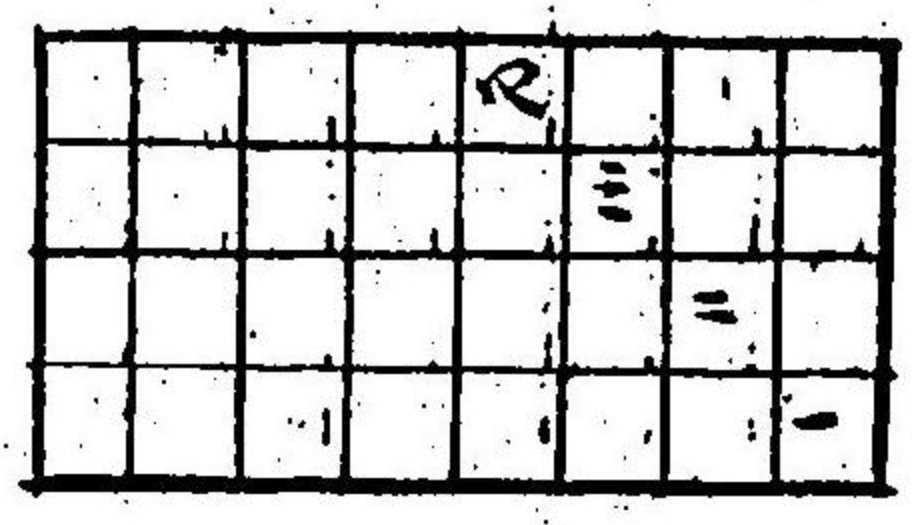
分ナ六寸短キ分

ナ一寸トスヘシ

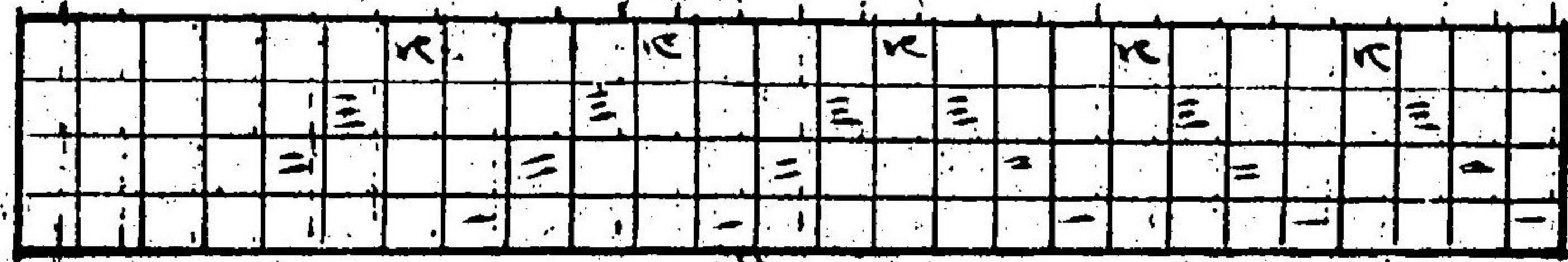
○弟毛躰

蘇轡仕立式

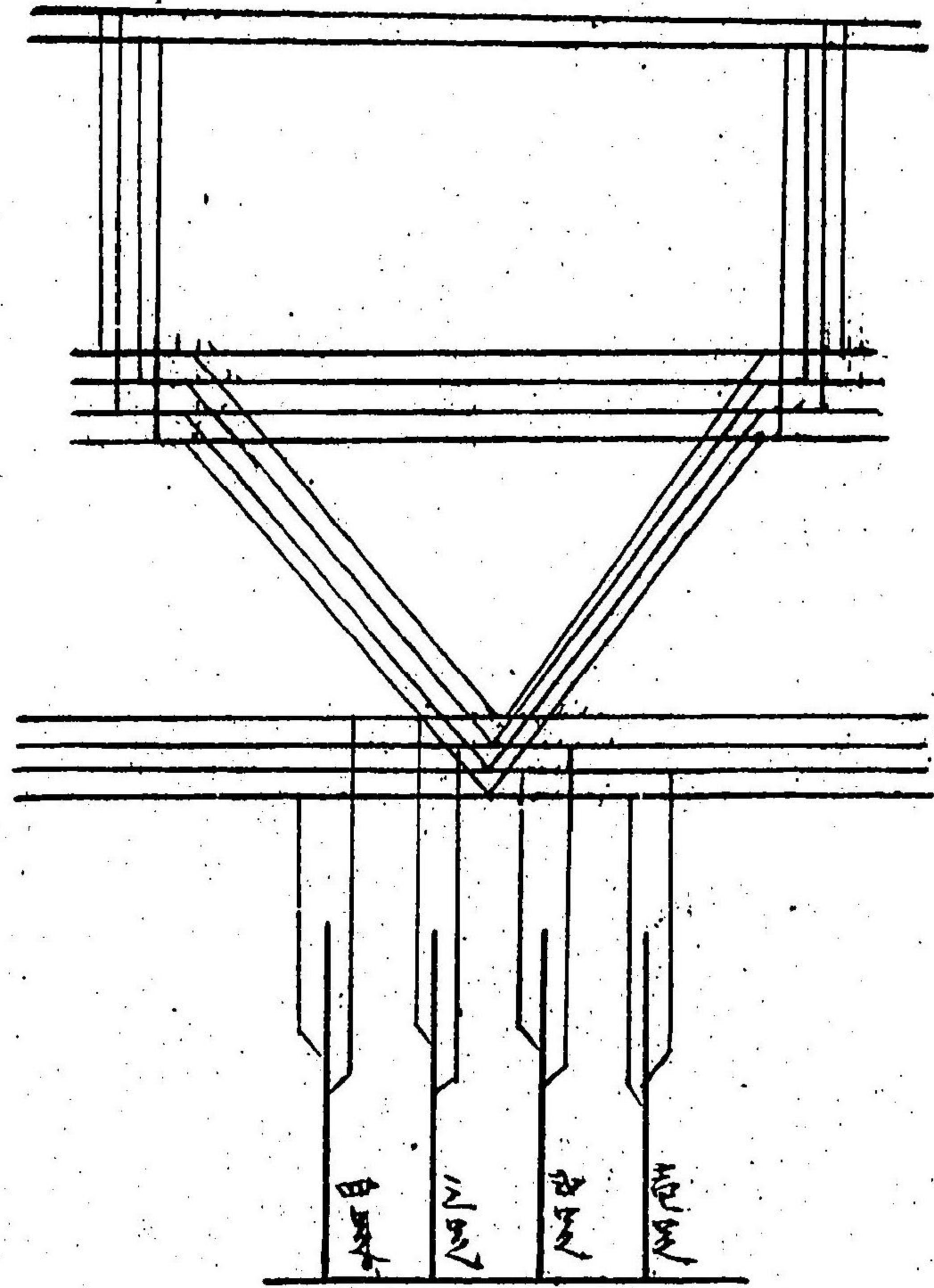
四枚様通頃



四枚插通頂

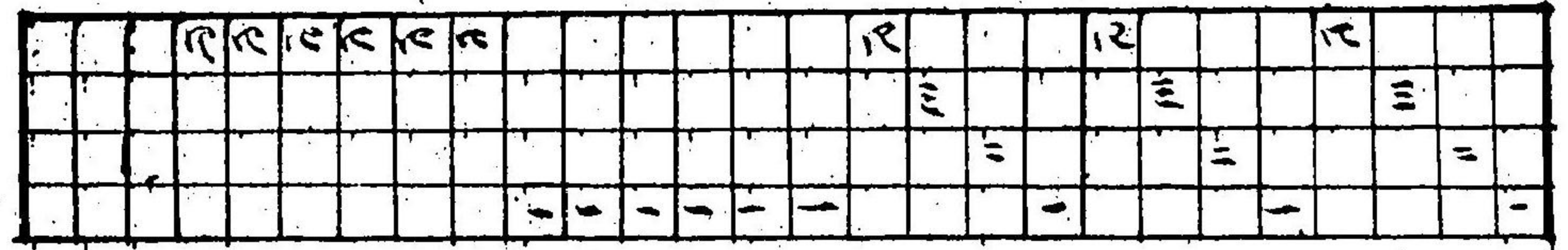


○ 另參 號

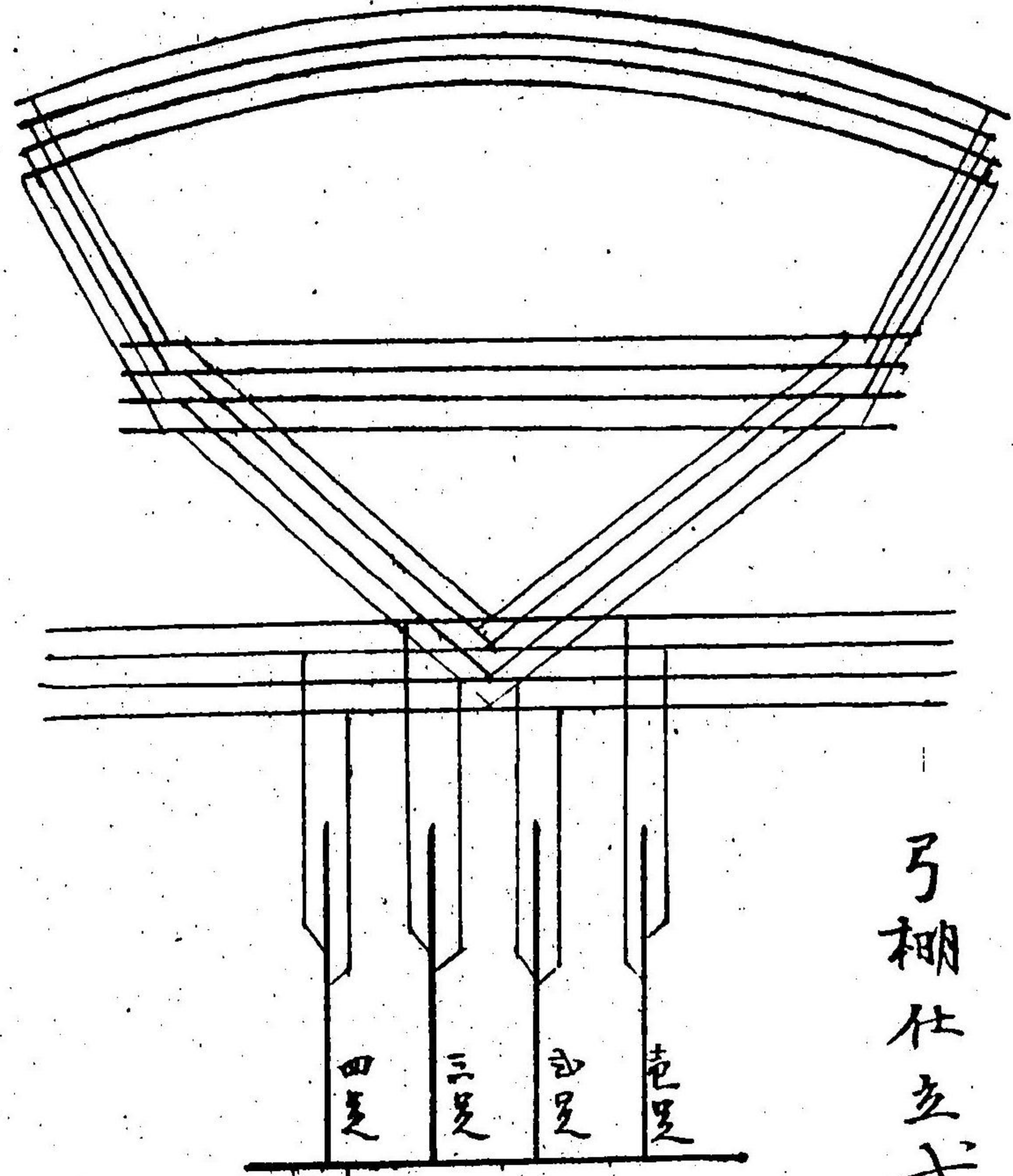


麻 轆 仕 立 式

四枚插通頂

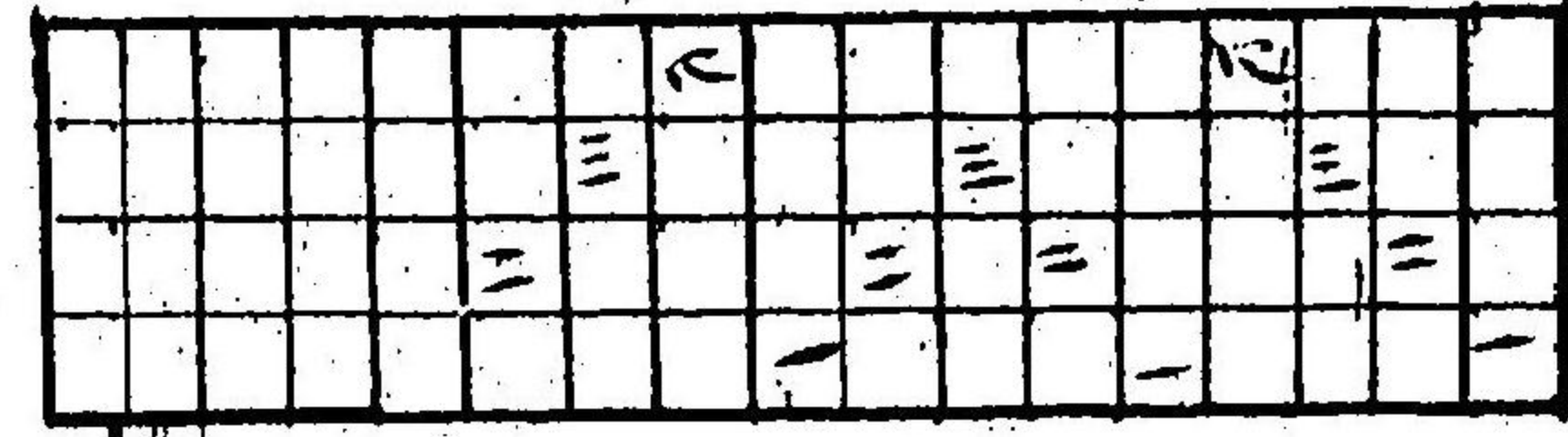


○ 另 貳 號

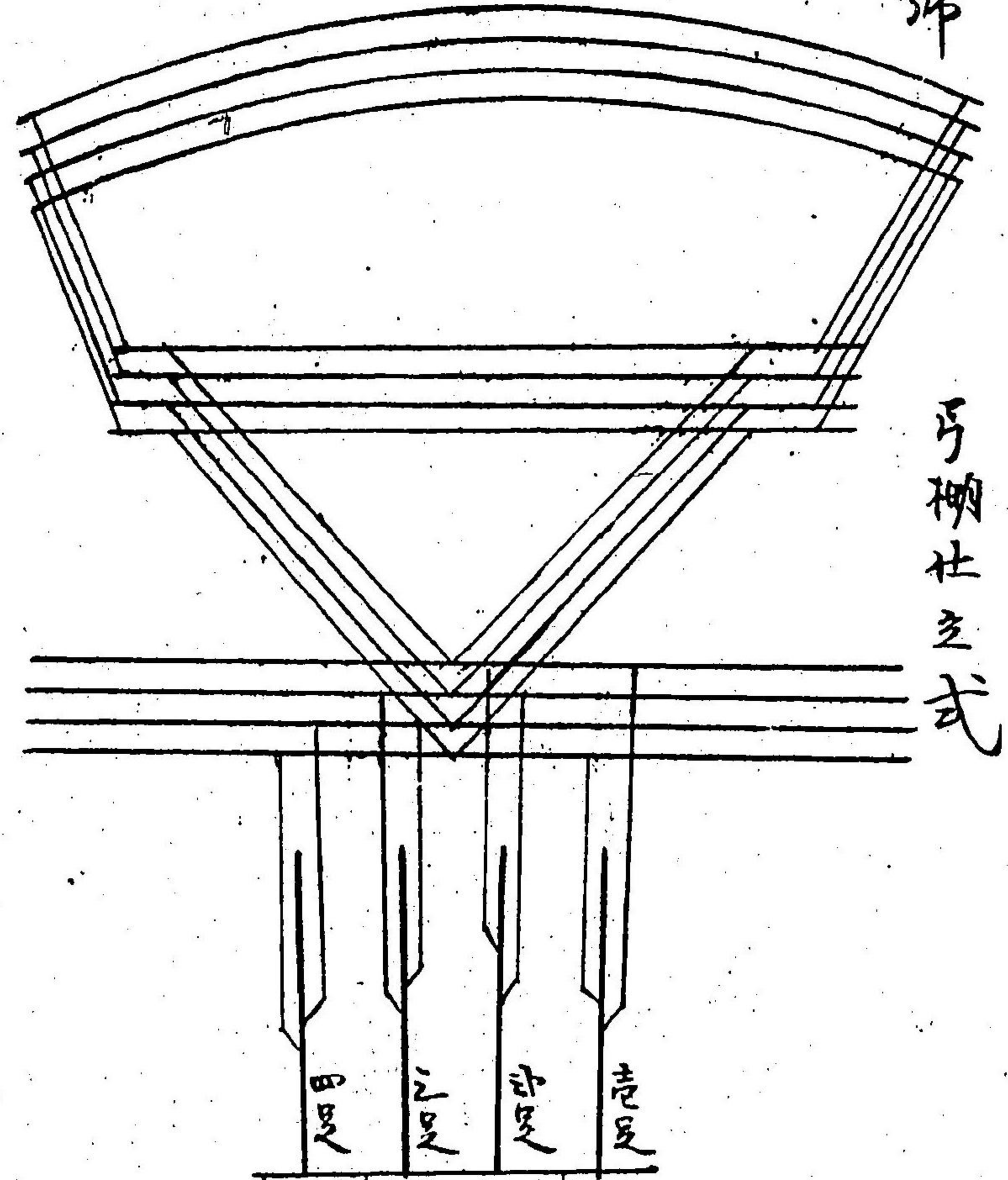


弓 棚 仕 立 式

四枚様通頂



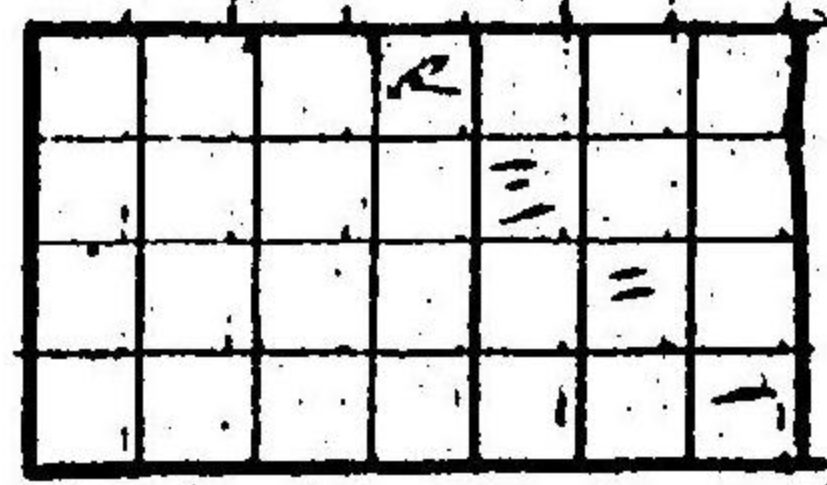
○ 茅四 舞



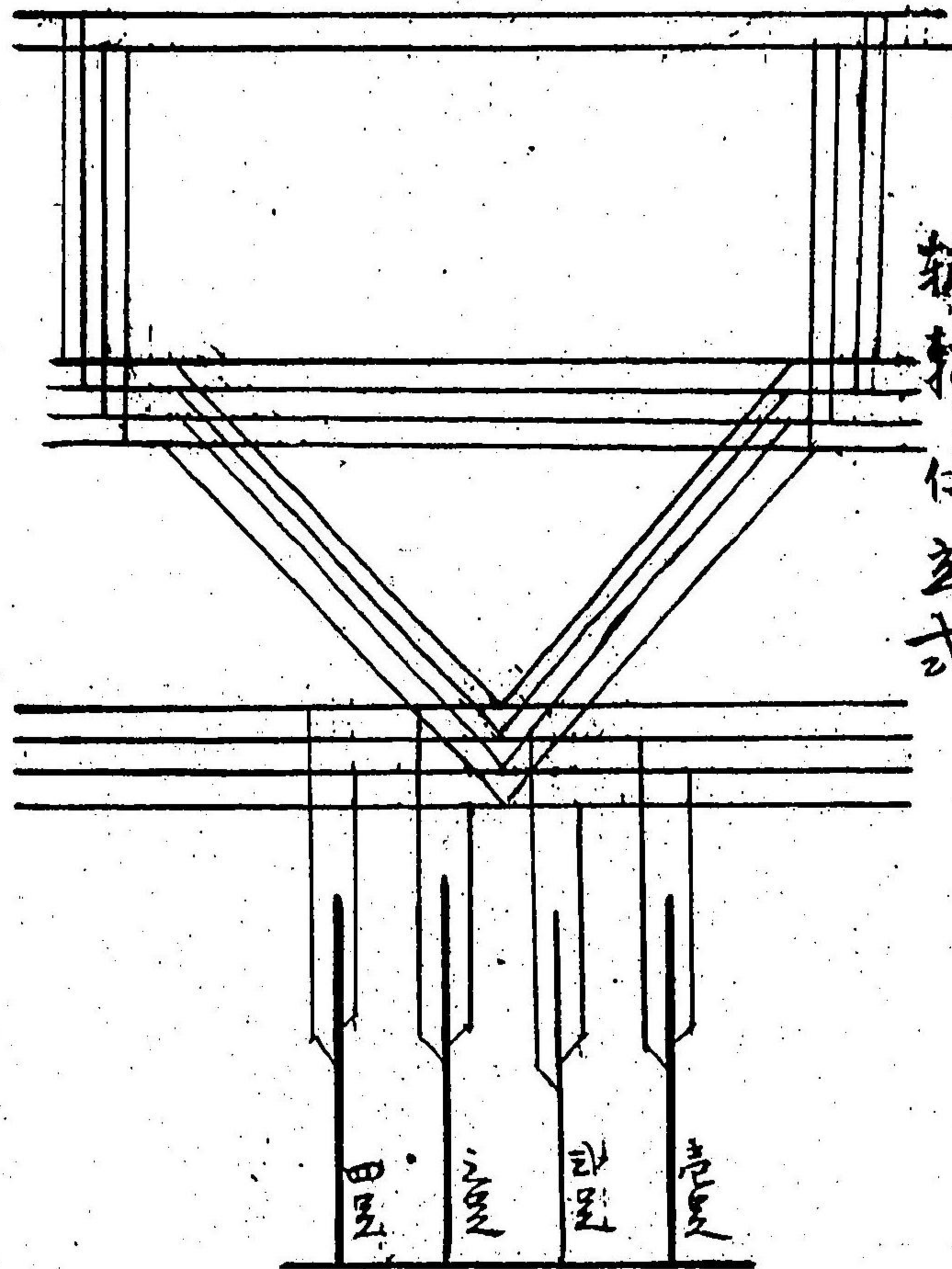
備考 経緯線線の割り方にて飯の浮り方を要する。
 ありはれまけは互敷は意を要す。

○ 茅五 舞

四枚様通頂



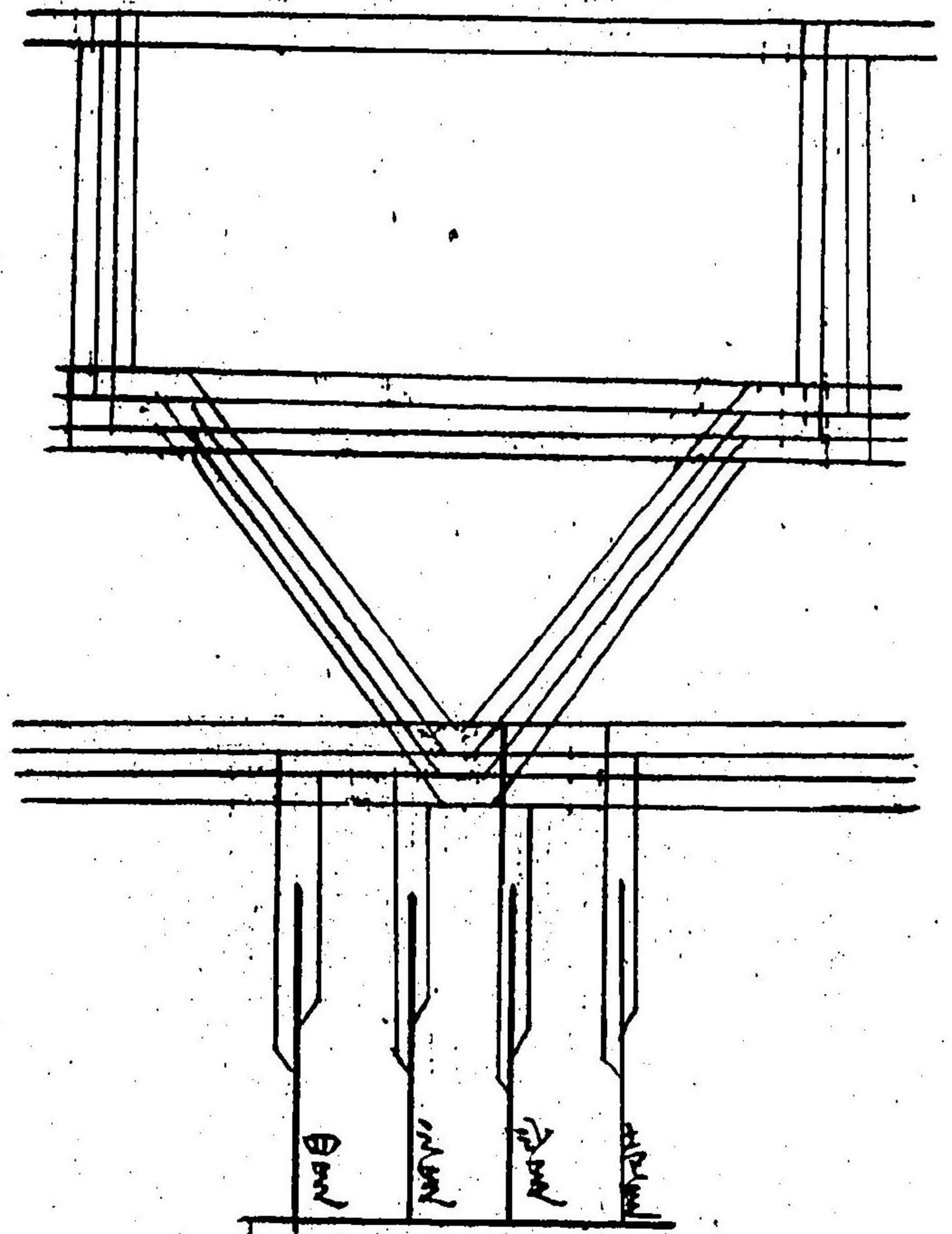
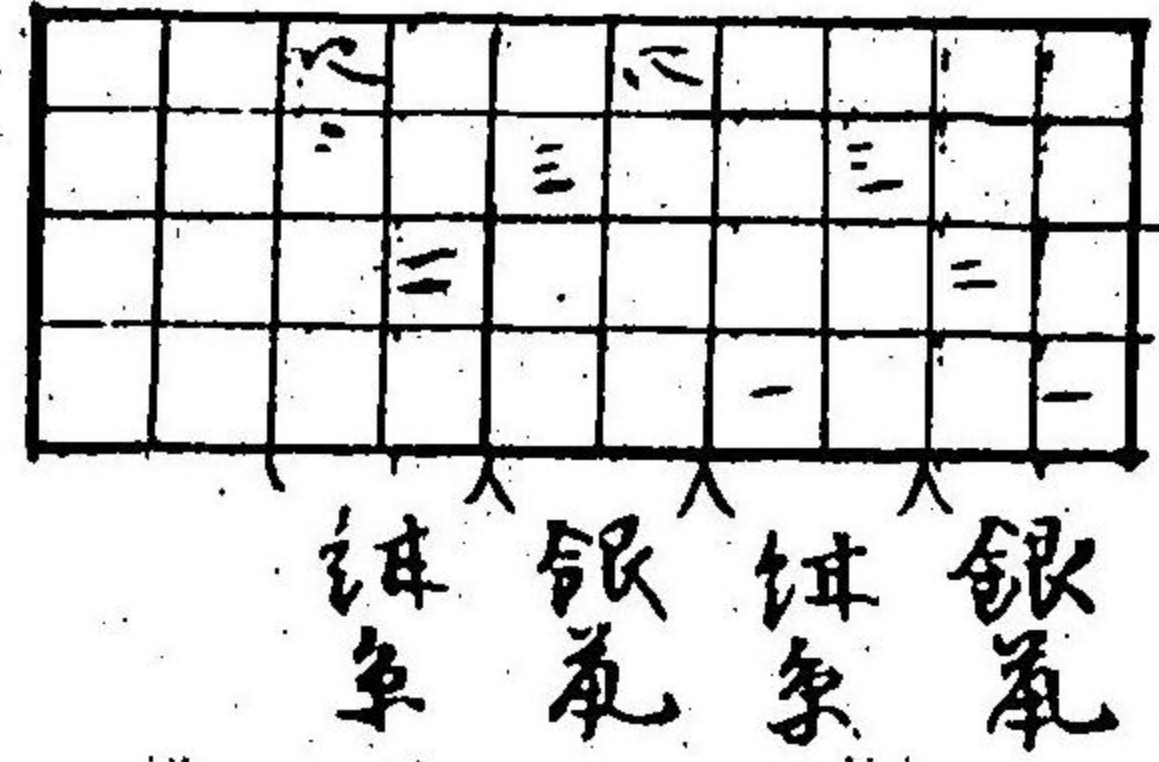
舞舞仕立式



備考 経緯線線の割り方にて飯の浮り方を要する。
 ありはれまけは互敷は意を要す。

○第六編

回板通項

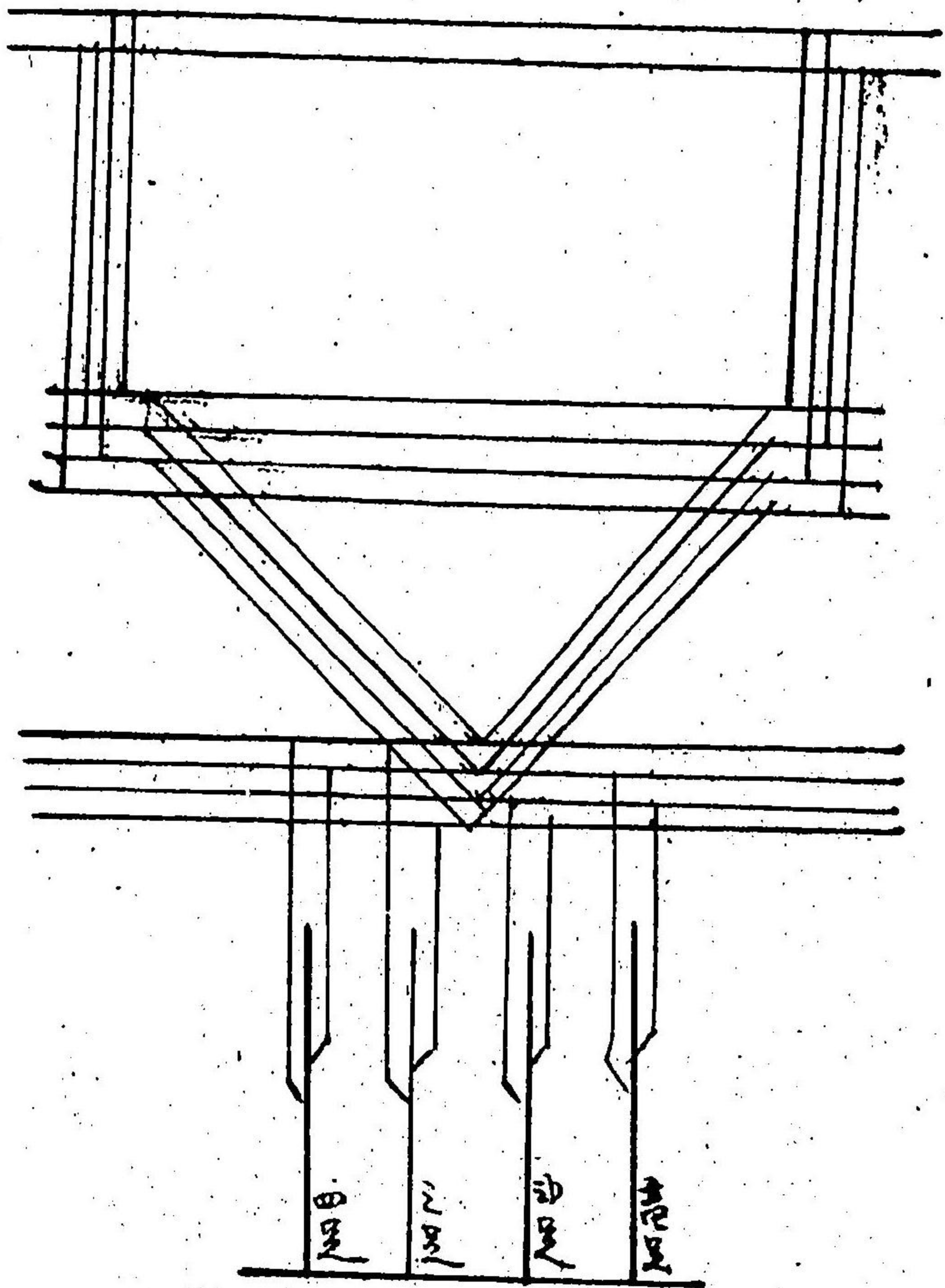
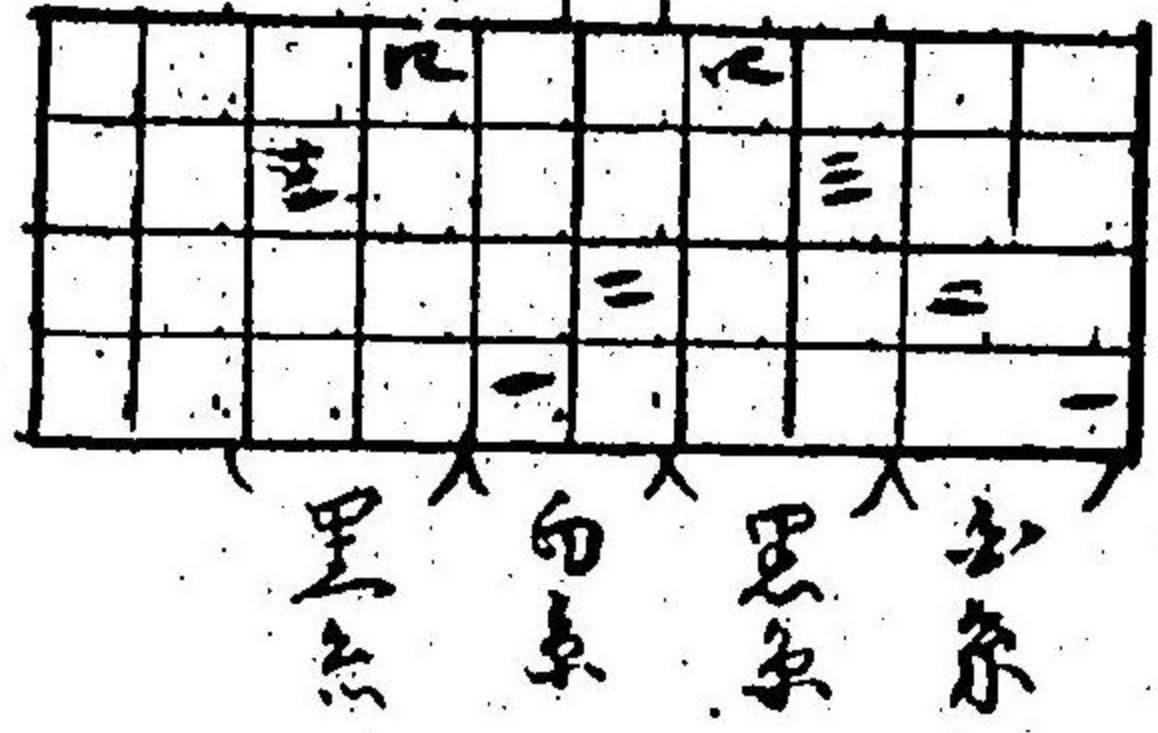


編織仕立式

備考 経緯緯線ノ織割ニヨリテ故ノ厚キ方ヲ変スルモノ
ナレハ互ニ付違ニ注意スヘシ

○第七編

回板通項



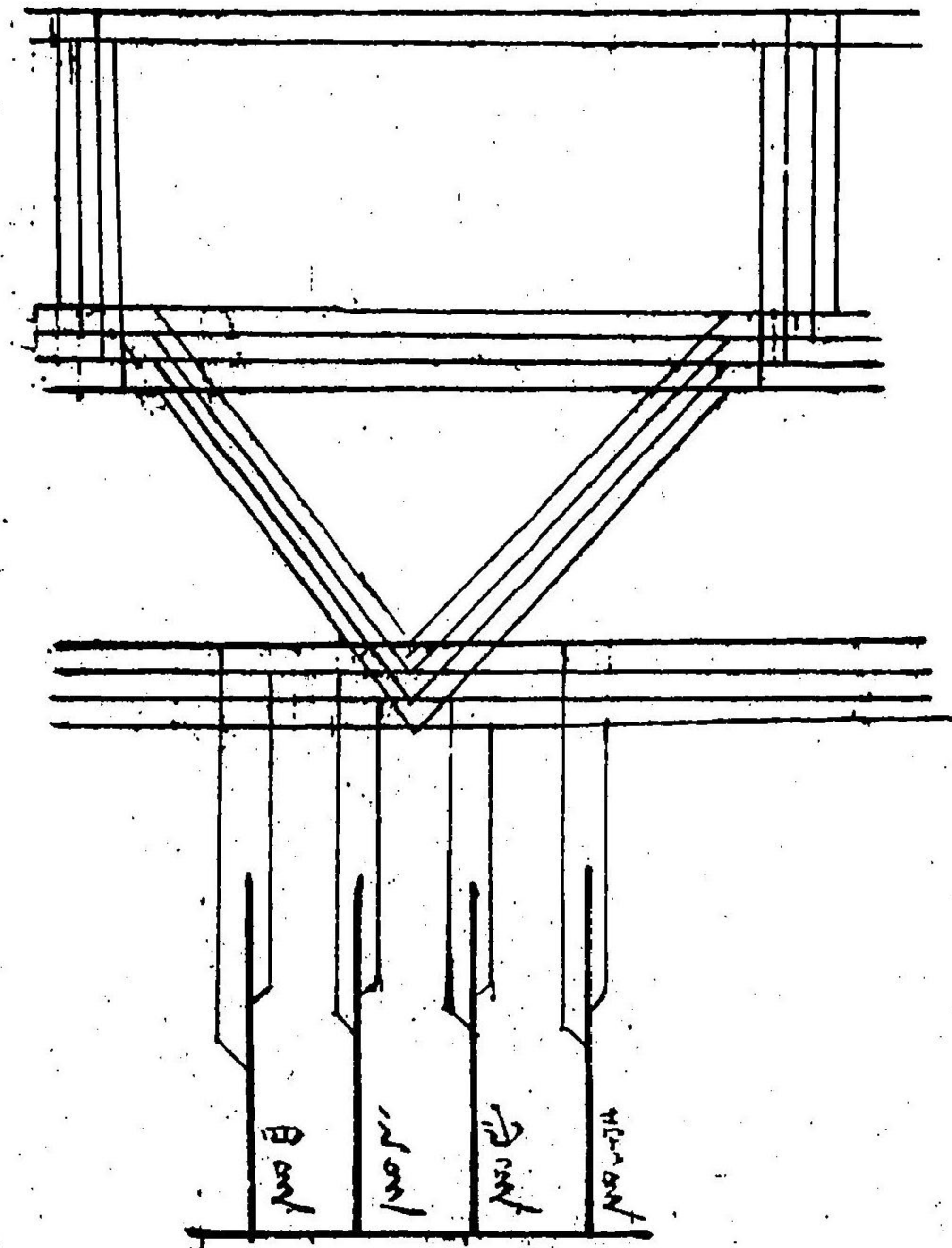
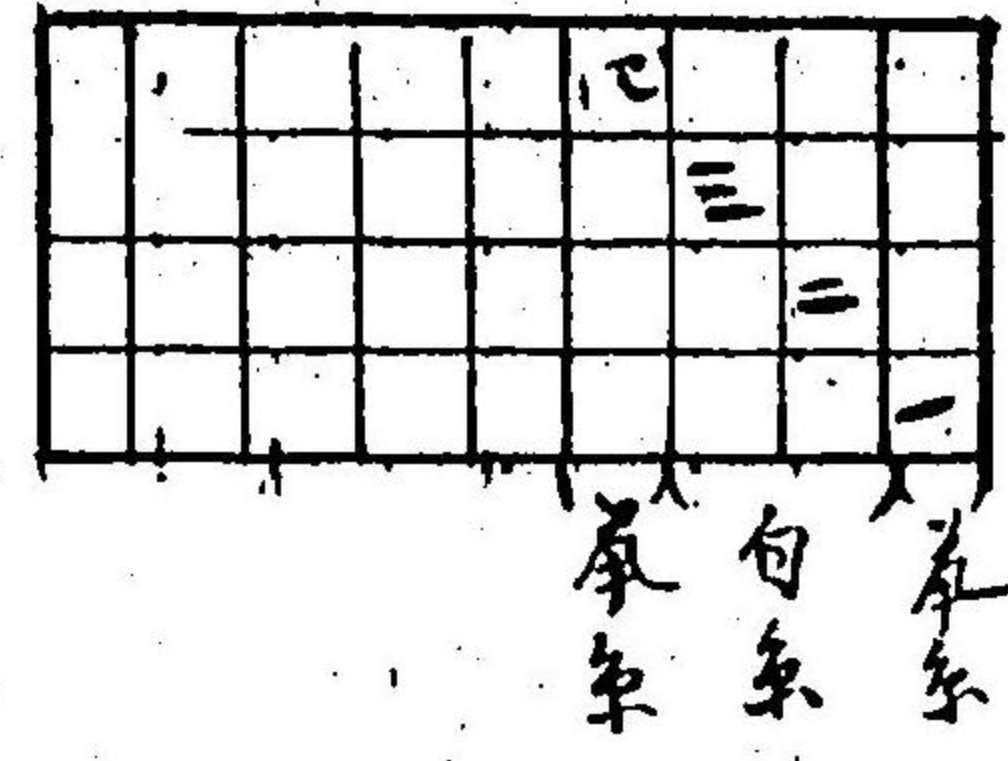
編織仕立式

備考 経緯緯線ノ織割ニヨリテ故ノ厚キ方ヲ変スルモノ
ナレハ互ニ付違ニ注意スヘシ

○ 第 八 種

轉轆仕立式

四枚極通頂

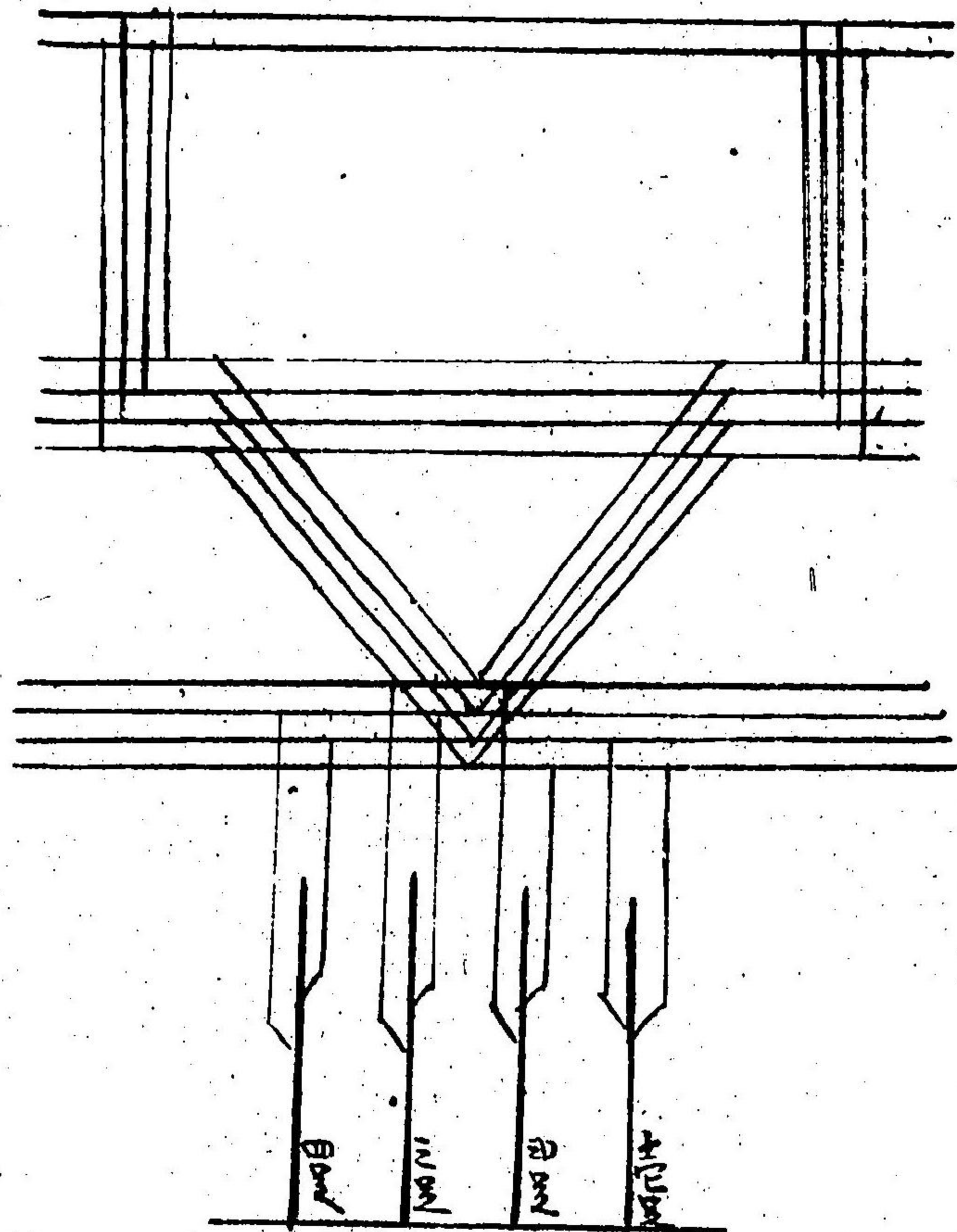
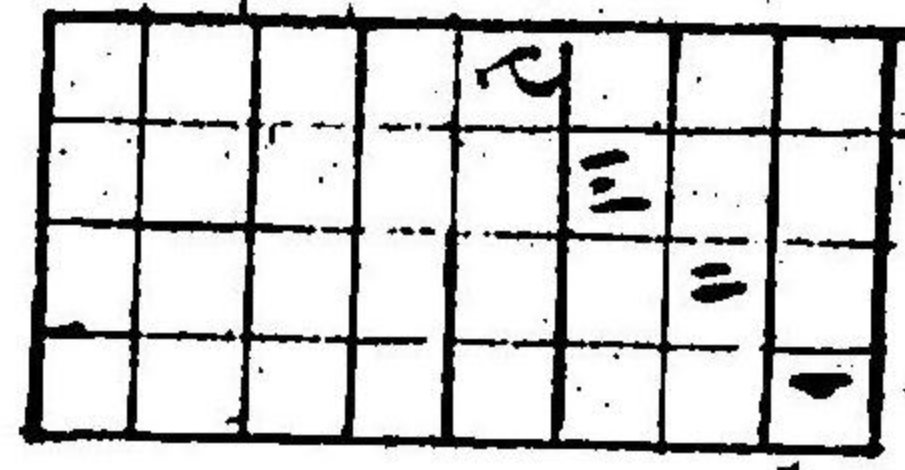


此考極極極極ノ形制ヨリテ故ノ浮キ方ヲ変スルモノ
 之ハ極數計造ニ注意スヘシ

○ 第 九 種

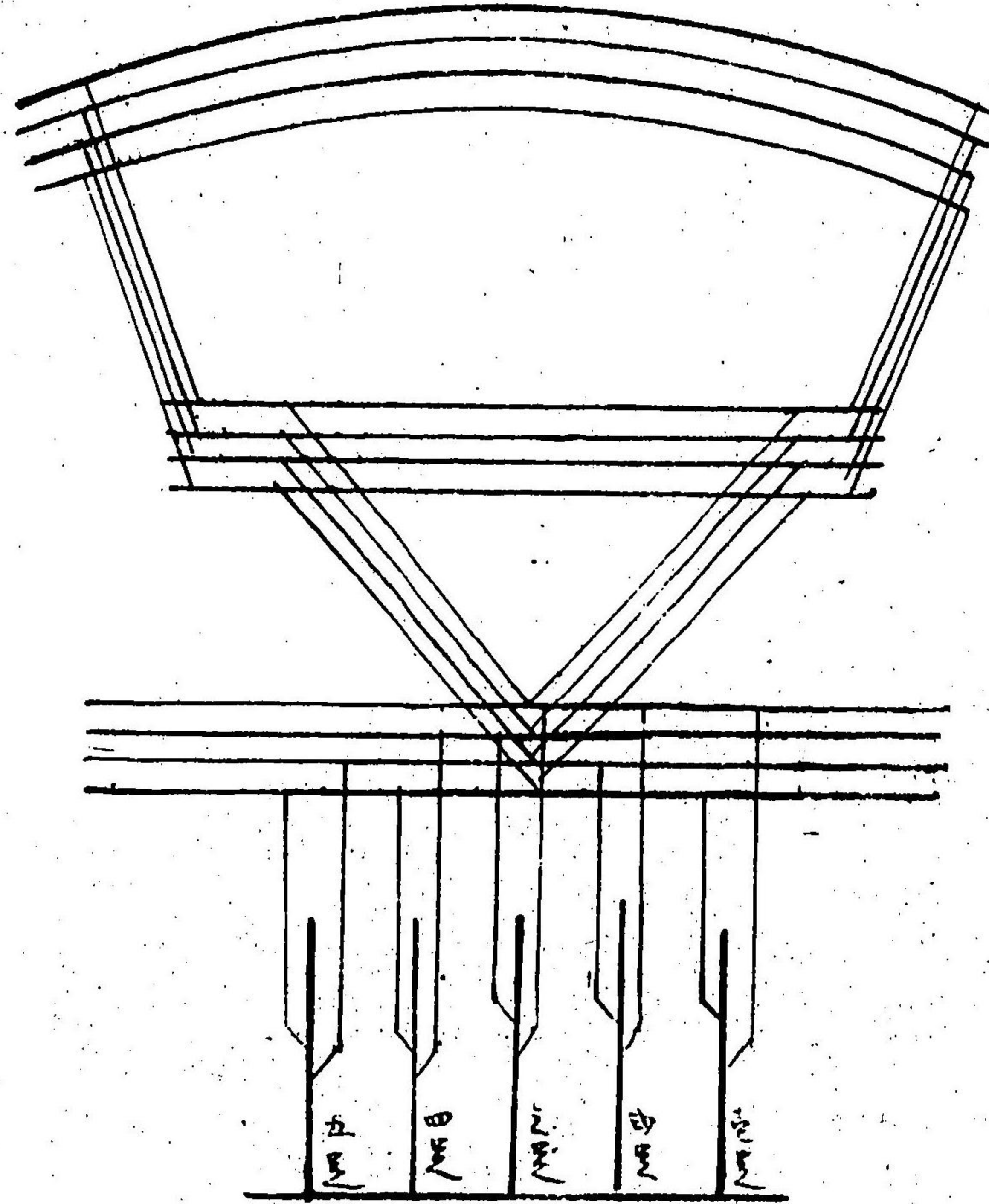
轉轆仕立式

四枚極通頂



頂通櫛板四

	く	く					
ε			ε				
				=	=		
				-	-		



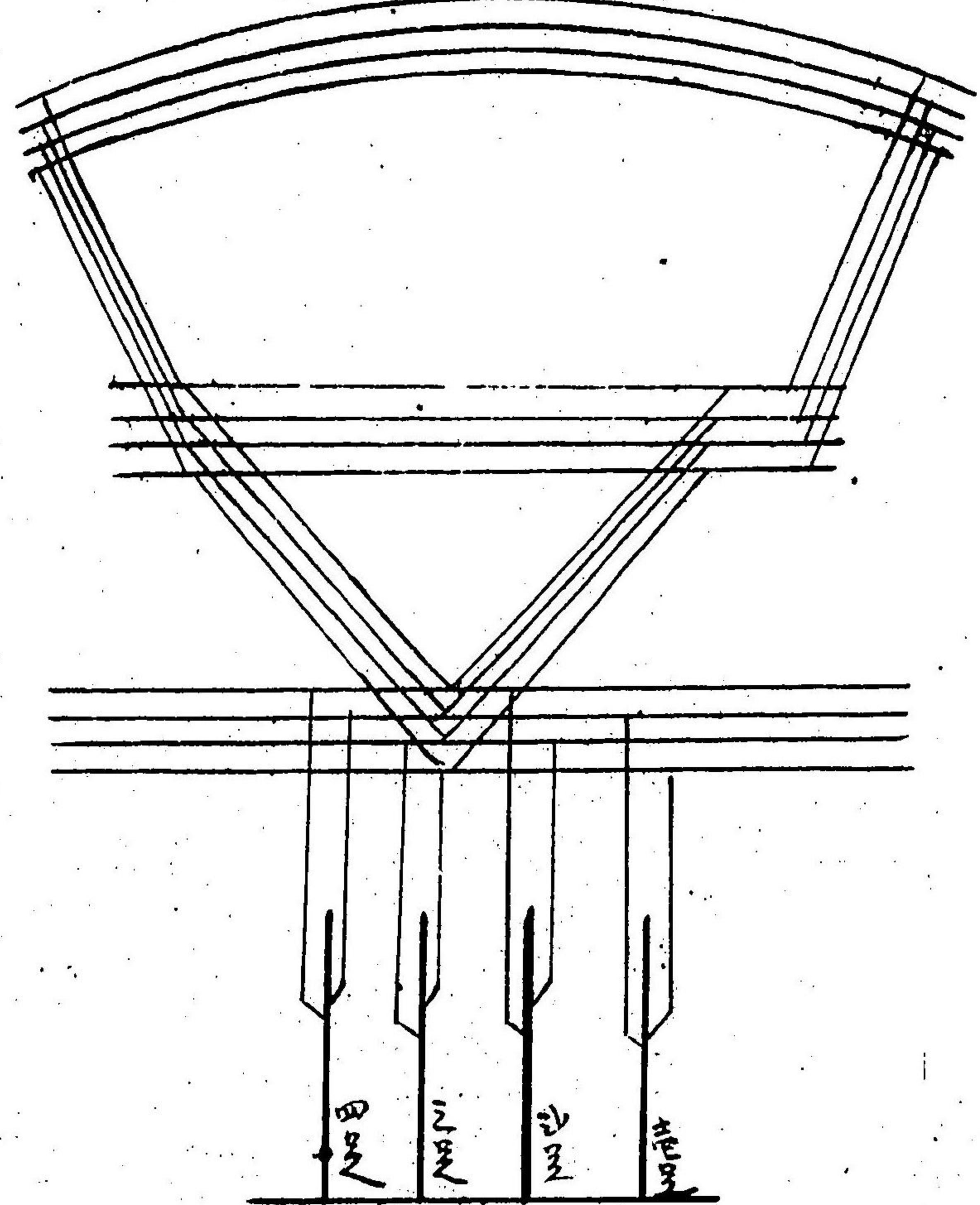
○ 茅拾三式

弓棚仕立式

頂通櫛板四

	く		く		く		
	三		三		三		
	=		=		=		
	-		-		-		

麻白 藤白 麻白 藤白



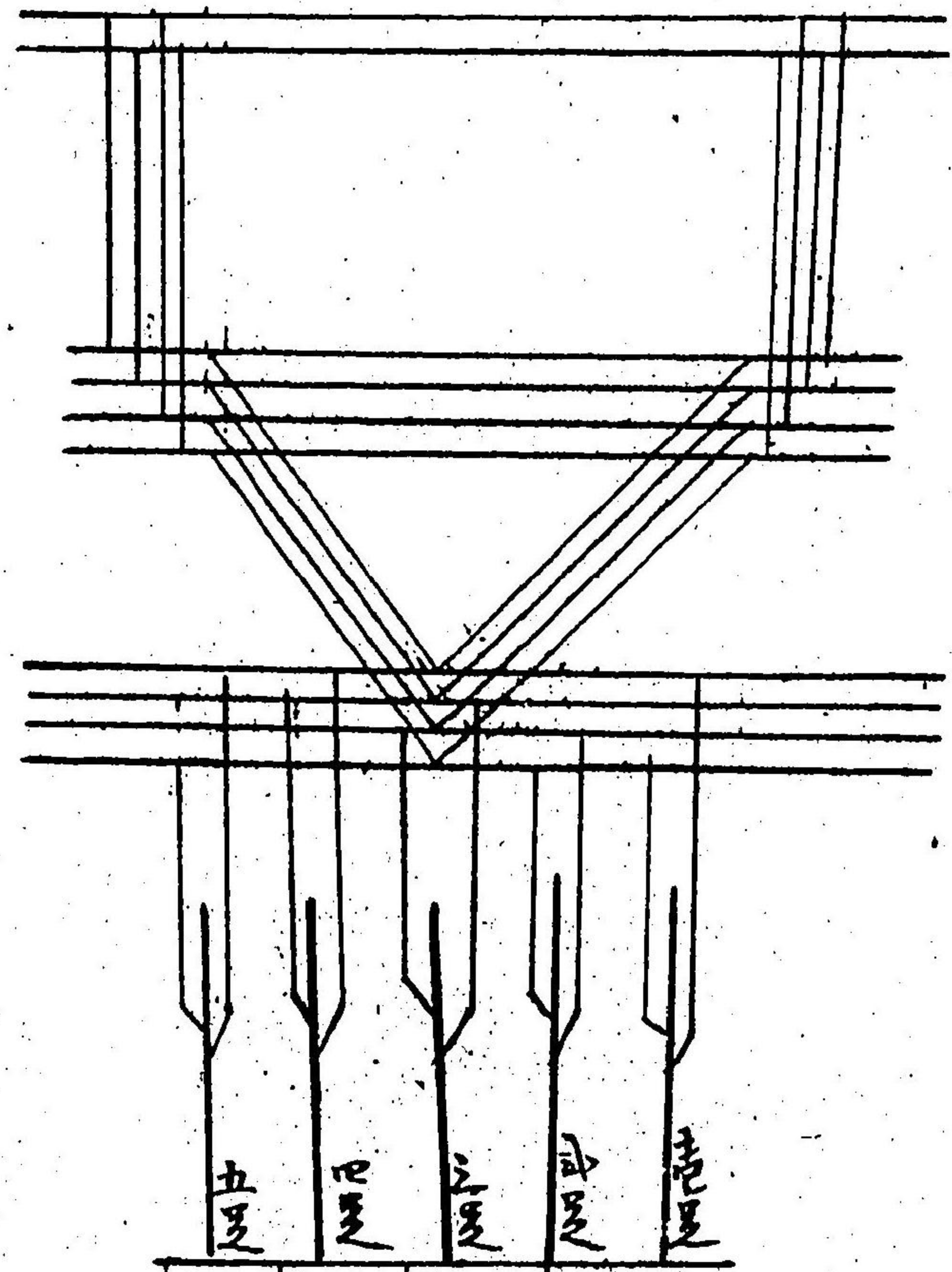
○ 茅拾貳式

弓棚仕立式

備考 椽條緯條の傍割り方にて致し浮き方を要す
 多るれば透宜き注意を要す

四枚挿通頂

		三	二		
	三		二		
一				二	一



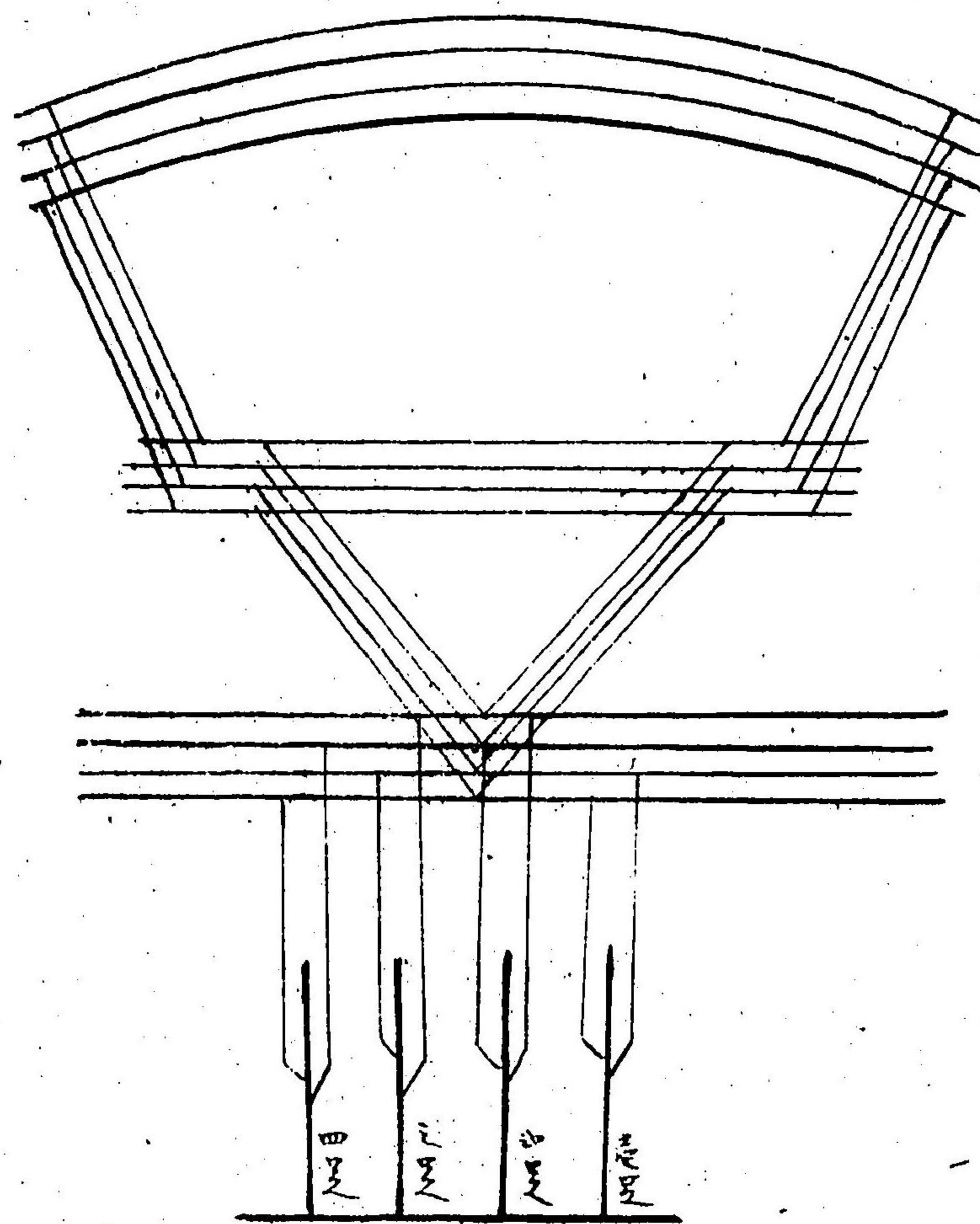
○ 第拾五節

轉轆仕立式

傳考 經緯線緯線の付割より方丁の浮き方を要する
 この形は、付通頂の意を以てし

四枚挿通頂

	二		三		二		三		二	
		二		三		二		三		二

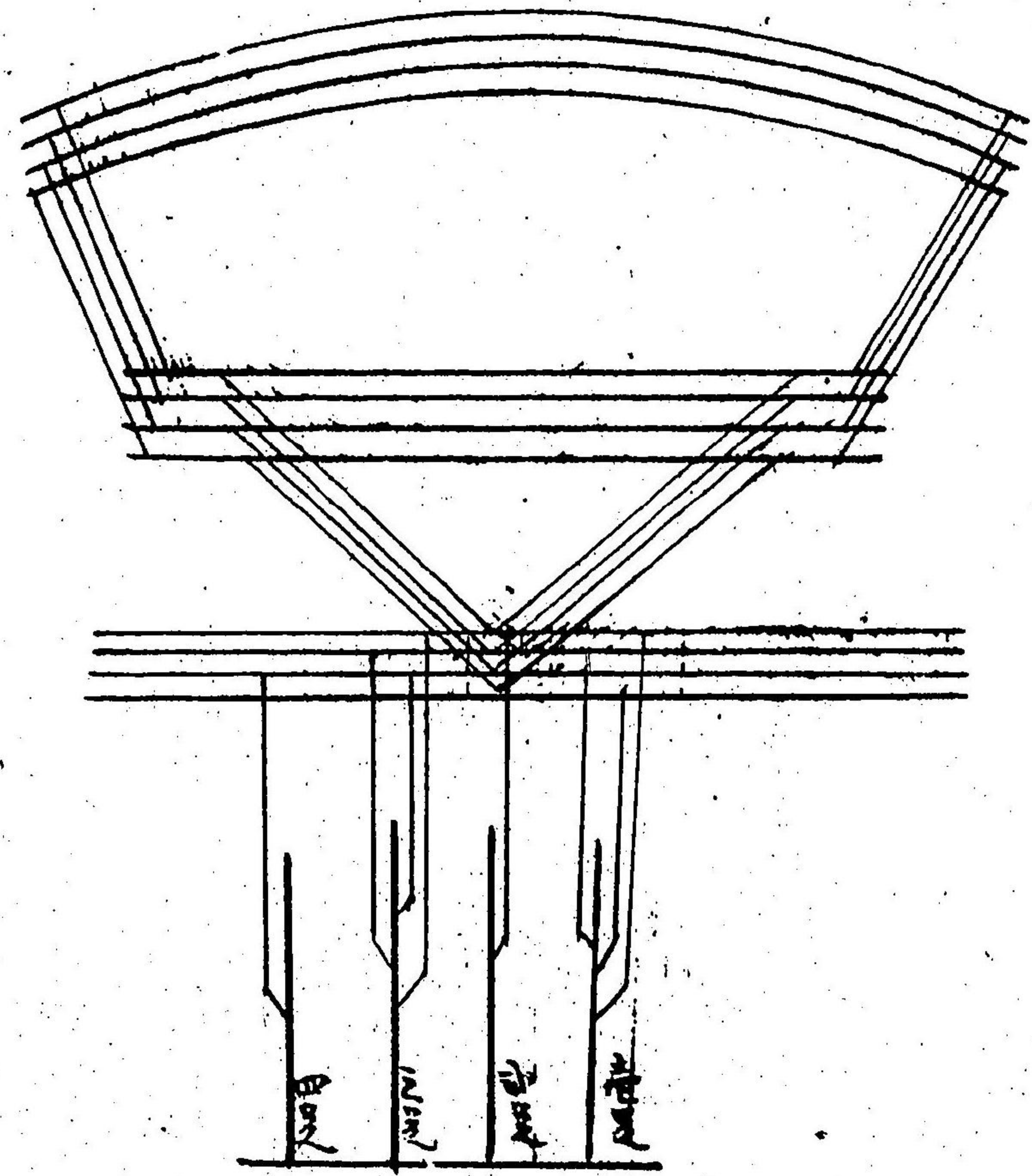


○ 第拾四節

弓棚仕立式

四枚様通項

			四		
			三		
			二		
			一		

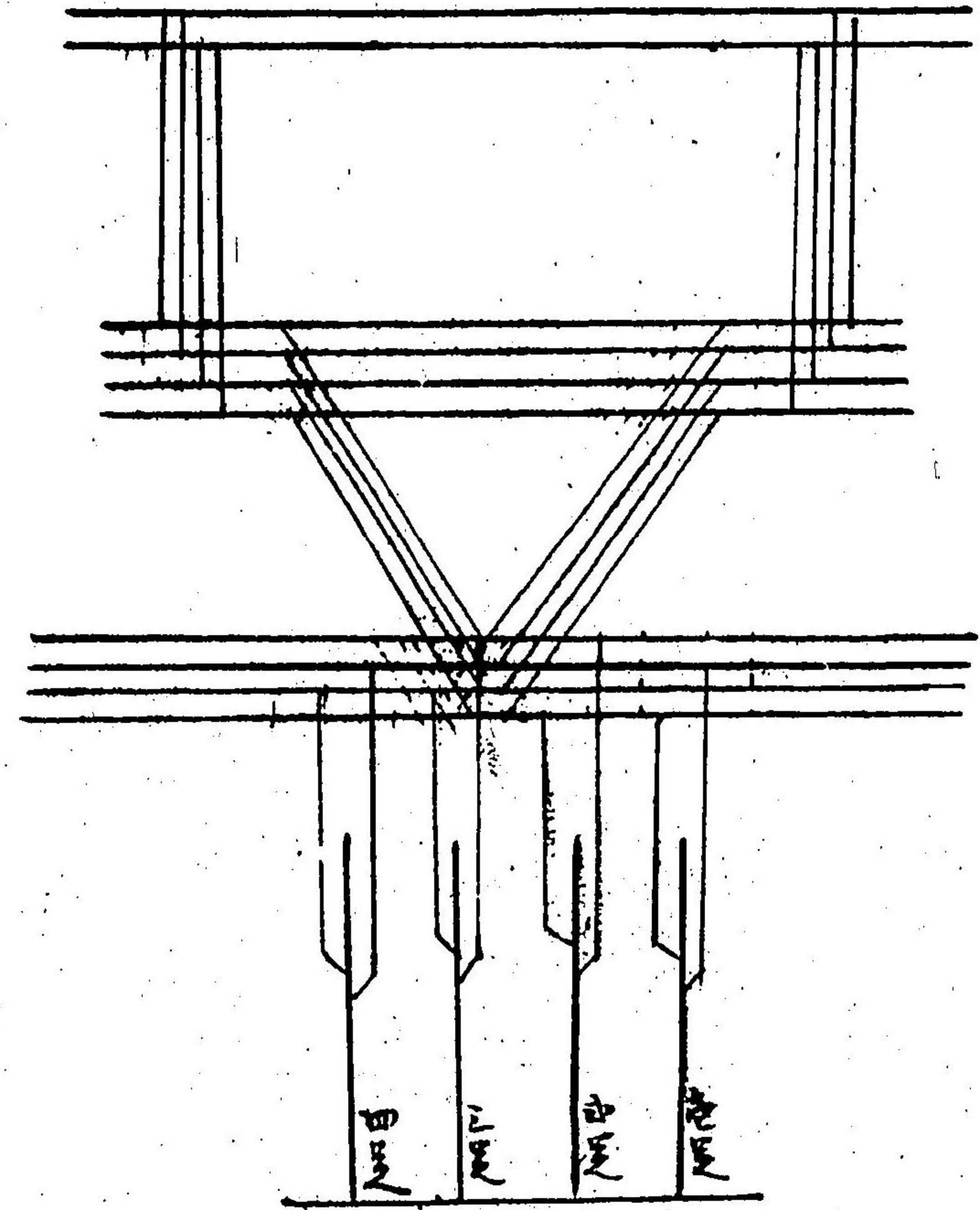


○ 第七拾号

弓柄仕立式

四枚様通項

四	四				
三		三			
		二		二	
				一	一



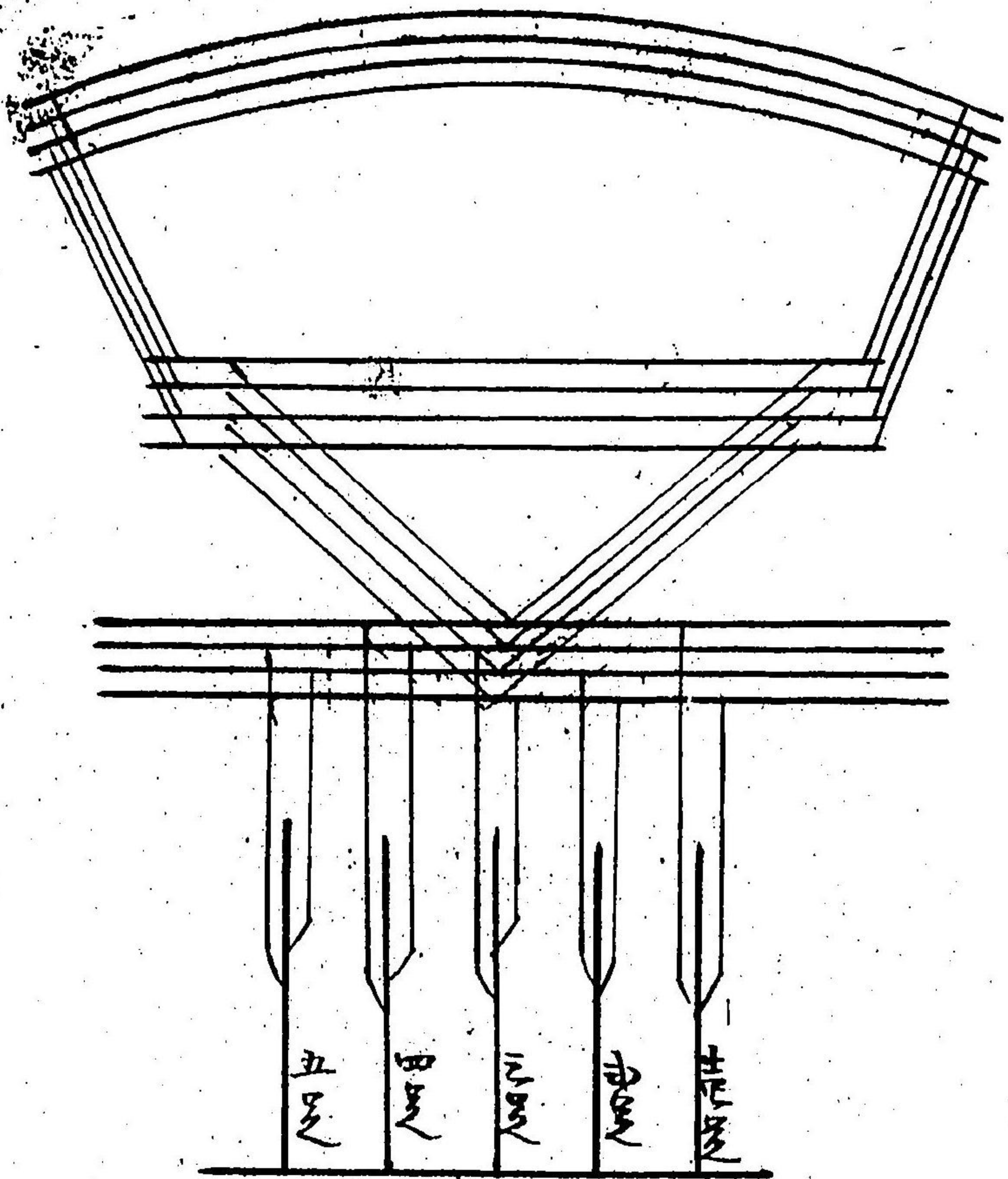
○ 第六拾号

扁擔仕立式

○ 茅草拾巻

四枚扱通頂

		四		
	三	三		
			二	
				一



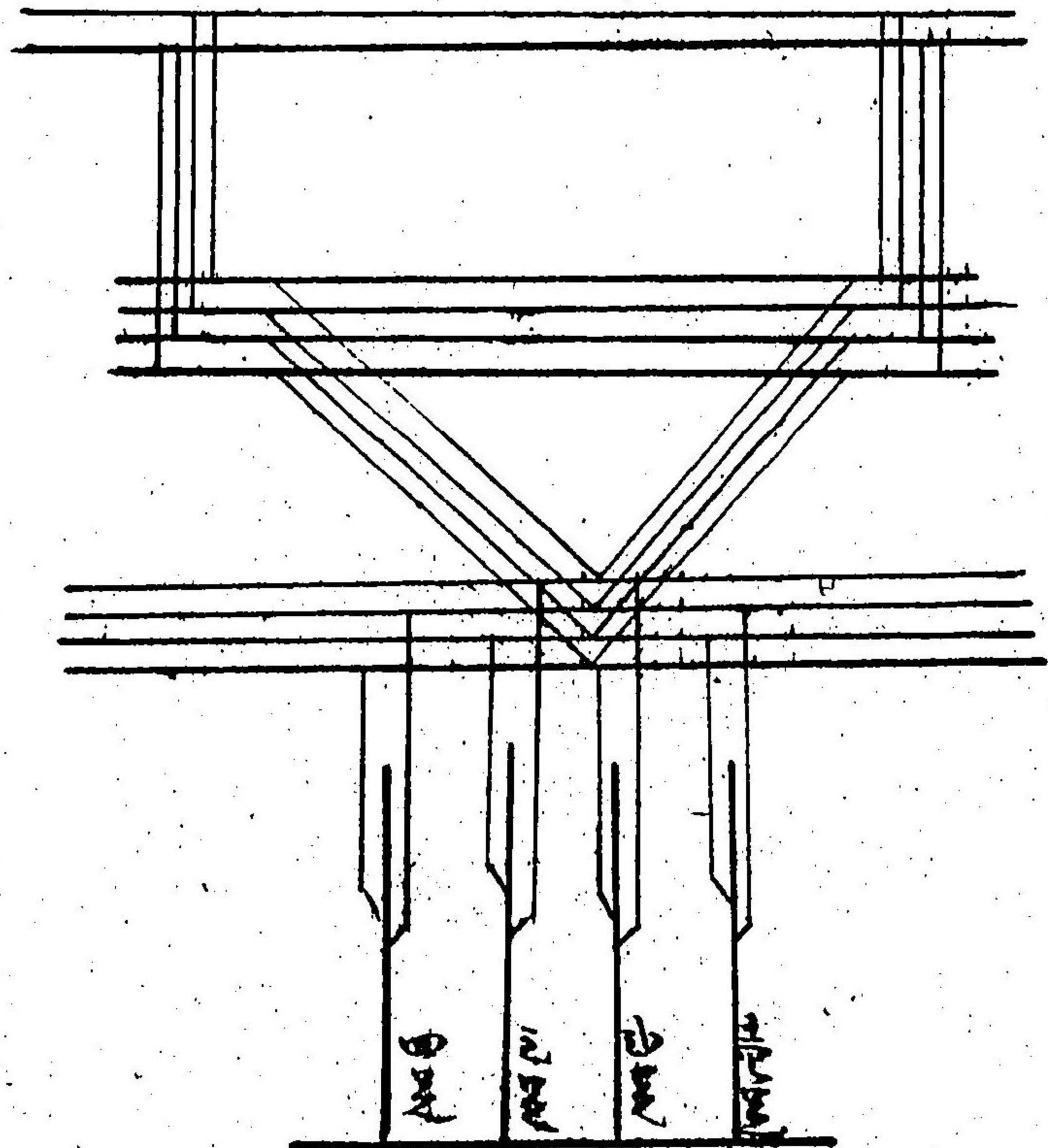
弓柄仕立式

磚考 控縁 縁の 締割り する 竹の 浮き 方を 要す
 の ぬれ せし 途 互 本 恒 意 生 ず

○ 茅草拾巻

四枚扱通頂

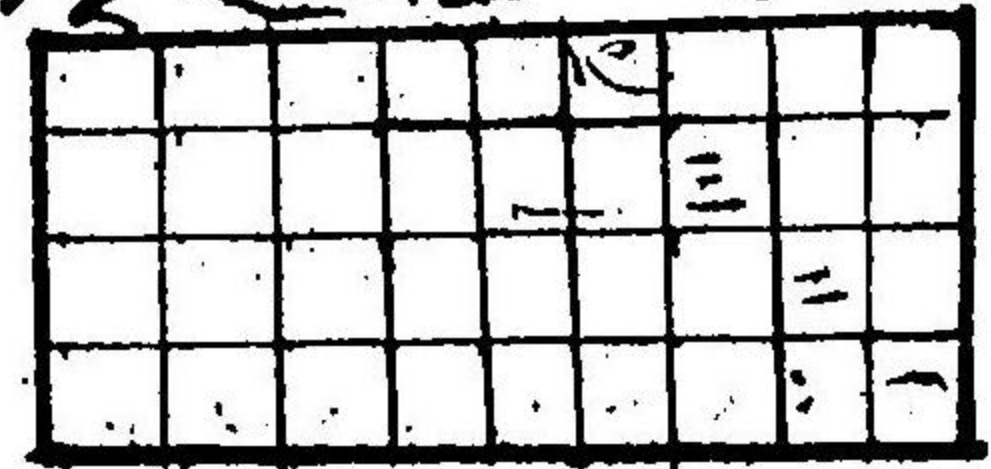
			四	
	三			
		二		
			一	



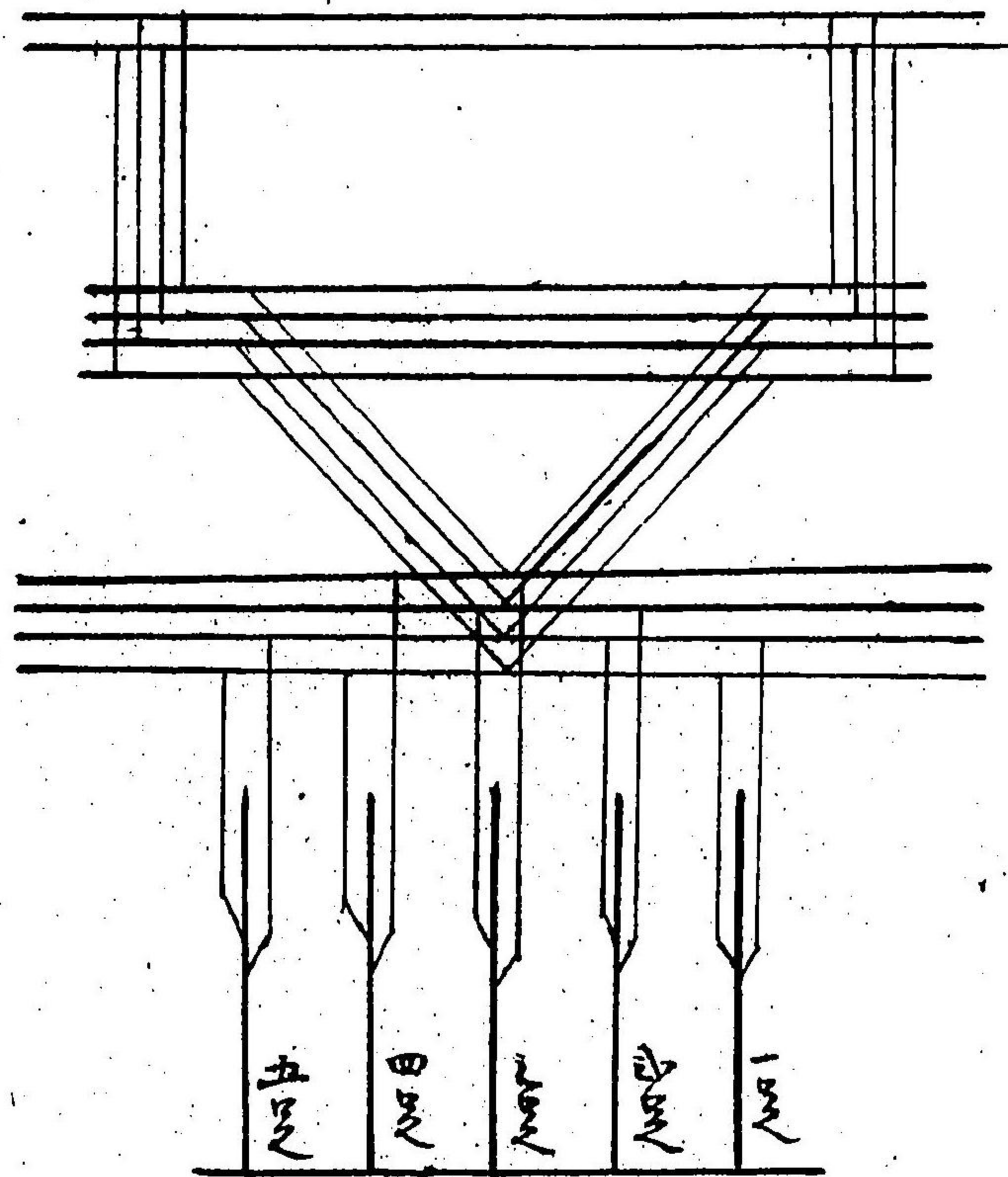
辨轆仕立式

○ 茅山抄抄

四枚極通頂



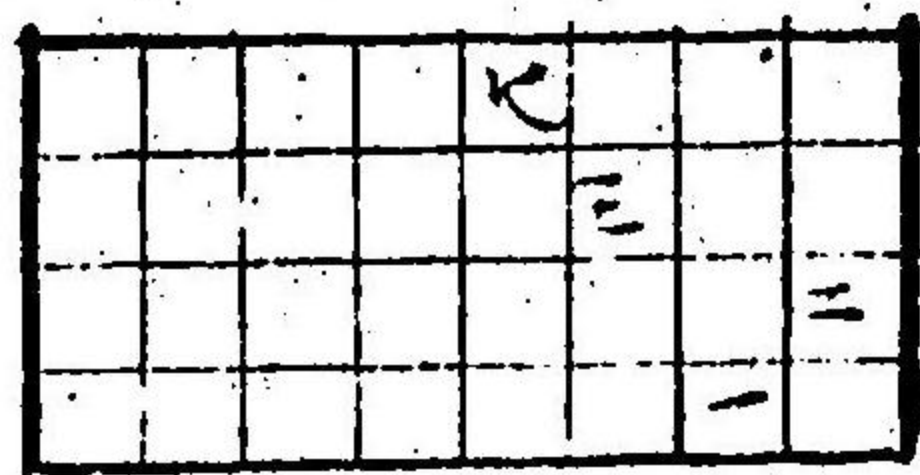
編籠仕立式



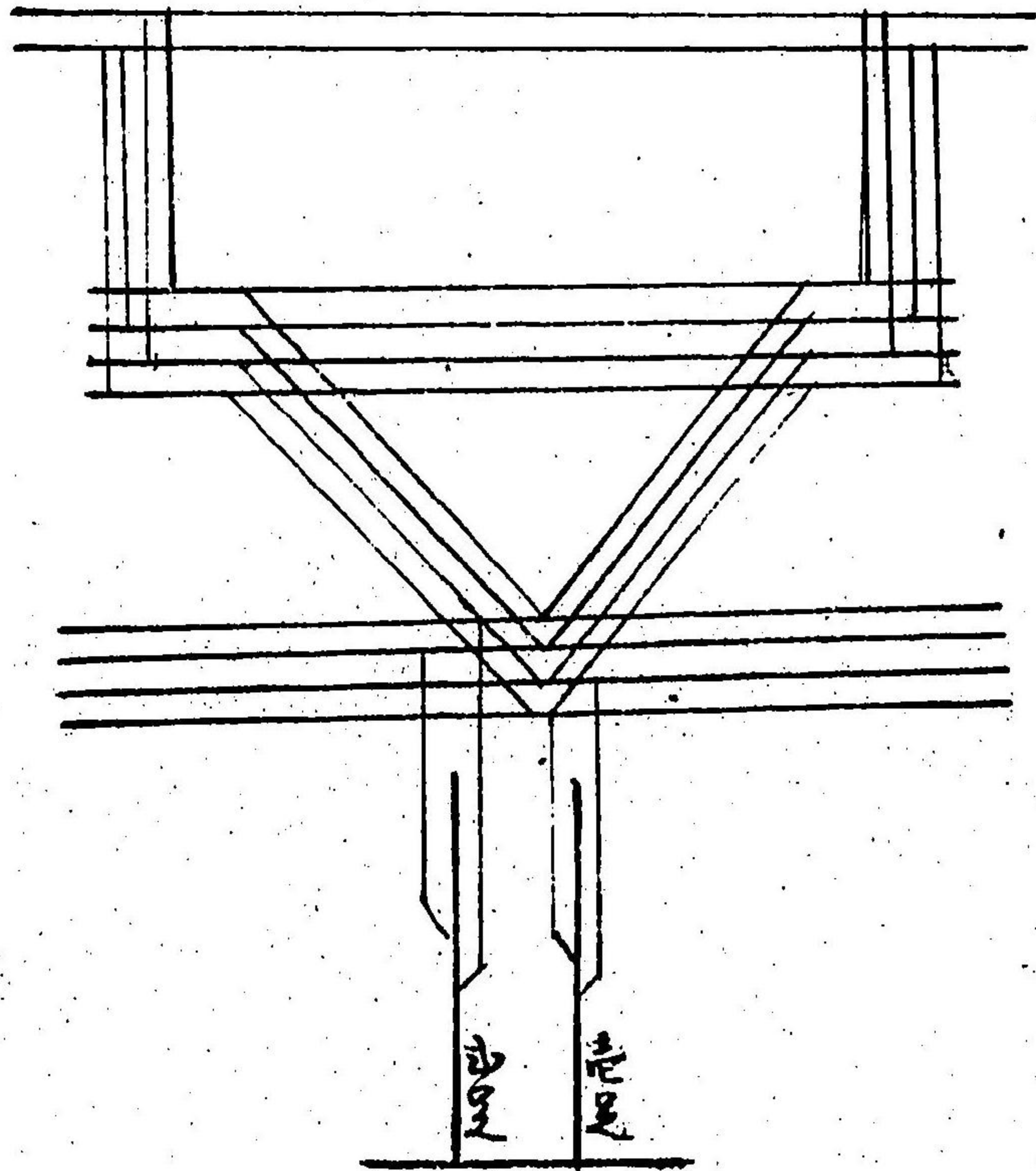
備考 極系障系ノ竹刻ヨリテ枚ノ極キ方ヲ覆スルモノ
 可敷仕立ノ注意スヘシ

○ 茅山拾三

四枚極通頂



編籠仕立式

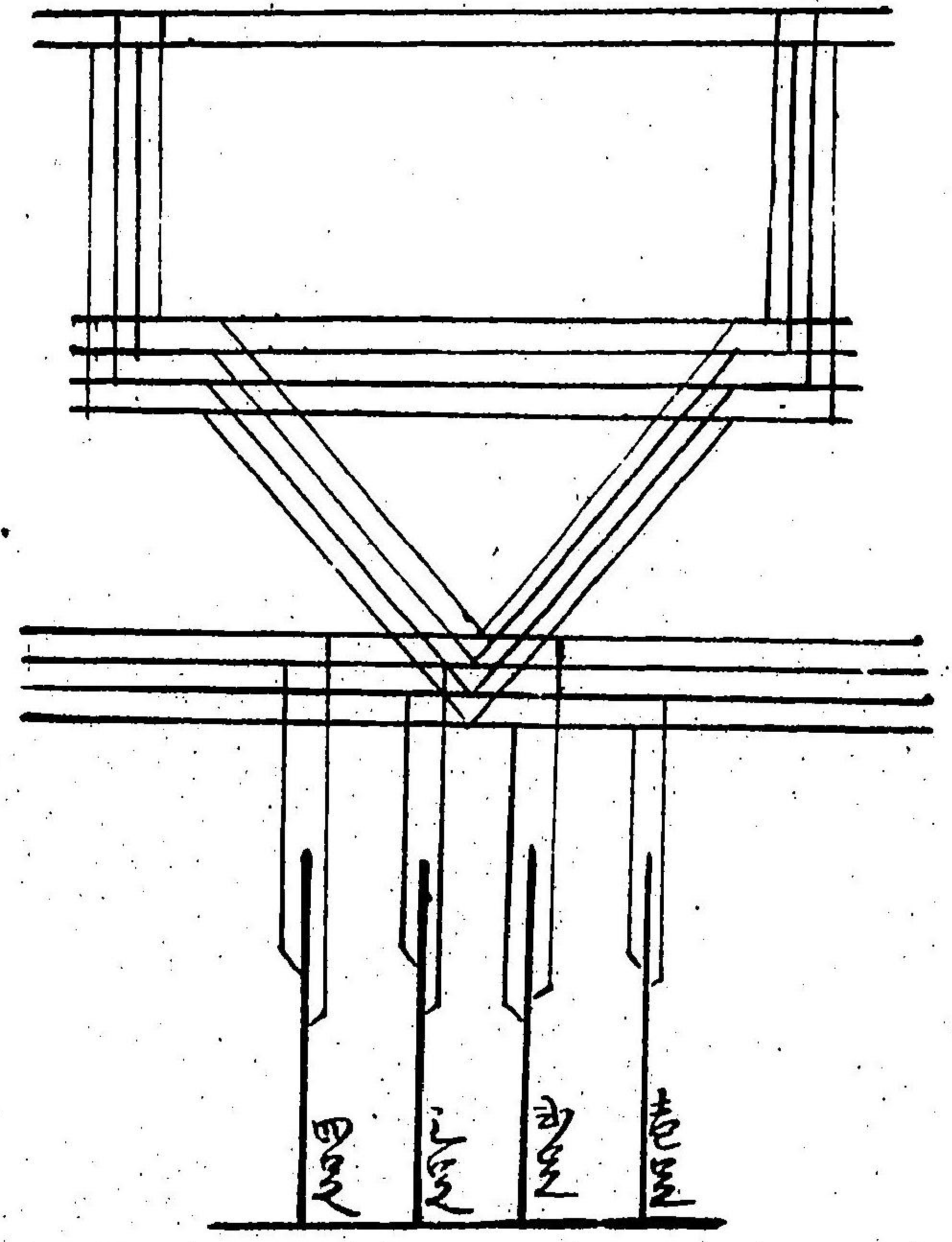


○ 第廿六号

輪轆仕立式

四枚様通頃

			三	三			
					二	二	



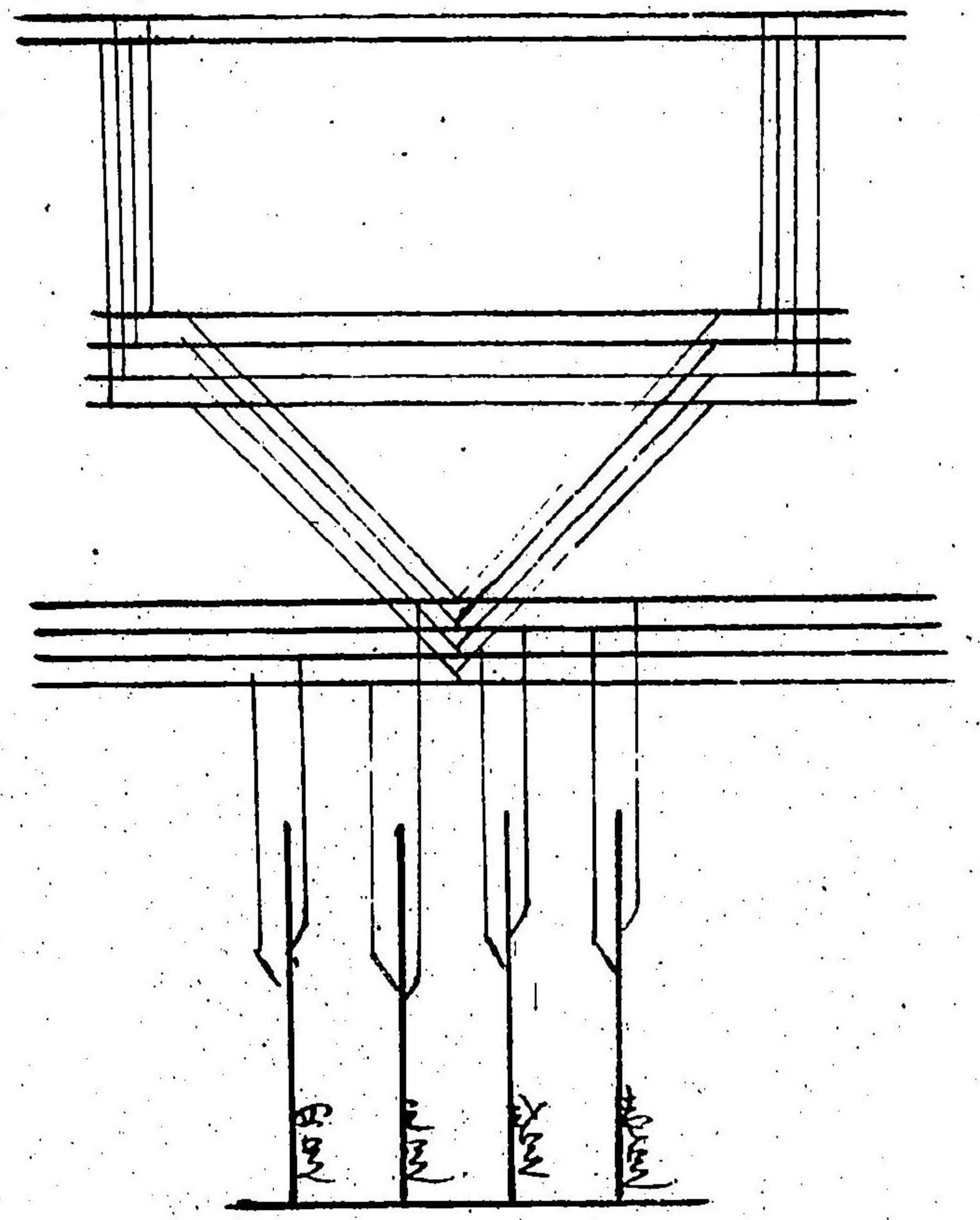
備考 輪系 緯糸の 結割り方にて 絞の 深さ 方を 変へる
 ありしに けし 互敷 注意を せよ

○ 第廿七号

輪轆仕立式

四枚様通吹

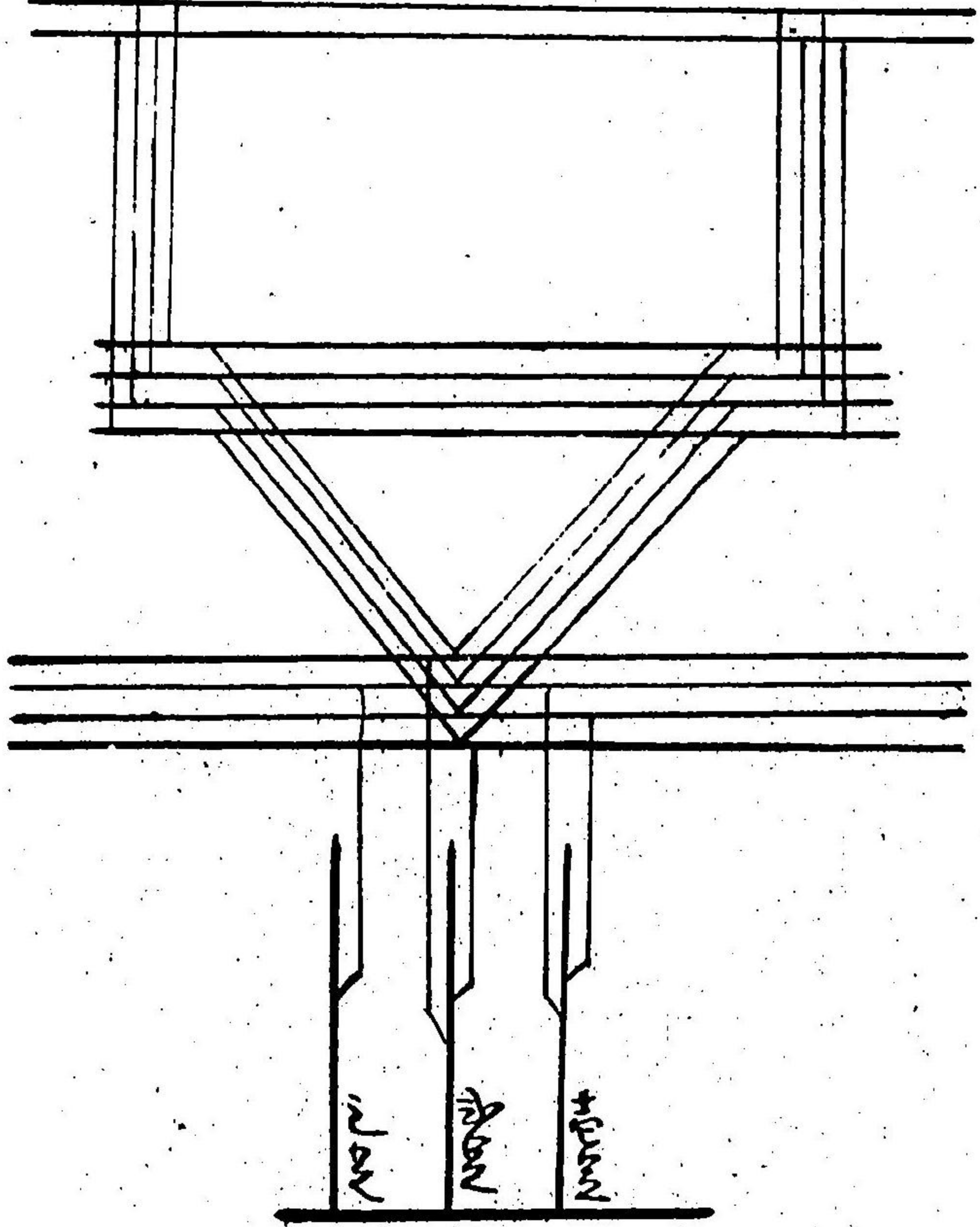
					三	三	
							二



備考 輪系 緯糸の 結割り方にて 絞の 深さ 方を 変へる
 ありしに けし 互敷 注意を せよ

頂通様板四

12	12				
	三	三			
			三	三	
			-	-	



○ 茅山拾九種

轆轤仕立式

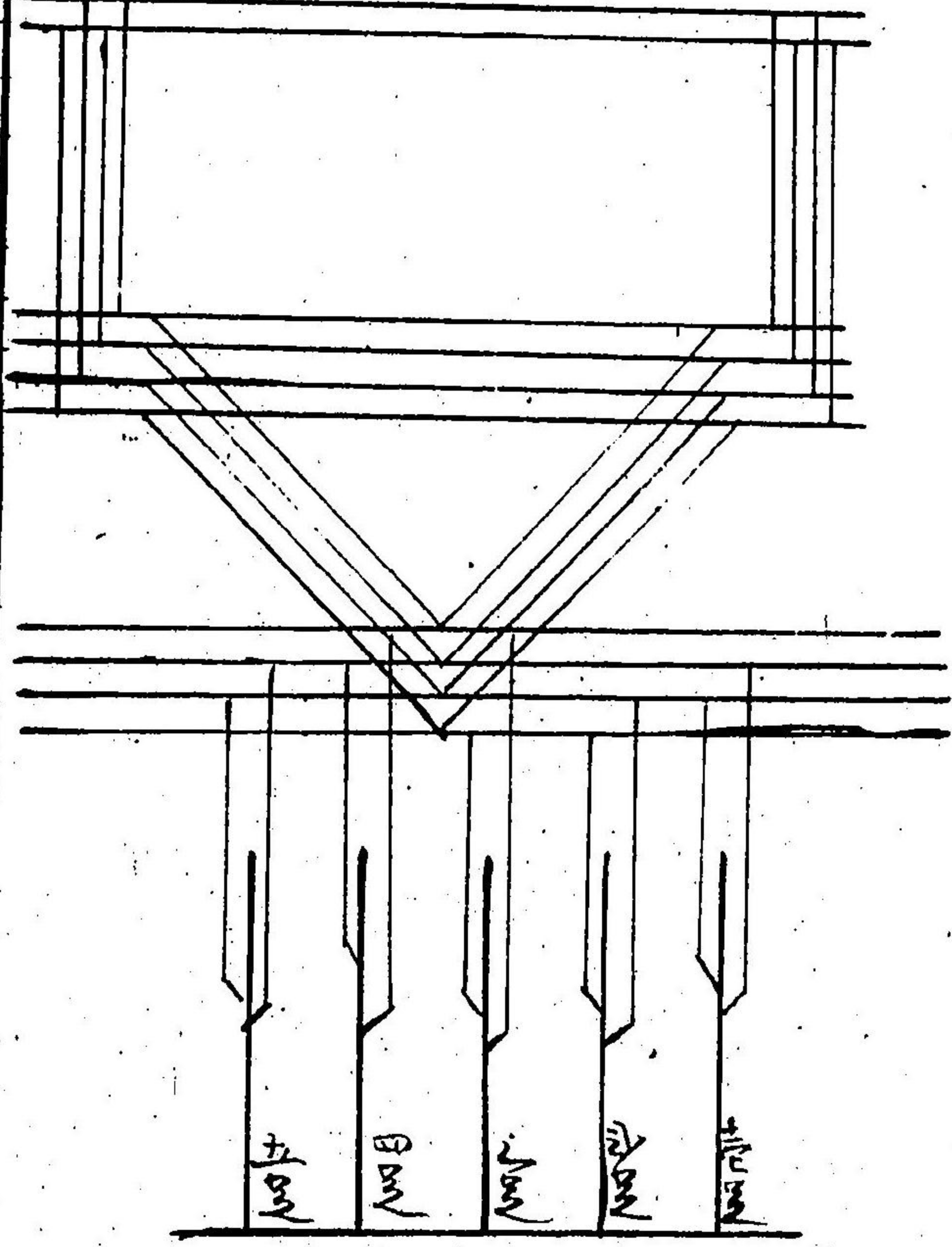
備考 恒糸 擇糸の 撈別 として 彼の 諸子 方 其 轆轤仕立式 なる もの あり といふ 可 なる 恒糸 仕立式 なる 也

12	12				
	三	三			
			三	三	
			-	-	

頂通様板四

轆轤仕立式

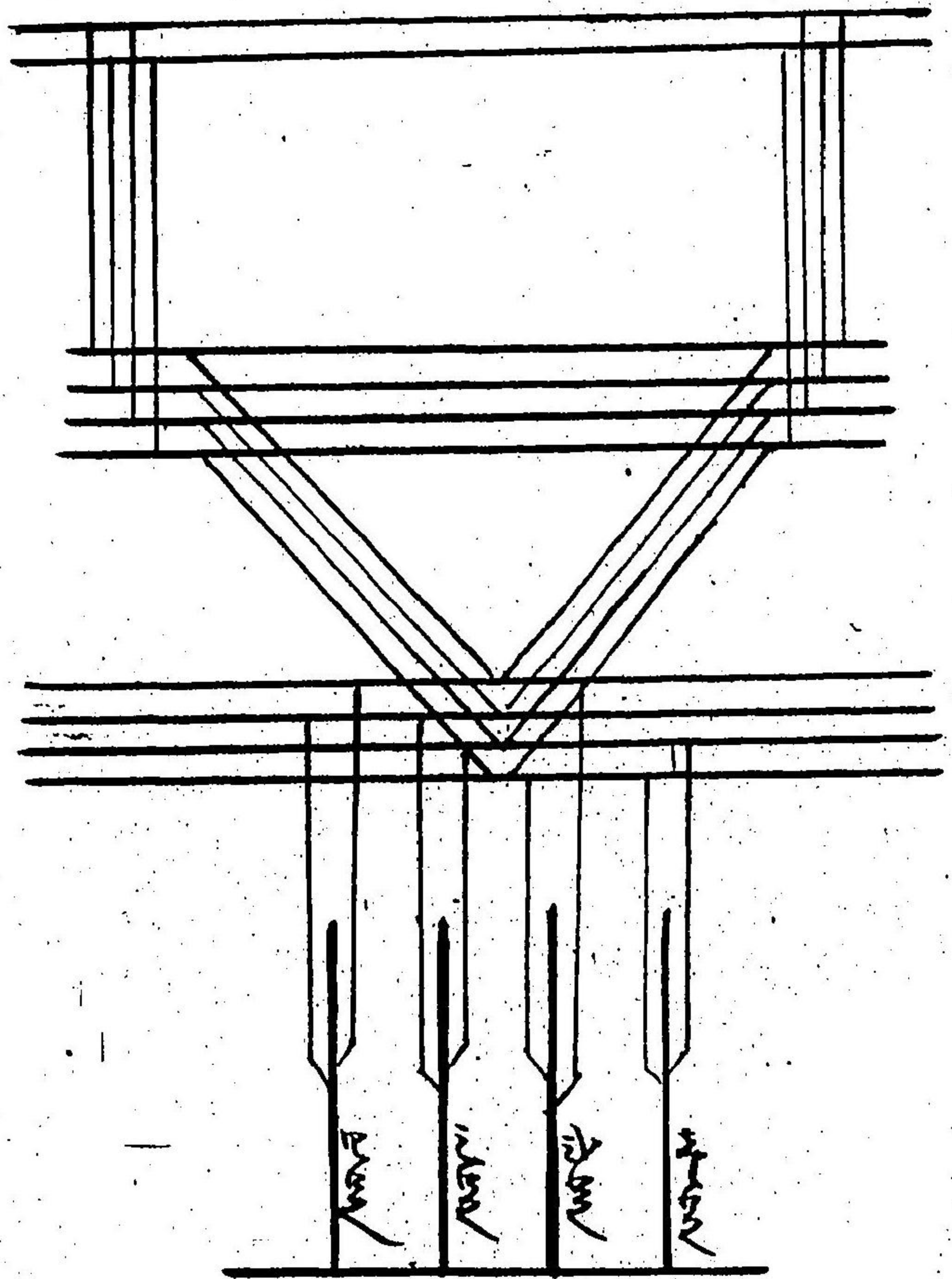
○ 茅山拾八種



備考 経糸緯糸の区別を以て梭の浮目方を表す
 のちれはけ違互者ほ志を全

四枚採通頂

				四
		三		
			二	
				一

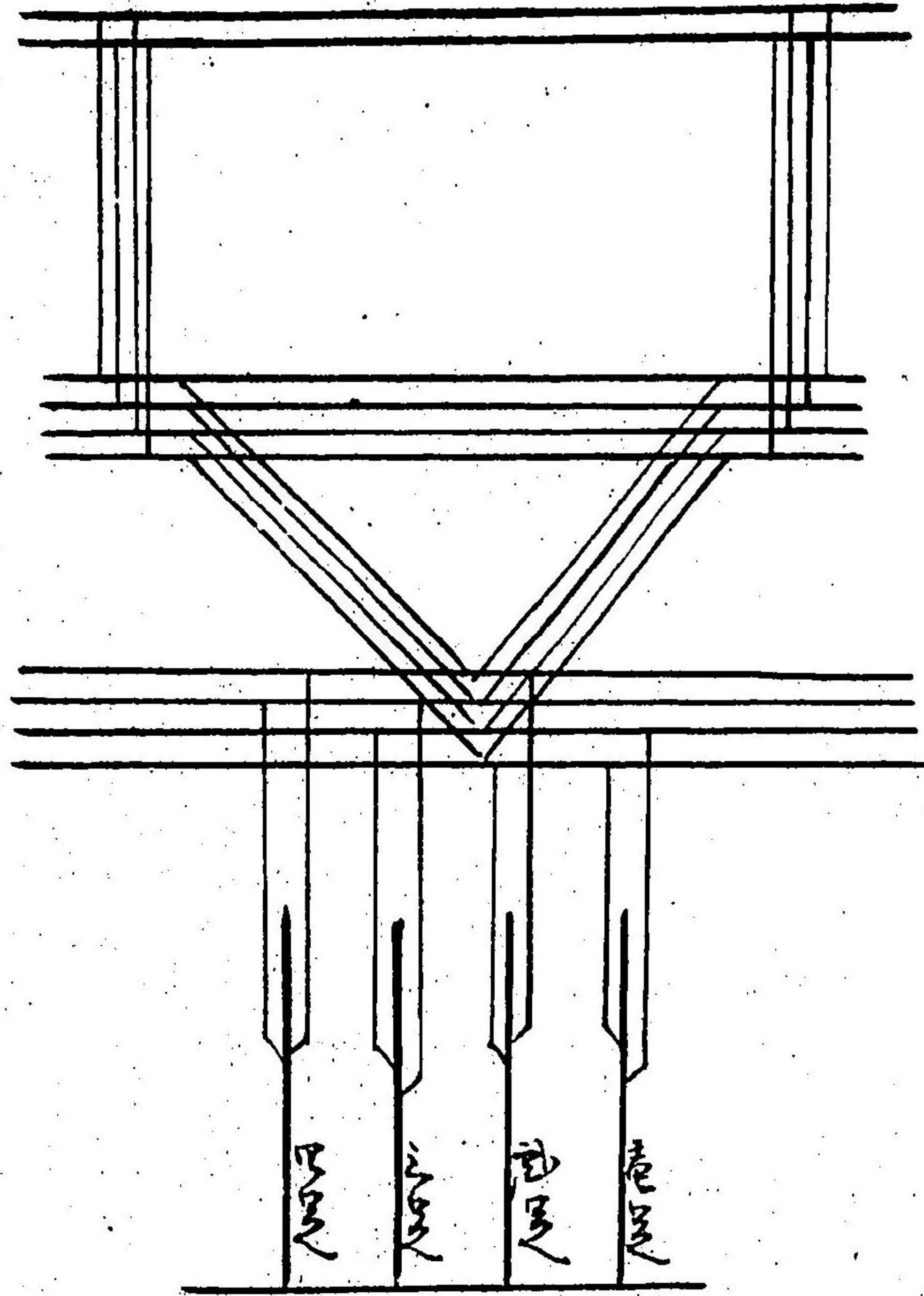


○ 第三拾四種

輪轆仕立式

四枚採通頂

				四
		三		
			二	
				一



○ 第三拾五種

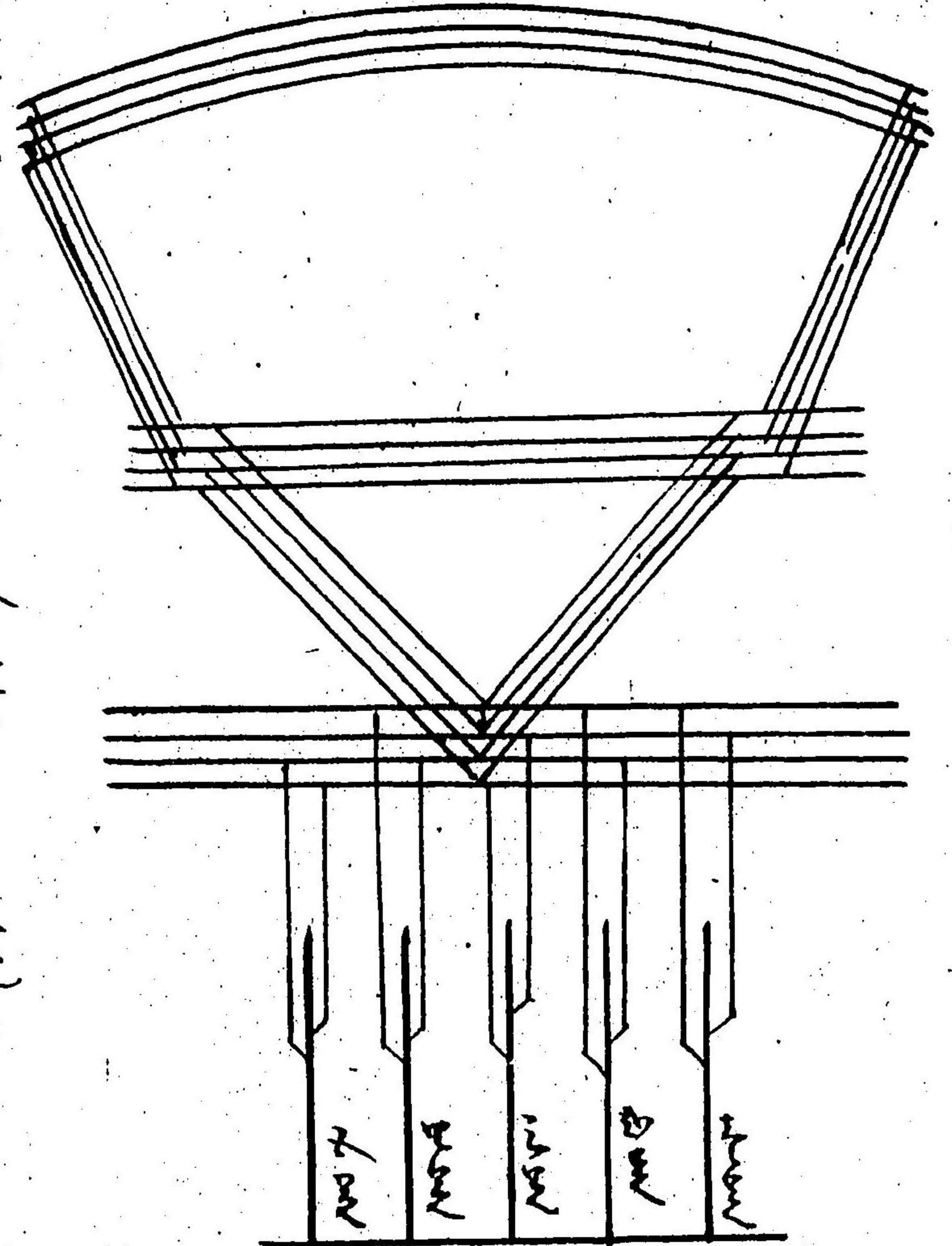
輪轆仕立式

○第三拾五條

弓棚仕立式

頂通樺枚四

尺			尺				
三			三				



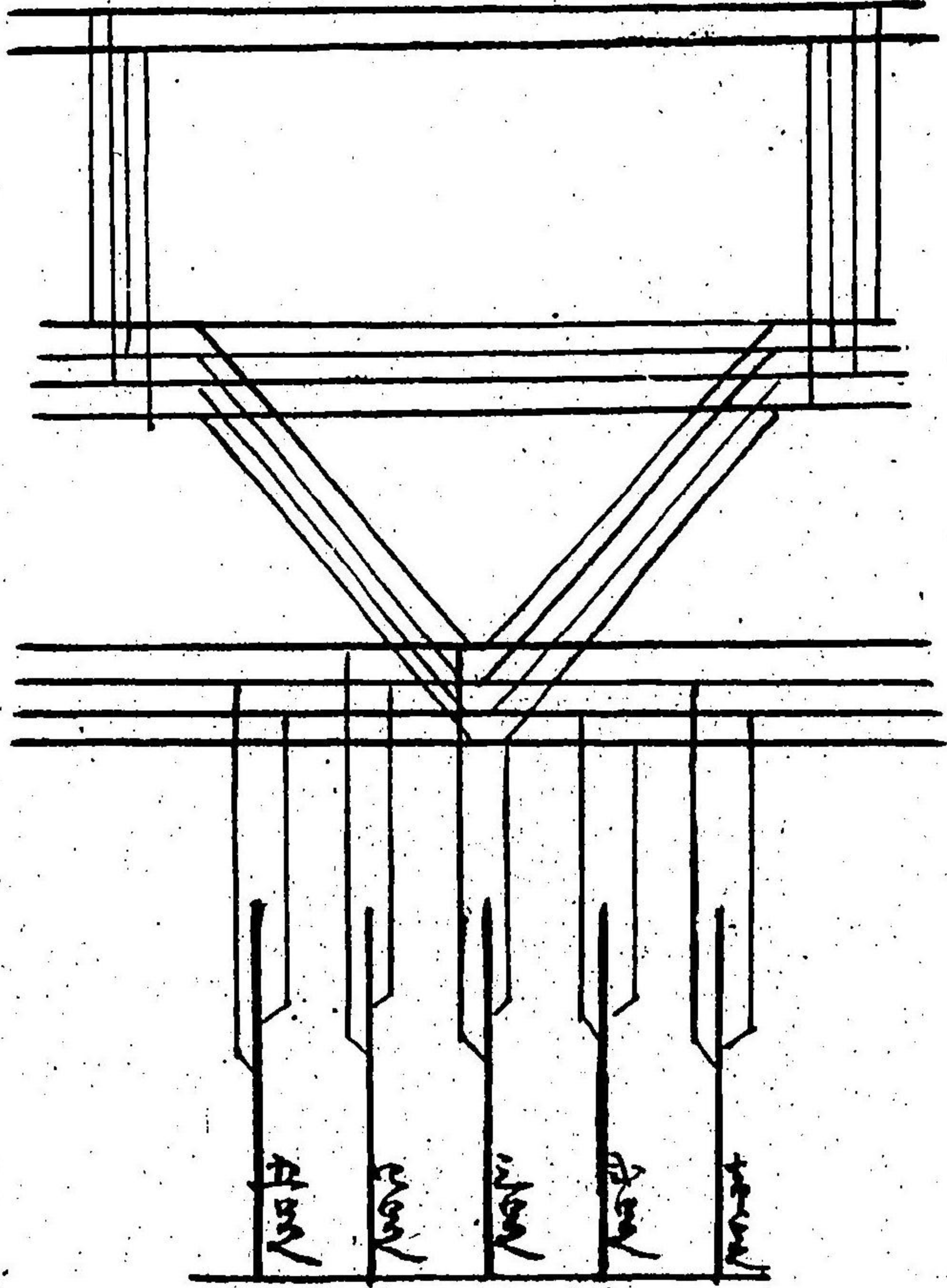
備考 柱系緯糸ノ筋別ニソテ故ノ浮キ方ヲ表スルモノ
 ナレハ此迄至者注意スヘシ

○第三拾六條

鞆轆仕立式

頂通樺枚四

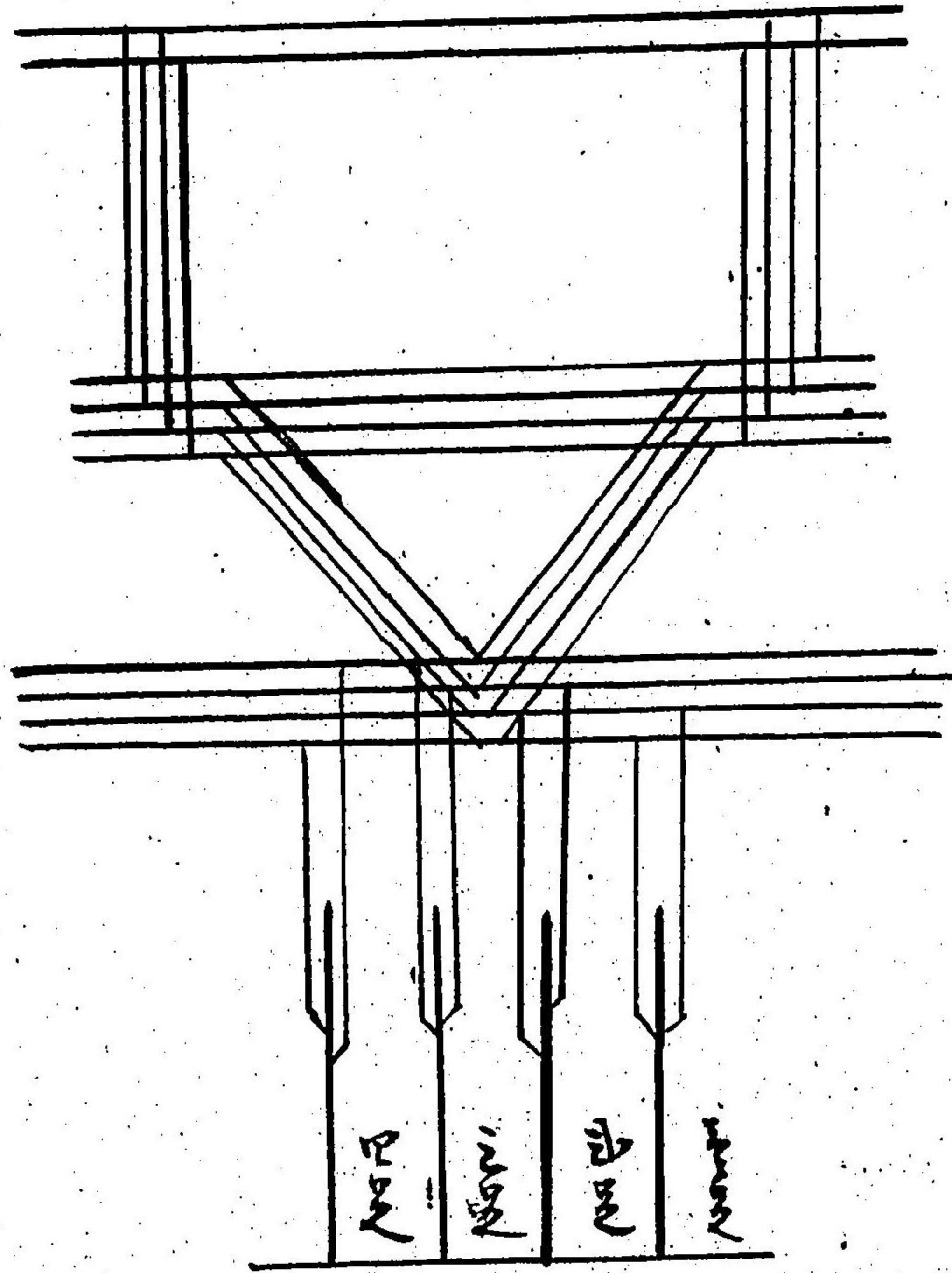
尺			尺				
三			三				



備考 柱系緯糸ノ筋別ニソテ故ノ浮キ方ヲ表スルモノ
 ナレハ此迄至者注意スヘシ

四枚様通順

三	二	一	一	二	三
三	二	一	一	二	三
三	二	一	一	二	三
三	二	一	一	二	三

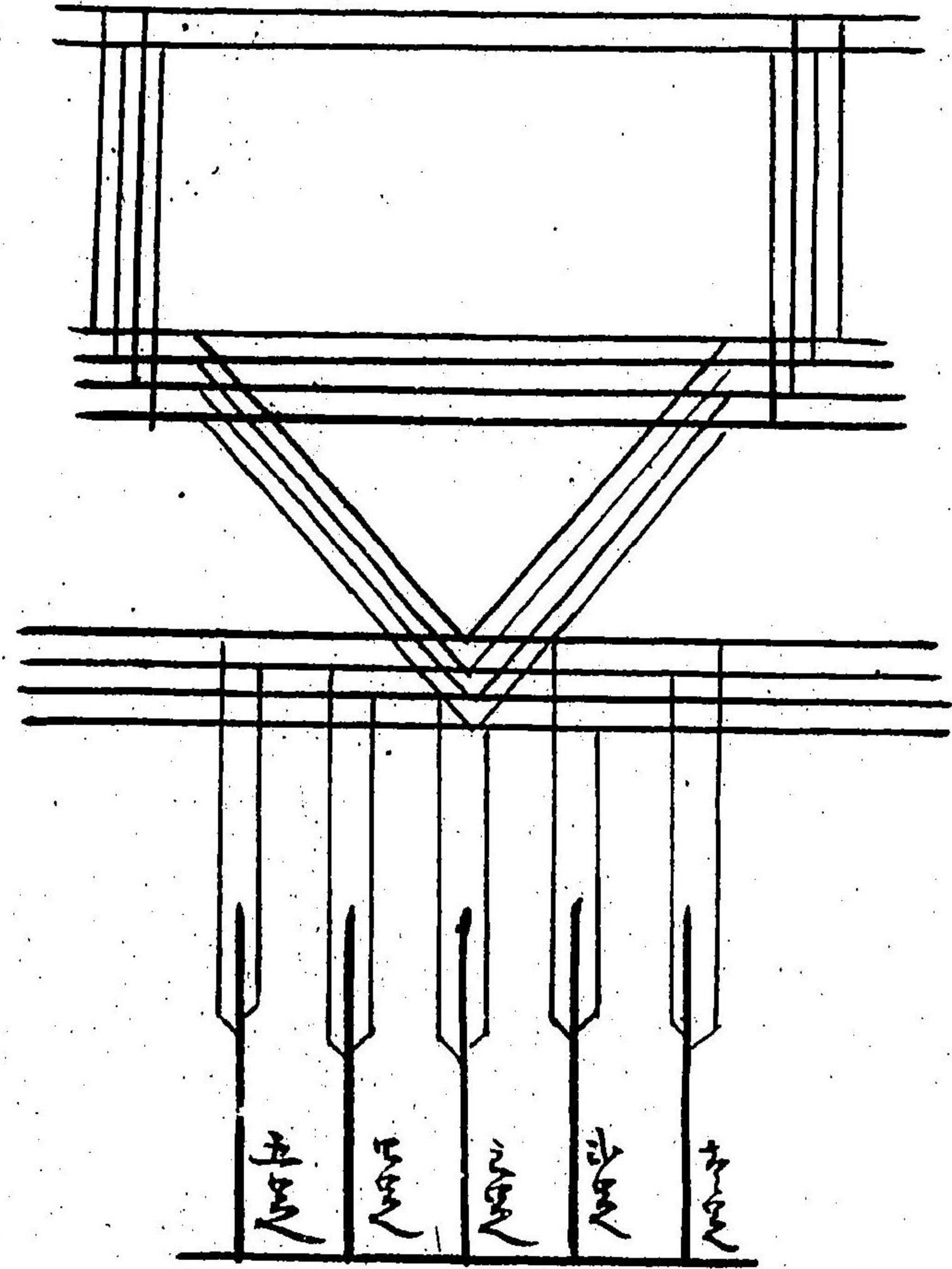


○ 第三拾八号

扉轆仕立式

四枚様通順

三	二	一	一	二	三
三	二	一	一	二	三
三	二	一	一	二	三
三	二	一	一	二	三



○ 第三拾七号

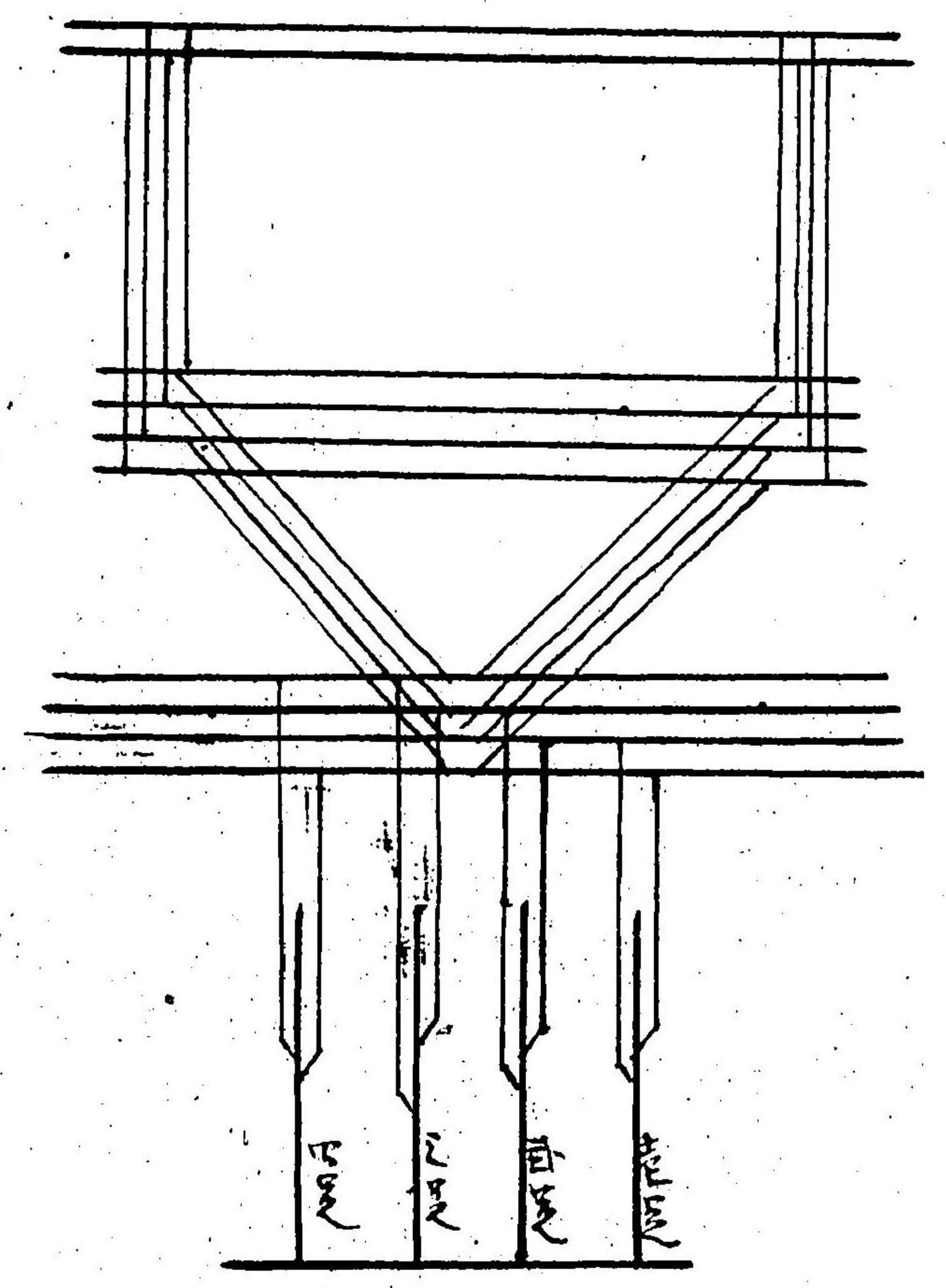
扉轆仕立式

○ 第三拾壹節

編繩仕立式

吹通掃枚四

		四		
		三		
		二		
		一		



伍考 經糸緯糸ノ筋刻ヨリテ枚ノ浮キ方ヲ変スルモノ
 此ノ豆敷片道ニ注意スヘシ

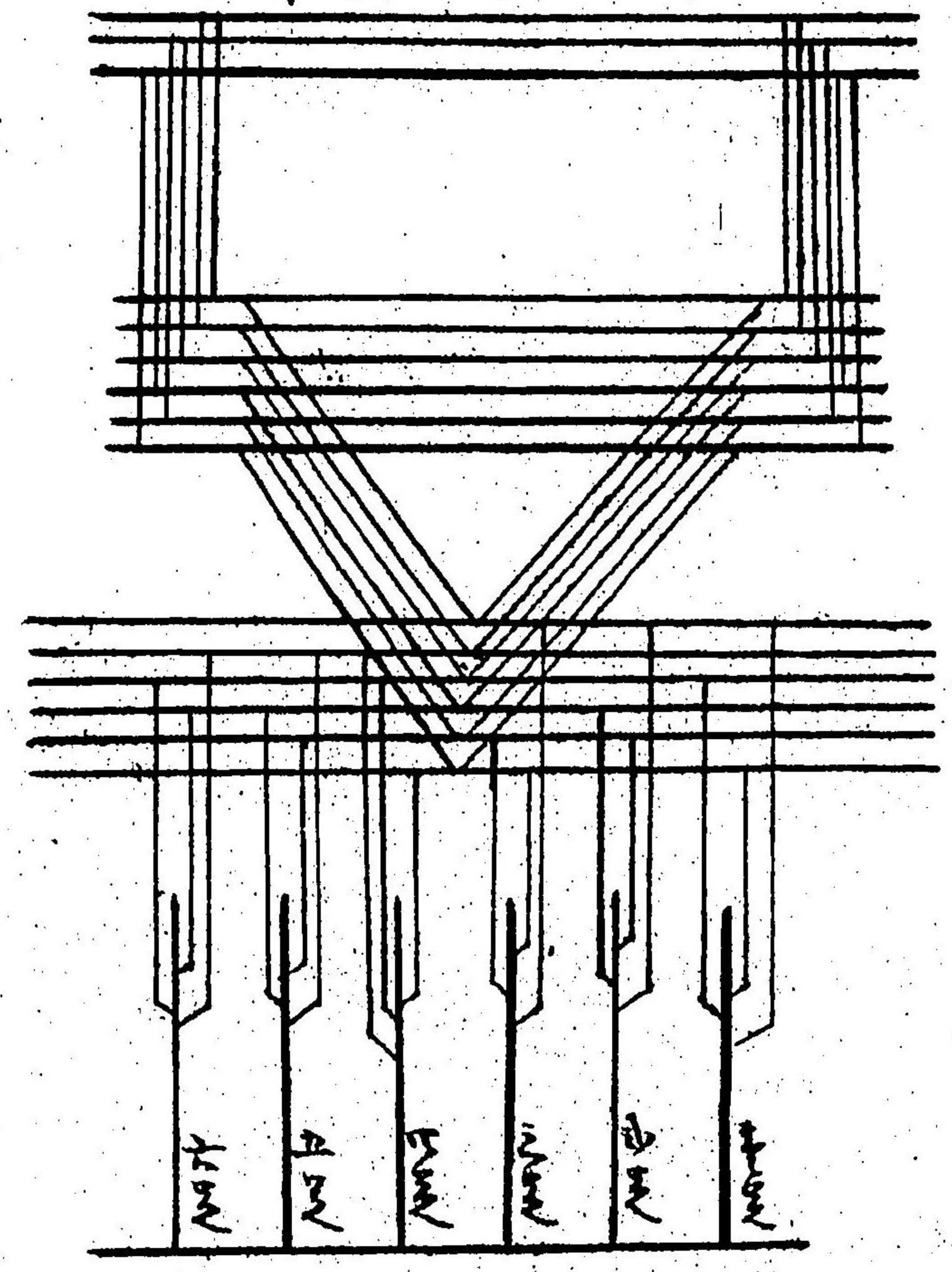
○ 第三拾九節

編繩仕立式

吹通掃枚六

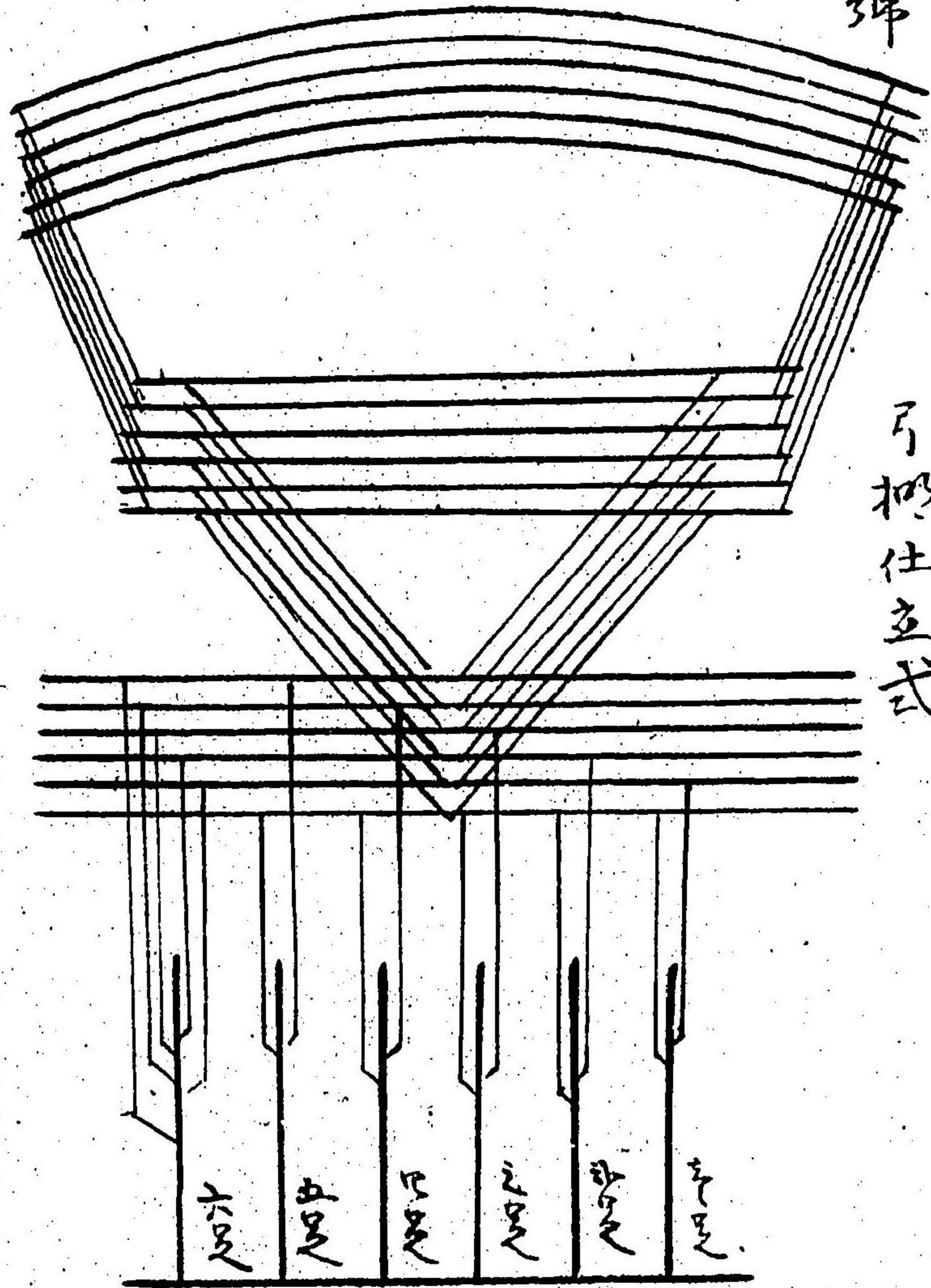
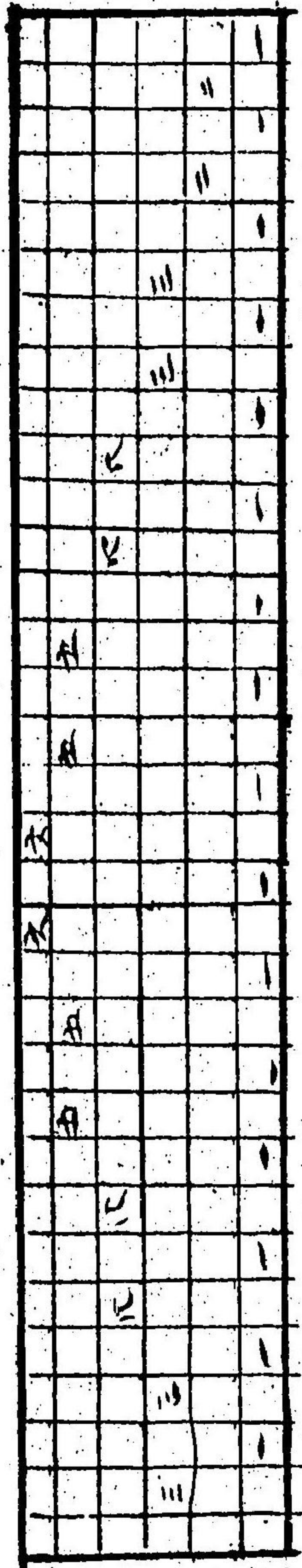
	六			五	
四		三			
	三		二		
			一		

本黒 本黒



伍考 經糸緯糸ノ筋刻ヨリテ枚ノ浮キ方ヲ変スルモノ
 此ノ豆敷片道ニ注意スヘシ

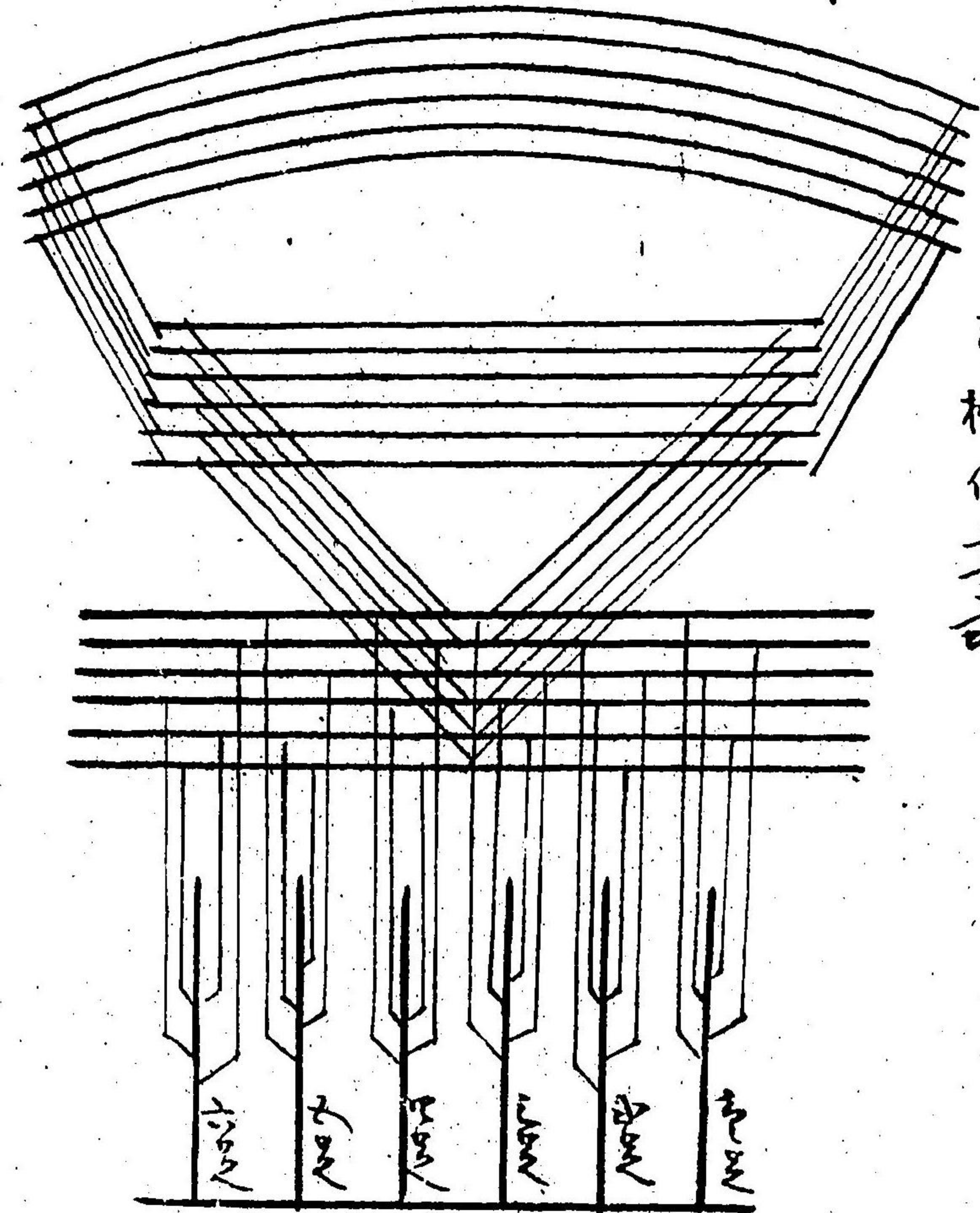
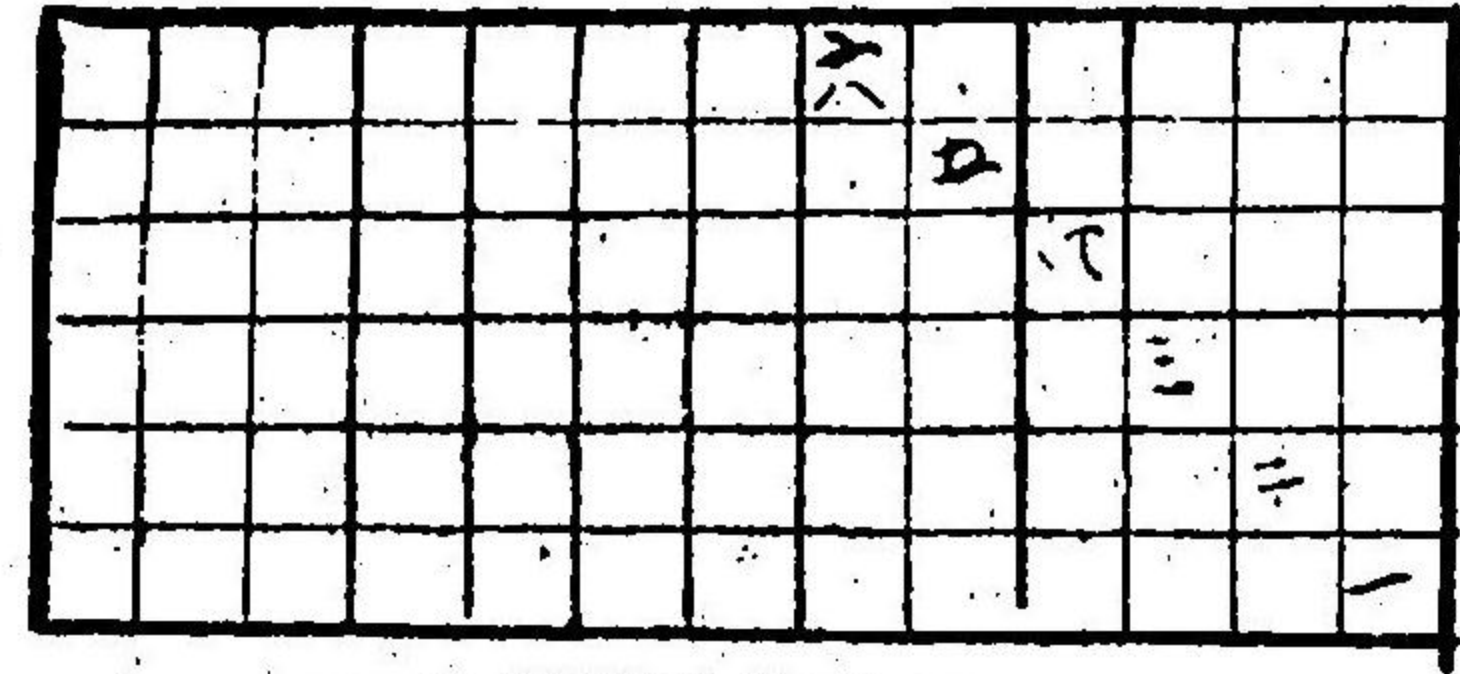
顶通样枚六



○ 第四拾五号

弓柄仕立式

顶通样枚六

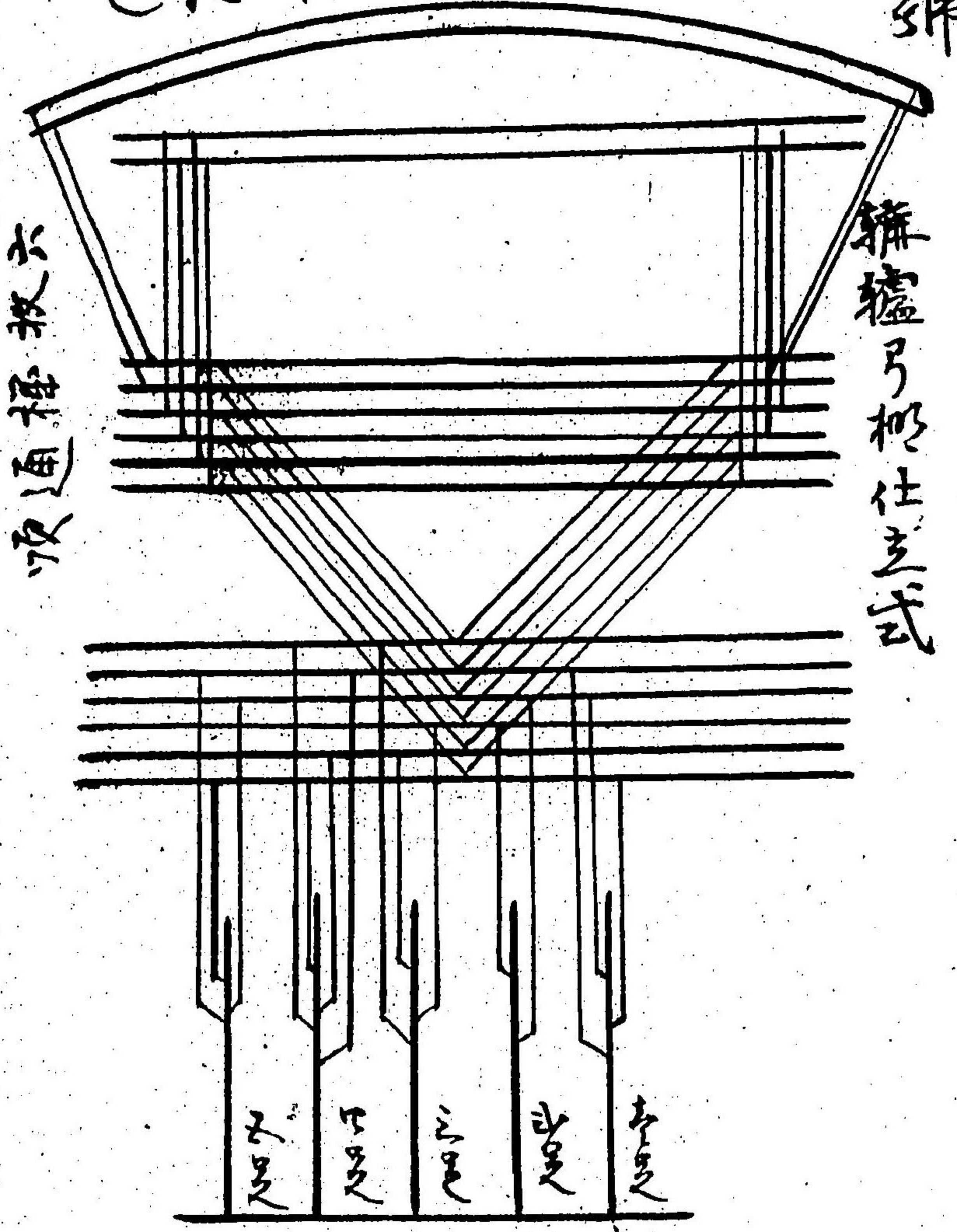


○ 第四拾四号

弓柄仕立式

○第四拾八弾

備考
 経糸緯糸
 の編割
 よつて故の
 浮き方を
 亦ある由
 のあれは
 是宜き注
 意を要す



織機弓柄仕立式

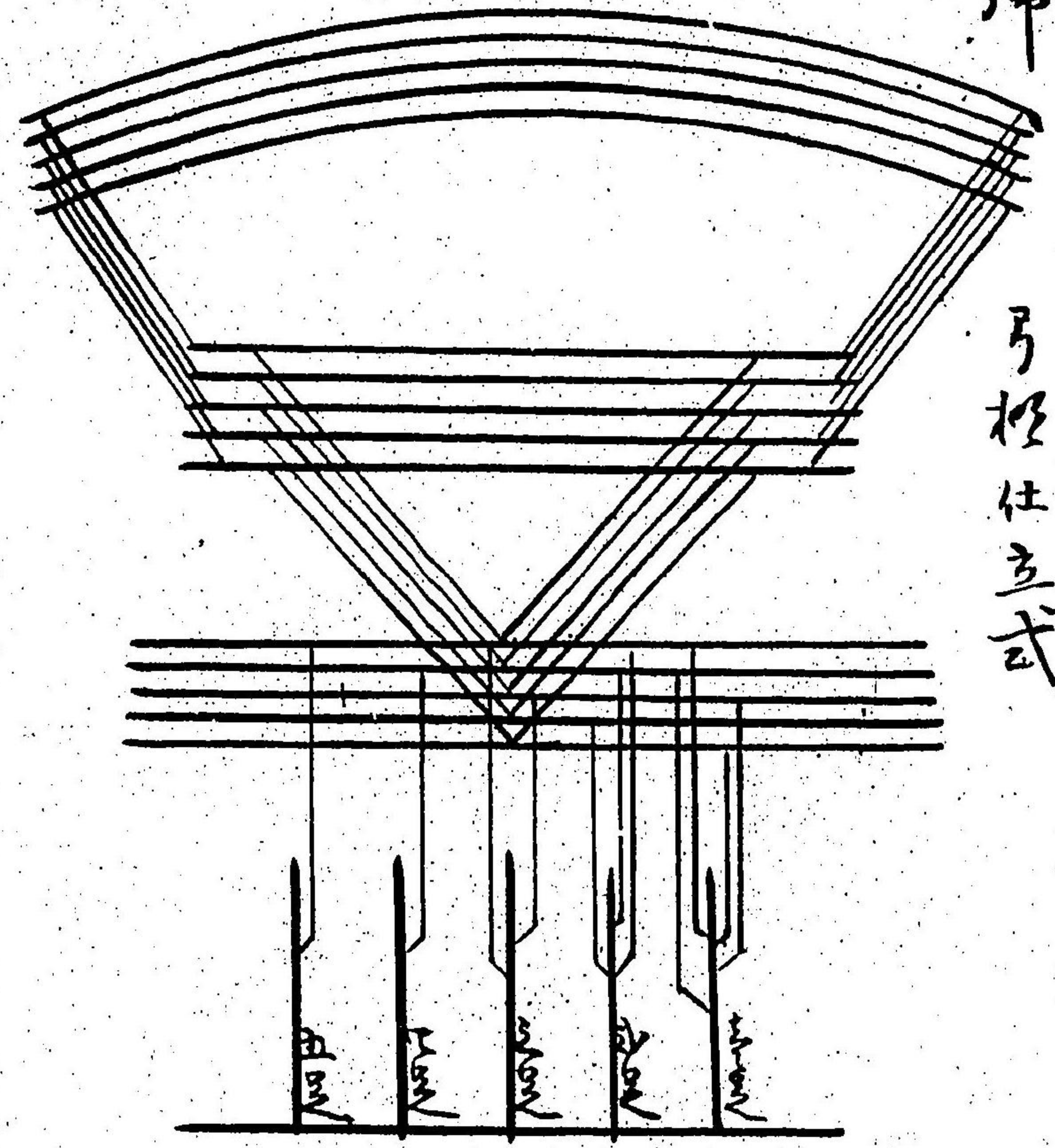
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十

頂通極抜六

○第四拾九弾

頂通極抜五

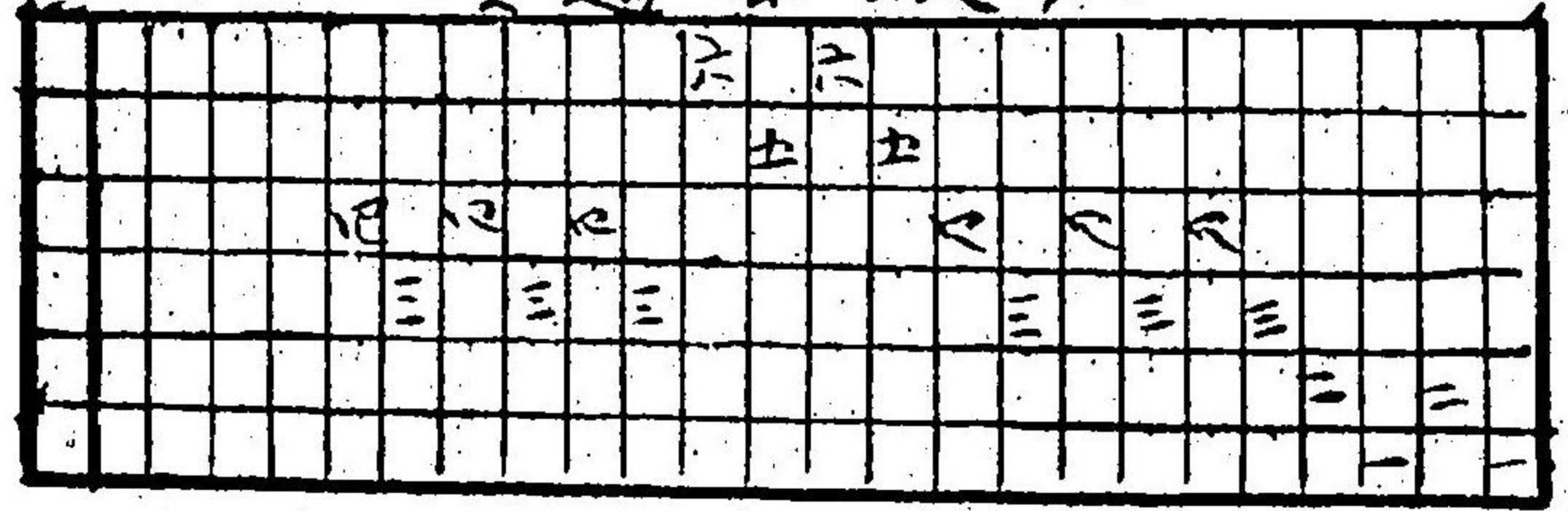
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十



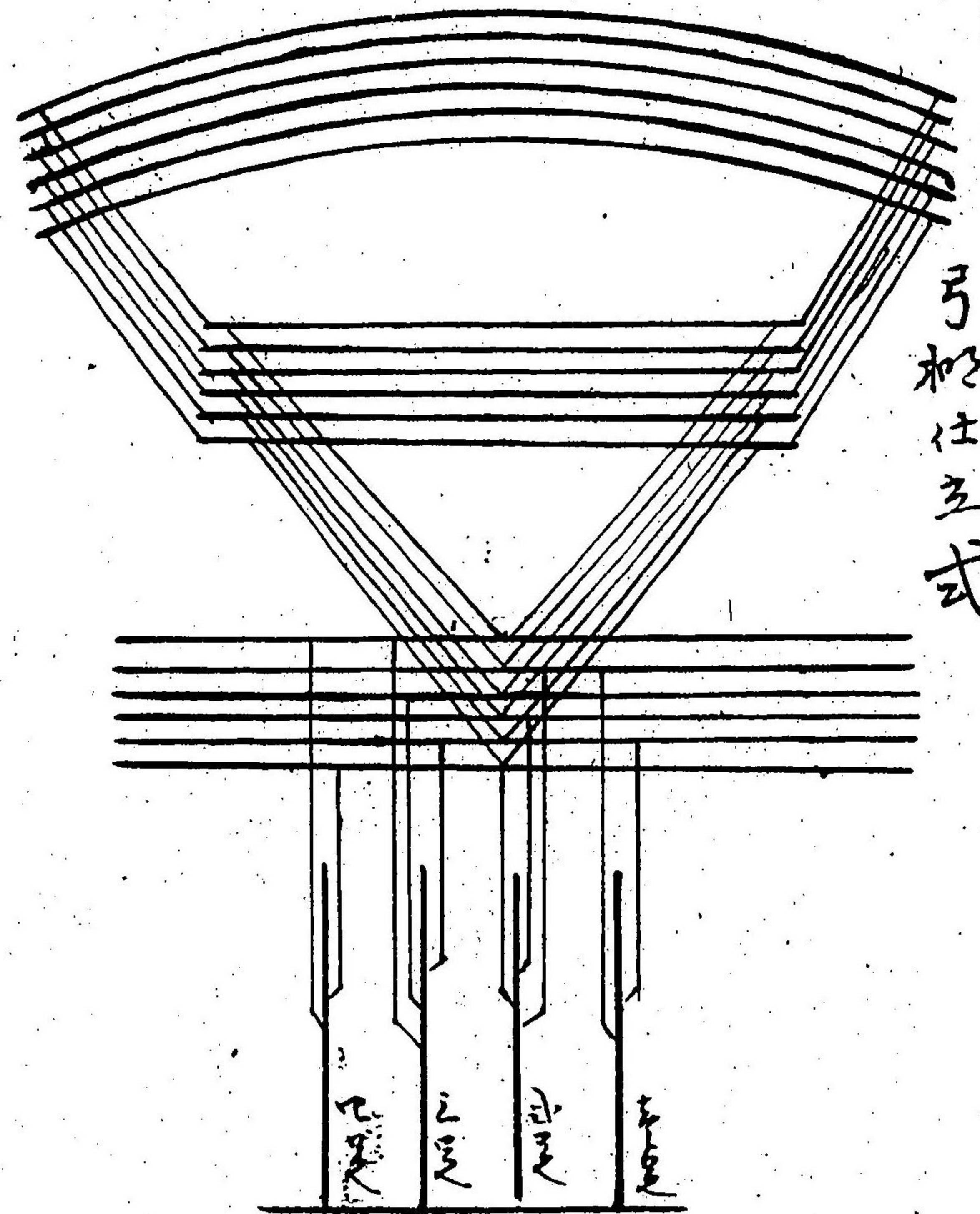
弓柄仕立式

○ 第五拾肆

六枚様通順



弓形仕立式



備考 怪車據系ノ高割ニヨリ故ノ浮キ方ヲ変スルモノ
トシテ宜ク注意スヘシ

明治廿九年七月二十日印刷
三十年二月廿八日再版

無効返金

定價金貳圓

編纂兼
發行者

朝山 鈺次郎
島根縣世雲國松江市片原三拾番邸

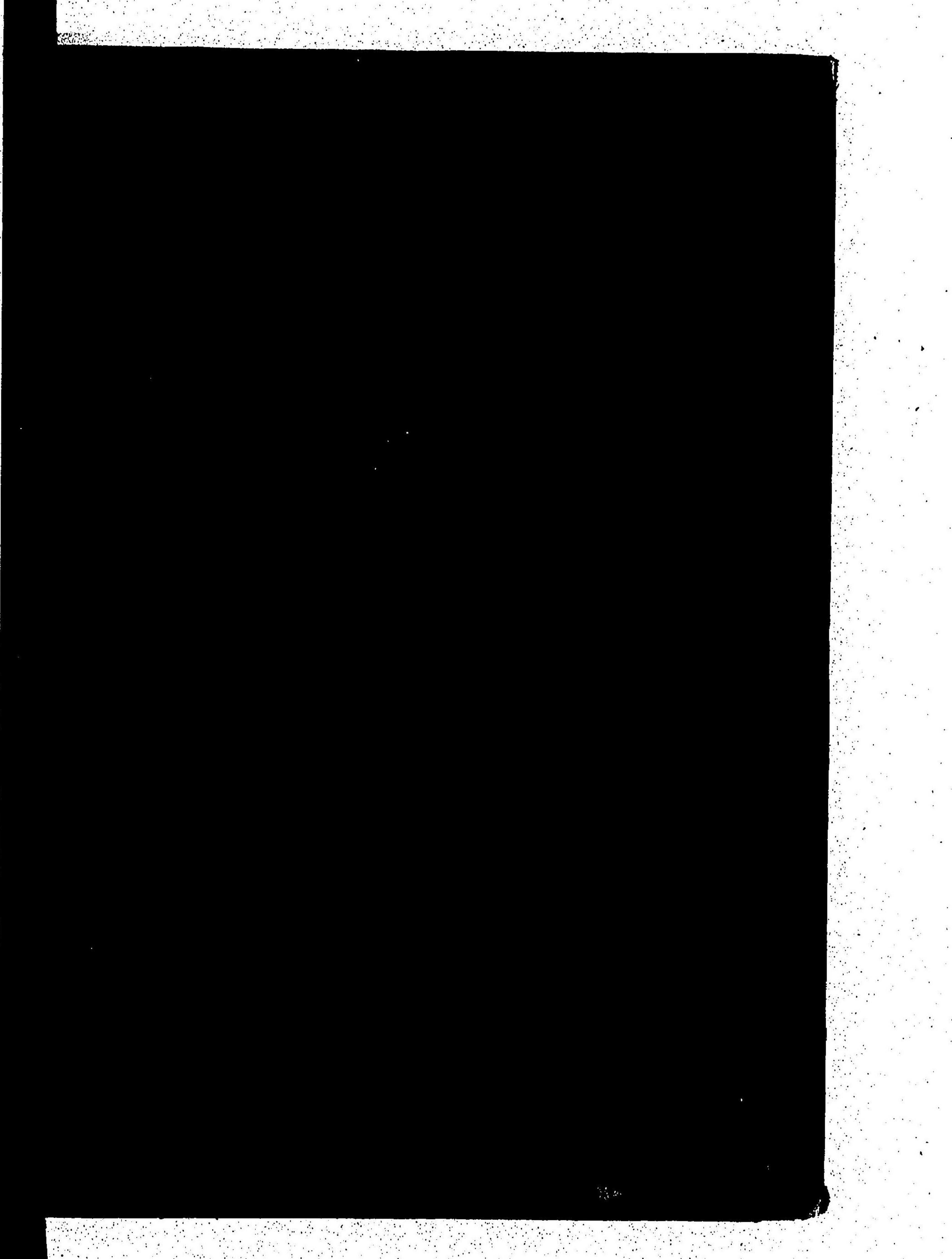
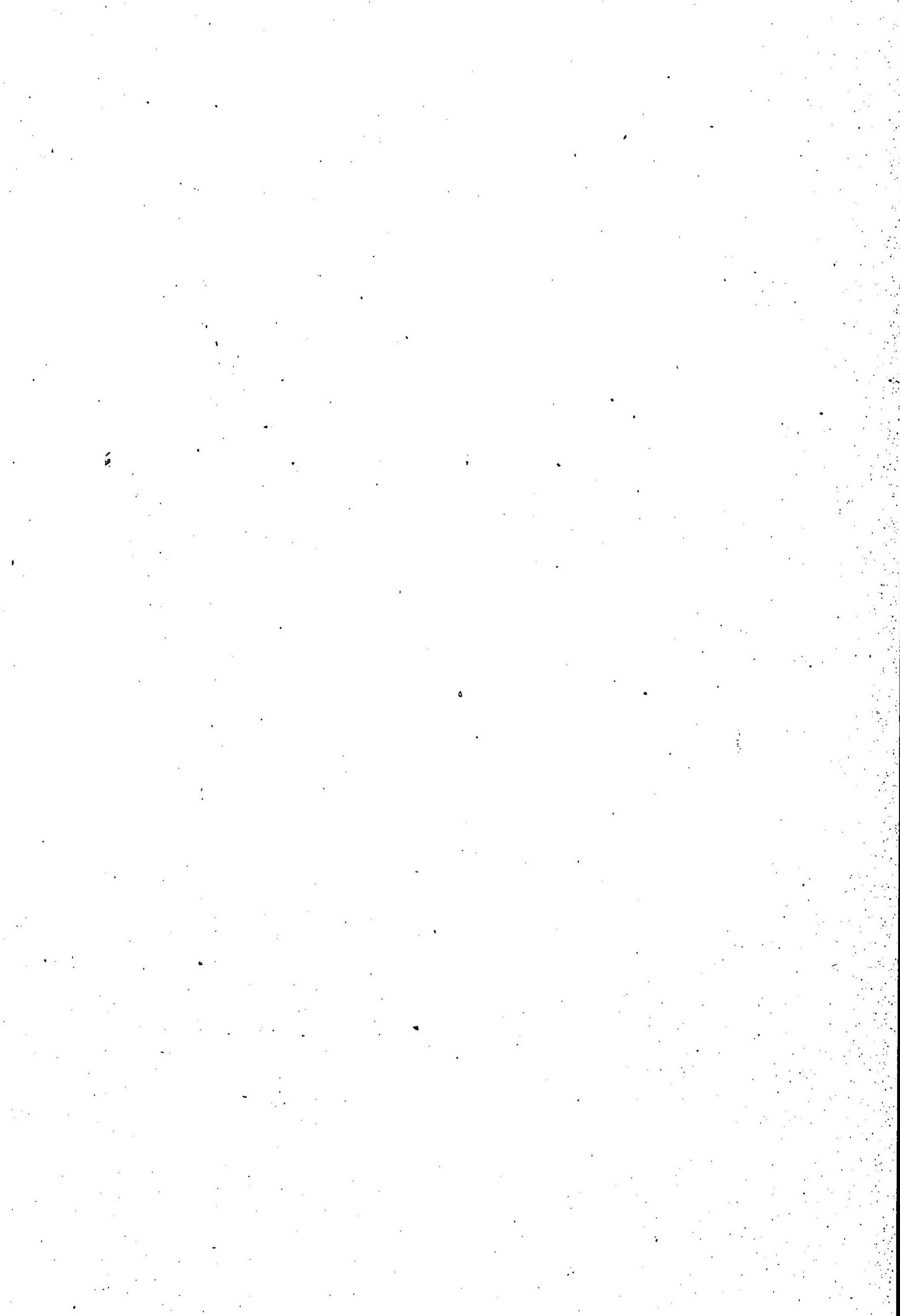
印刷者

森 股 健次郎
全縣全國全市紙屋五拾三番邸

印刷所

朝華館石版印刷部
全縣全國全市殿町堂橋西灘川通り

19
562



3 1 0 3 3 9 - 0 0 0 - 0

1 9 - 5 6 2

美術織物独案内

前編

朝山 銃次郎 編

